

KENWOOD

NEW ALLORA

コンパクト オーディオ

XM-7MD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、
ありがとうございました。
機器を正しく、安全にご使用いただくため、
使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の
「安全編」をお読みにになり、十分にご理
解ください。
使いかたの説明も、併せてよくお読みくだ
さるよう、お願いいたします。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要
になったときにくり返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国
で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Mini
Disc



本機の特長

ミニディスク
ダブルMDレコーダーを標準装備

→ [28]

デジタルならではの高音質を実現するダブルMDレコーダーを標準装備しています。CDからのデジタルコピーはもちろん、MDからMDへのダビングもカンタンにできます。また、1枚のMDからもう1枚のMDへ連続して再生するリレー再生機能、同様に連続して録音するリレー録音機能、同時に2枚のMDに同じソースを録音するダブルレック機能も装備しています。ディスクや曲に名前を登録してディスプレイに表示することや、曲順の並べ換えなど、多彩な機能が自慢です。

MDのディスク名や曲名の漢字入力、表示機能

→ [65]

本機では、MDのディスク名や曲名の入力、表示にJIS第1水準、第2水準の記号、英数字、ひらがな、カタカナ、ギリシャ文字、ロシア文字、および漢字に対応しています。録音したMDや、そこに収録されている曲にディスク名や曲名を、それらの文字で付けることができます。一度、ディスク名や曲名を付けたMDはケンウッド製品以外の漢字およびカナ等対応のMDレコーダー、プレーヤーで再生したときも表示できます。(文字の種類によっては、表示されないことがあります。)

CDのテキスト情報表示機能 (CD-TEXT対応)

→ [26]

CDに収録された各種のテキスト情報(ディスクタイトル、曲名、アーティスト名、作詞者名、作曲者名など)を手軽に呼び出し、表示することができます。(文字の種類によっては、表示されないことがあります。)

FM文字多重放送のテキスト情報表示機能

→ [36]

音声放送の周波数帯域に追加された文字情報を、通常の音声放送を聴きながら同時に見ることができます。

- FM文字多重放送は全国JFN系列の「見えるラジオ」、J-WAVE、FM802などのJFL加盟局、主要8都市のNHK-FMで受信可能です。
- 文字情報は音声放送に合わせた内容の情報(番組情報)や、音声放送内容とは別の情報(ニュース、交通情報、天気予報など)(独立情報)があります。

サンプリングレートコンバーター搭載

→ [39]

本機には各種デジタルソース(32kHz、44.1kHz、48kHz)に対応した、サンプリングレートコンバーターを搭載しています。

SRS 3Dステレオシステム

→ [90]

3次元的な音響空間を造り出す画期的なシステム(Sound Retrieval System)です。奥行感や音場の広さ、音像の定位感などが明らかに向上しリスニングエリアも広がります。(Retrieval: 回復、復活などの意)

便利な録音あれこれ

→ [52]

目的別に使える、多彩な録音機能をたくさん用意しました。

カセットデッキ(別売)*と接続することで、他のソースからテープへの編集録音もできます。

- ワンタッチエディット : キーを押すだけでCD、MD1枚または1曲を録音
- TWIN O.T.E.機能 : キーを押すだけでCD1枚または1曲をMD2枚に同時録音
- BEST HITS機能 : セットした全てのCDの1曲目だけを、順にMDまたは、テープに録音
- プログラム録音 : 好きな曲を好きな順に録音
- タイム編集録音 : 指定時間内に曲が途切れないように録音 (CD⇒TAPEのみ)
- フェード編集録音 : 1曲目から順に録音 (CD⇒TAPEのみ)

いろいろ楽しめる音質調整

→ [91]

聴く音楽のジャンルによってお好みで音質を選べます。

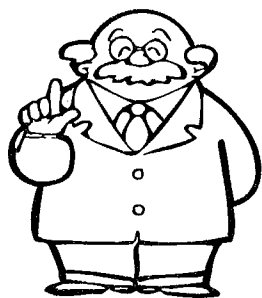
ロック(ROCK)、ポピュラー(POP)、ディスコ(DISCO)、ジャズ(JAZZ)、クラシック(CLASSIC)

便利なタイマー機能

→ [95]

2つの内容を登録できるほか、次の便利な働きがあります。

- AI タイマー : タイマーONの後、徐々に音量が大きくなる。
- O.T.T.タイマー : 簡単に設定できて、1回限り働くタイマー。
- スリープタイマー : おやすみのときに便利。



* XM-7MD対応の別売カセットデッキ機種名等についてお知りになりたい場合は、最寄りの営業所、もしくはサービス・センターまでお問い合わせください。

目次

準備編

音を出す前に

はじめに	2
本機の特長	2
目次	3
付属品	4
⚠安全上のご注意(必ずお読みください)	5
システムの置きかた	9
前から見たところ	9
接続のしかた	10
システムと付属品の接続	10
付属品以外の接続	12
各部のなまえと働き	14
チューナー・イコライザー部(C-H9)	14
アンプ部(A-H9)	16
CDプレーヤー部(DP-MH9)	17
MDレコーダー部(DM-WH9)	18
リモコン部(RC-H9W)	20
リモコンの使いかた	21

基礎編

「聴く」、「録る」の基本です

基本的な使いかた	22
CDを聴く	24
CDの聴きたい曲をタイトルで探す(CDタイトルサーチ)	26
MDを聴く	28
MDの聴きたい曲をタイトルで探す(MDタイトルサーチ)	30
ディスクA、ディスクBを連続して再生する(リレー再生)	32
放送を聴く	34
FM文字多重放送の文字情報を見る(見えるラジオ)	36
FM文字多重放送の文字情報を記憶する(記憶した文字情報を削除する)	37
MDに録音する	38
MDをコピーする(ダビング)	42
ディスクA、ディスクBを連続して録音する(リレー録音)	43

応用編

楽しさが広がります

CDを聴く	45
曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)	45
繰り返し聴く(リピート再生)	47
予期しない曲順を楽しむ(ランダム再生)	48
MDを聴く	49
曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)	49
繰り返し聴く(リピート再生)	51
便利な録音あれこれ	52
録音のタイプを選ぶ	52
1枚のCD、MDをワンタッチで録音する (ワンタッチエディット全曲録音)	54

いい曲があれば、その曲だけ録音する (ワンタッチエディット1曲録音)	55
CDから2枚のMDへ同時に録音する (ツイン・ワンタッチエディット録音)	56
1曲目だけを集めたMD、テープを作る (BEST HITS機能)	57
1枚または、複数枚のCDを録音する(CD→MD) (プログラム録音)	58
1枚または、複数枚のCDを録音する(CD→TAPE) (プログラム録音)	59
O.T.E.録音中(CD→MD)にもう1枚のMDに録音する (裏録音)	60
テープの長さに応じて曲順を入れ替える(CD→TAPEのみ) (タイム編集録音)	62
編集した内容を確認する、または取り消す (プログラム録音、タイム編集録音)	63
テープの折り返しでフェードアウト/フェードインする(CD→TAPEのみ) (フェード編集録音)	64
MDの編集機能	65

編集機能のタイプを選ぶ	65
ミニディスクや曲にタイトルをつける	66
JISコード表を使って、タイトルをつける	68
タイトルを変更、消去する	70
タイトルをエリア別に消去する(TITLE AREA ERASE)	72
FM文字多重放送の文字情報をミニディスクに記録する	74
曲順をまとめて入れ替える(QUICK MOVE)	76
曲順を1曲ずつ入れ替える(TRACK MOVE)	78
曲を分ける(TRACK DIVIDE)	80
曲をつなぐ(TRACK COMBINE)	82
曲をまとめて消す(QUICK ERASE)	84
1曲消す(TRACK ERASE)	86
全曲消す(ALL ERASE)	87
曲の一部分を消す	88
効果的な音質調整	90
音の効果を楽しむ	90
お好みの音質で音楽を聴く(イコライザー機能)	91
バランスとインプットレベルの調整	92
多彩な表示を切り換える(デモンストレーション機能)	93
時刻合わせ	94
タイマーを使う	95
オペレートイージートゥーユーズタイマー(O.T.T.)	95
おやすみタイマー(SLEEP)	95
プログラムタイマー予約	96

準備編

基礎編

応用編

知識編

安全上のご注意には、この製品を正しく安全にご使用いただくための注意事項がまとめられています。ご使用の前に、必ずお読みください。

知 識 編

知っているとなんか便利です

JISコード表	99
知っておきましょう	106
メンテナンス	106
参考	106
ディスクの取り扱い方	107
MDシステムとは	108
デジタル録音とSCMSについて	109
故障と思われる症状ですが.....	110
定格	114
保証とアフターサービス (必ずお読みください)	116

安全上のご注意には、この製品を正しく安全にご使用いただくための注意事項がまとめられています。ご使用の前に、必ずお読みください。

準備編

基本編

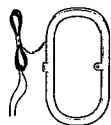
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

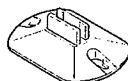
FM 室内アンテナ(1本)



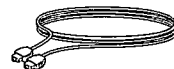
AM ループアンテナ(1個)



AMループアンテナスタンド(1個)



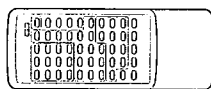
光ファイバーケーブル(1本)



スピーカーコード(2本)



リモートコントロールユニット(1個)



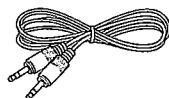
リモコン用単3乾電池 (R6/SUM-3) (2本)



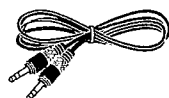
平行コード(1本)



通信ケーブル(白)(1本)



通信ケーブル(黒)(1本)



応用編

知識編

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様、または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の故障、誤動作または不具合による、テープやディスク等へ記録された内容の損害、および録音、再生など、お客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

指定以外の電圧では使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》



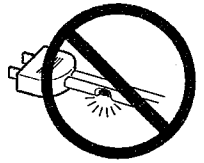
電源コードの取扱い

電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。



使用禁止

電源コードが傷ついたら（芯線の露出や断線など）使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



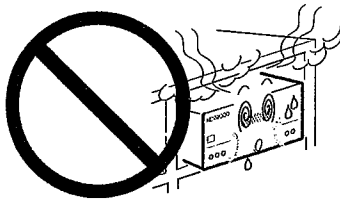
●修理をご依頼ください。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。



- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
 - 横倒し、あおむけ、逆さまに置かない。
 - 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。
- 《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》

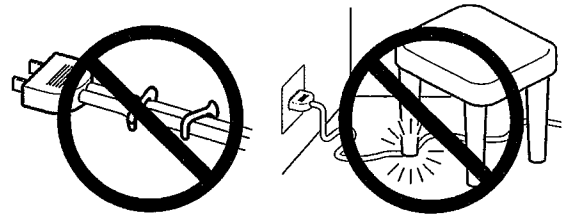


電源コードの配線に注意

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。



- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
 - 敷物の下に電源コードを隠さない。
 - 電源コードをステーブルや釘などで固定しない。
 - 足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。
- 《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



風呂場では使用しない

風呂場など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



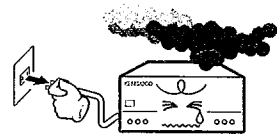
異常かな？と思ったら

煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。
《火災や感電の危険があります》



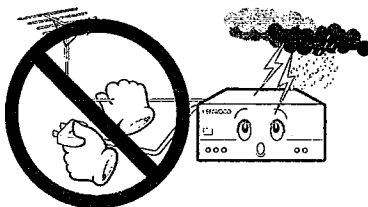
電源プラグをコンセントから抜け

- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 安全を確かめてから、修理をご依頼ください。



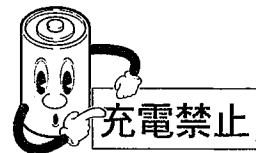
雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
《感電の危険があります》



乾電池は充電しない

《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》

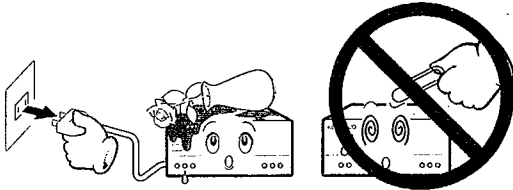


機器の内部に異物や水を入れない

内部に水や、異物が入った場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。

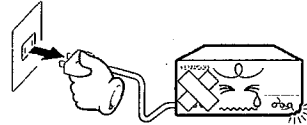


落下した機器は使わない

落としたり、カバーやケースがこわれた機器を、使用しないでください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。

《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。

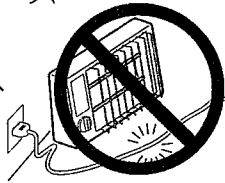


注意

電源コードは熱器具の近くを避けて

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。

《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》



指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。

《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》

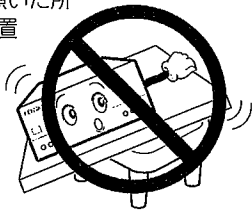
- 指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。



不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

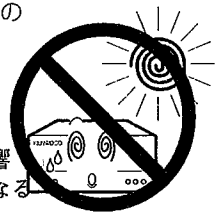
《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》



温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

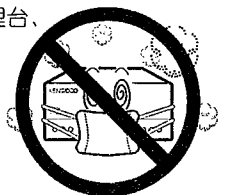
《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》



湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

《火災や感電の原因になることがあります》



長期間使用しないときは

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》



電源プラグをコンセントから抜け

音量に気をつけて



はじめに、音量(ボリューム)を最小にしてください。

《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

お手入れの際は



電源プラグをコンセントから抜け



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したままでの作業は、感電の原因になることがあります》

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。

《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》

お子様にご注意

お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。

《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》

お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。

《けがの原因になることがあります》

電池はお子様の手が届かないところに置いてください。
《電池を飲み込むおそれがあります》



指をはさまれないよう注意

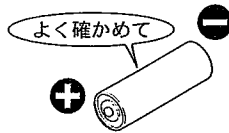


電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-")に注意し、表示通りに入れてください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。



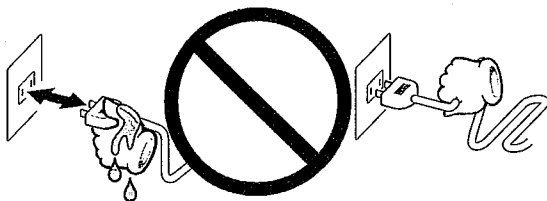
電源プラグの抜き差しは

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

《感電の原因になることがあります》

電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。

《コードの部分引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》



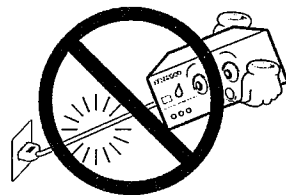
機器を移動させる際は



電源プラグをコンセントから抜け

移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)を、はずしてください。

《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》



電源プラグは清潔に



1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。

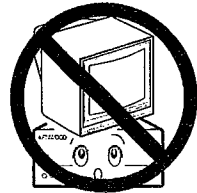
《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》



指定機器以外のものを乗せない

機器の上に指定機器以外の物体を乗せないでください。

《乗せた物体の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物体の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》



前から見たところ

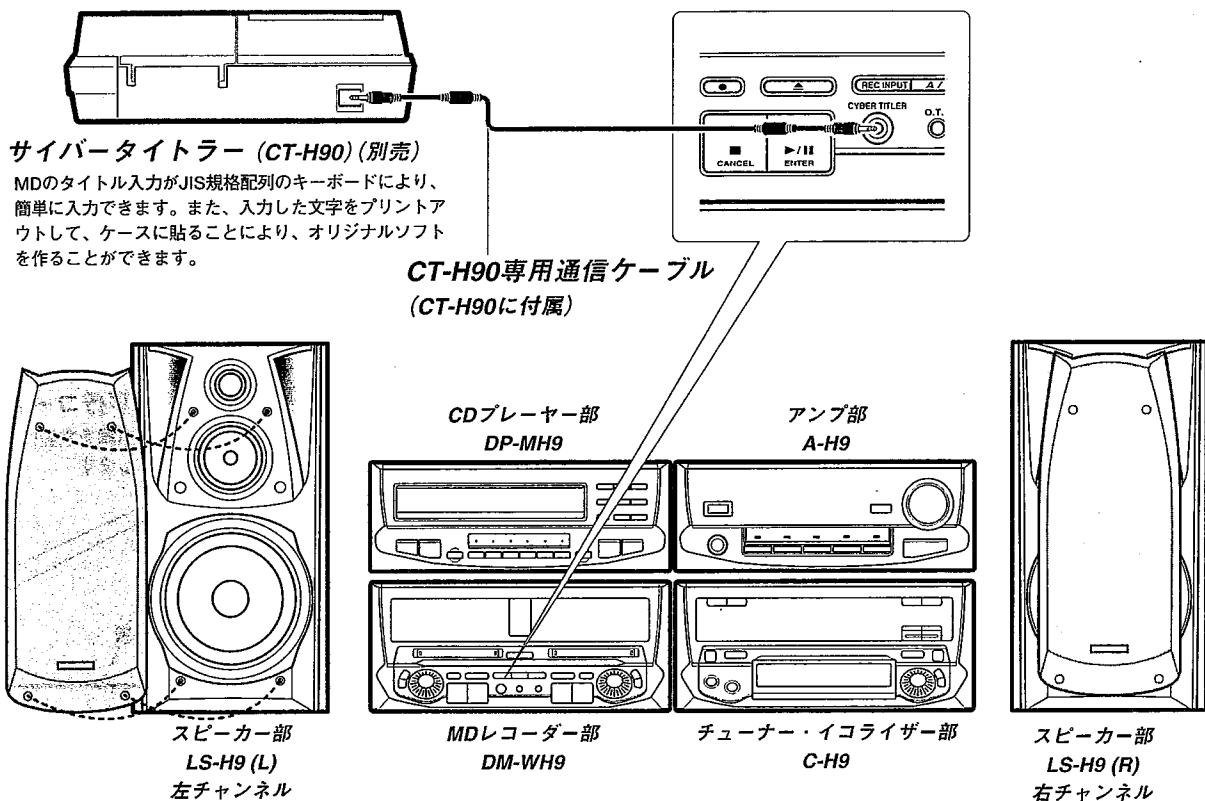
本システムの置きかたです。図をよくご覧になり、正しく図のように置いてください。

サイバータイ틀ー(別売)使用上のご注意

アンプ部(A-H9)の上に直接、サイバータイ틀ーCT-H90(別売)を乗せてご使用になると、放熱の妨げとなります。他の場所に置いてください。

サイバータイ틀ー(別売)との接続ケーブルについて

サイバータイ틀ー(別売)との接続には、必ずサイバータイ틀ー(別売)付属の専用通信ケーブルをご使用ください。付属の専用通信ケーブル以外のものをご使用になると正しく動作しません。また、付属の専用通信ケーブル市販の延長ケーブルを接続された場合、誤動作をしたり、他の機器へ電波障害を与えることがあります。



⚠ 注意 設置のご注意

過熱による火災の原因となりますので、セットの積み重ねは図の通り行ってください。

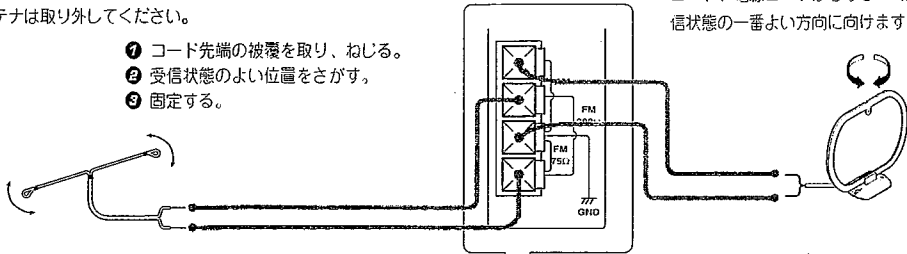
システムと付属品の接続

本体と付属品の接続方法です。図をよくご覧になり、正しく図のように接続してください。

FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

- ① コード先端の被覆を取り、ねじる。
- ② 受信状態のよい位置をさがす。
- ③ 固定する。

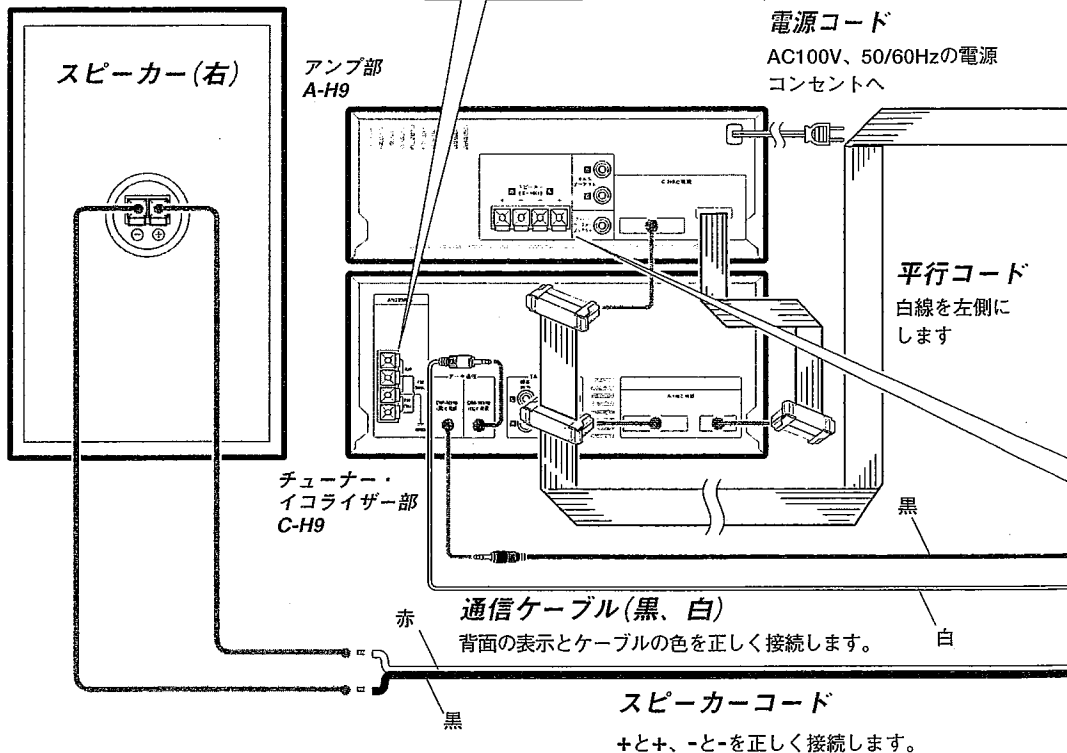


AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

電源コード

AC100V、50/60Hzの電源コンセントへ



平行コード
白線を左側に
します

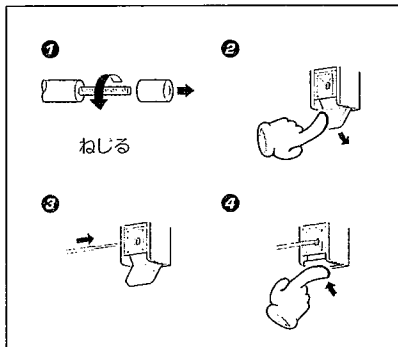
通信ケーブル(黒、白)

背面の表示とケーブルの色を正しく接続します。

スピーカーコード

+と+、-と-を正しく接続します。

アンプ、チューナー・イコライザー部



平行コードの接続について

- 平行コードはカチッと音がするまで平行に差し込み、確実にロックしてください。
- 平行コードの白線を、左側にして接続してください。
- コードを抜くときは、ソケット部分の両端を押しながらかまっすくに引き抜きます。

光ファイバーケーブルの接続について

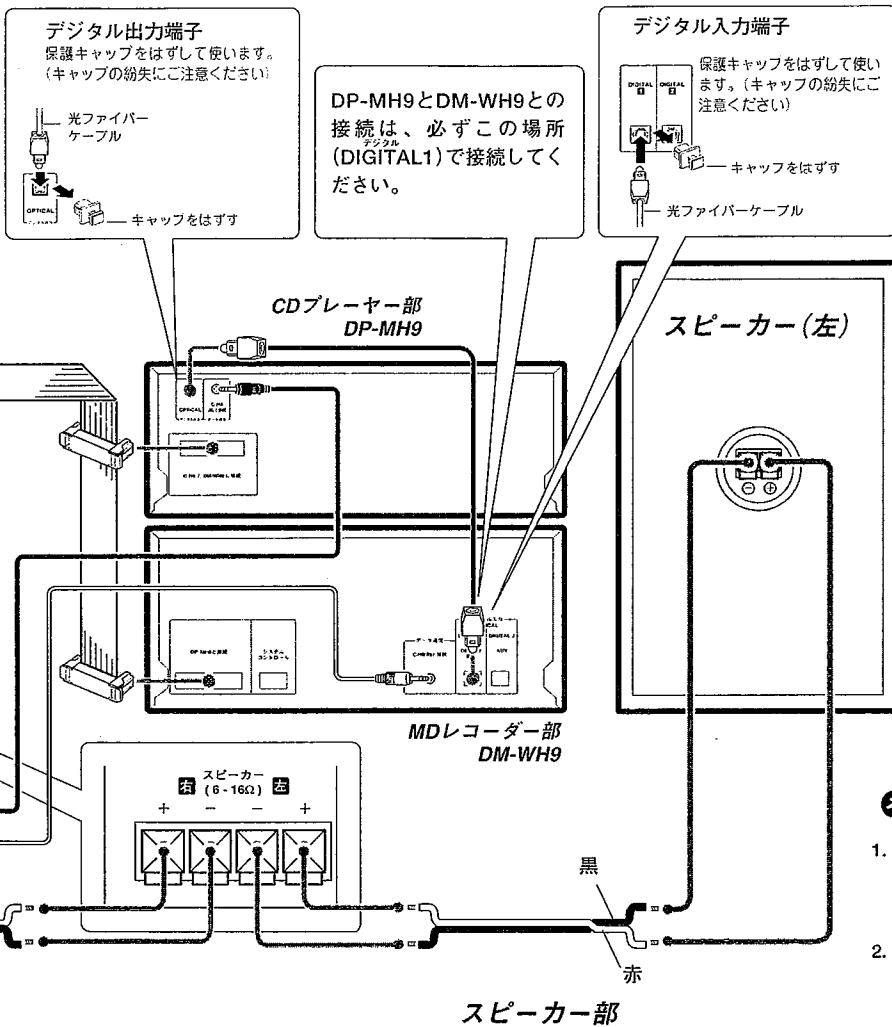
- 光ファイバーは真っ直ぐに、カチッと音がするまで平行に差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバーケーブルは、絶対に折曲げたり、束ねたりしないでください。
- 市販の光ファイバーケーブルが、すべて使えるとは限りません。接続できないときは、購入店または、もよりの営業所にご相談ください。

マイコンの誤動作について

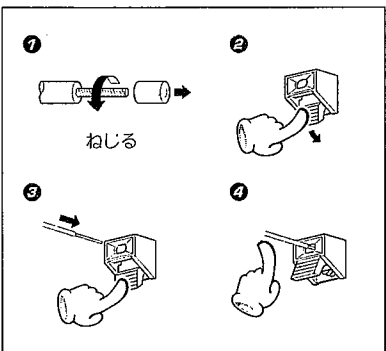
正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが…」を参照してマイコンをリセットしてください。



→110



1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かず接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。
3. セットの積み重ねは、接続図通りに行なってください。
4. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
5. セットの前面は揃えてください。
6. スピーカーコードの十とーは絶対にショートさせないでください。
7. 左右を逆にしたり、極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。



準備編

付属品以外の接続

付属品以外のものは、図のように接続します。

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

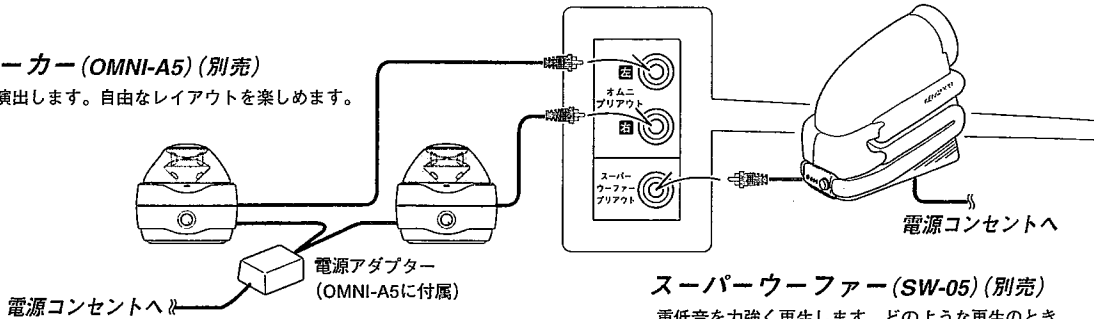
⚠ 注意 接続のご注意

接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

機器の接続は、図のように行ってください。

オムニスピーカー (OMNI-A5) (別売)

音場の広がり演出します。自由なレイアウトを楽しめます。

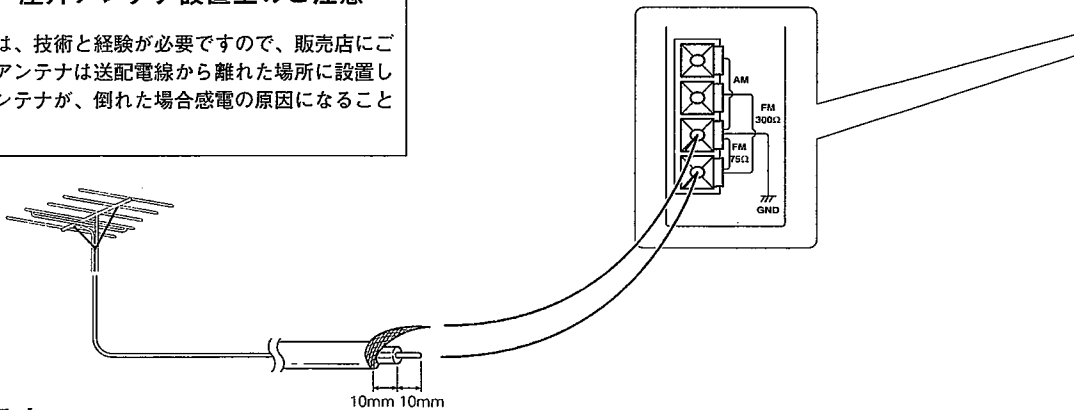


スーパーウーファー (SW-05) (別売)

重低音を力強く再生します。どのような再生のときでも使用できます。

⚠ 注意 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが、倒れた場合感電の原因になることがあります。



FM屋外アンテナ

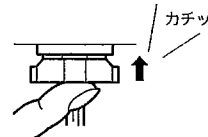
75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。



1. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
2. コードを抜くときは、ソケット部分の両端を押しながらかまっすぐに引き抜きます。

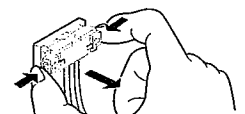
システムコントロールコードの接続

コネクターを差し込む



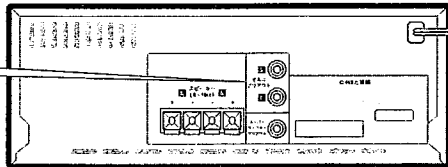
カチッと音がするまで平行に差し込みロックする

コネクターを抜く

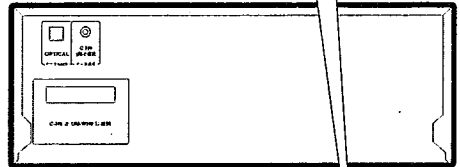


コネクター部分の両端を押しながらかまっすぐに引き抜く

アンプ部
A-H9



CDプレーヤー部
DP-MH9

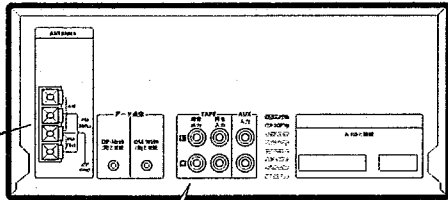


デジタル入力端子

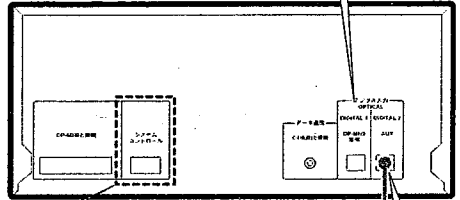
保護キャップをはずして使います。(キャップの紛失にご注意ください)

キャップをはずす

光ファイバーケーブル

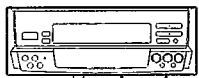


チューナー・イコライザー部
C-H9



MDレコーダー部
DM-WH9

カセットデッキ(別売)



音声入力
音声出力

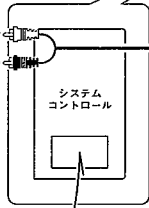
オーディオコード

(カセットデッキ(別売)に付属)

システムコントロールコード

(カセットデッキ(別売)に付属)

音声出力



イコライザー内蔵
アナログプレーヤー(別売)



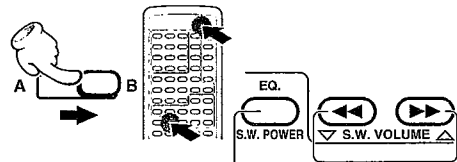
光出力

外部デジタル機器(別売)とDM-WH9との接続は、必ずこの場所(DIGITAL 2)で接続してください。



CDプレーヤー(別売)

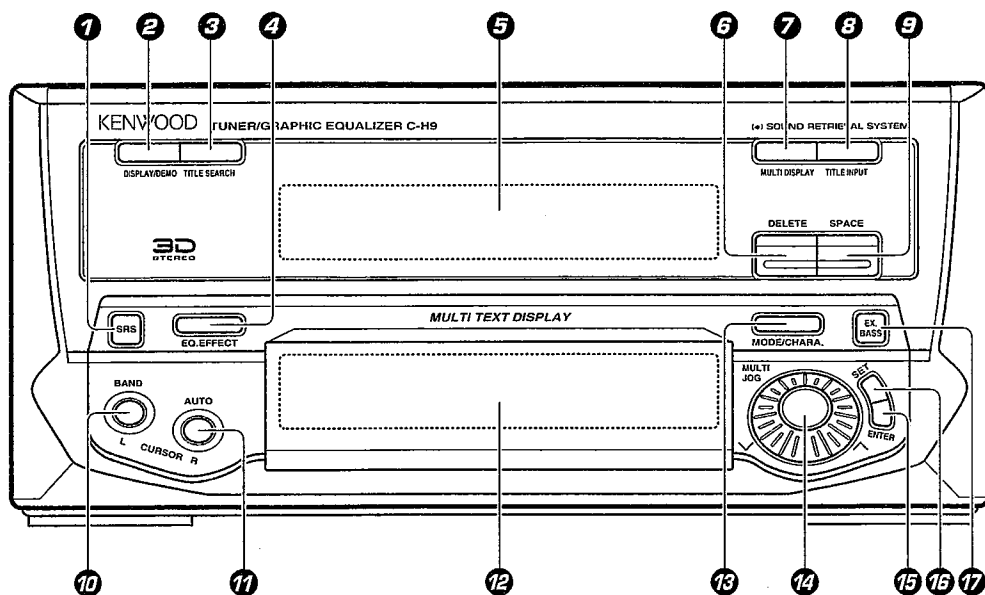
スーパーウーファーの操作について



スーパーウーファーの電源をオン/スーパーウーファーの音量を調節します。

- スーパーウーファーの音量を一度決めると、あとはVOLUME^{ボリューム}だけで同じバランスのまま増減します。
- リモコンはスーパーウーファーに向けてください。

チューナー・イコライザー部



① SRSキー／インジケータ

SRS 3Dのオン／オフを切り換えます。MDのタイトル入力やタイトル編集のとき、漢字変換に使います。

② DISPLAY／DEMOキー

ディスプレイの表示内容を切り換えます。デモンストレーションのオン／オフに使います。

③ TITLE SEARCHキー

CDまたはMDのタイトルサーチをするときに使います。

④ EQ. EFFECTキー

イコライザー効果をオン／オフします。また、イコライザー効果のタイプを選びます。

⑤ 表示部(次ページ参照)

⑥ DELETEキー

電源オンのとき: MDのタイトル入力やタイトル編集のとき、1文字を削除します。または、漢字変換モードを解除します。

電源オフのとき: タイマー設定に使います。

⑦ MULTI DISPLAYキー

チューナーのとき: FM文字多重放送のメニュー画面を切り換えます。

CD、MDのとき: CD-TEXTの表示モードを切り換えます。または、CD-TEXTの言語、MDのタイトルのタイプを切り換えます。

⑧ TITLE INPUTキー

MDのタイトル入力やタイトル編集をするときに使います。

⑨ SPACEキー

電源オンのとき: MDのタイトル入力やタイトル編集のとき、1文字分の空白を挿入します。

電源オフのとき: タイマーの実行設定に使います。

⑩ BAND / CURSOR Lキー

受信バンドを切り換えます。MDのタイトル入力やタイトル編集のとき、カーソルを左へ移動します。

⑪ AUTO / CURSOR Rキー

電源オンのとき: 選局モードの切り換えに使います。MDのタイトル入力やタイトル編集のとき、カーソルを右へ移動します。

電源オフのとき: 時刻合わせに使います。

⑫ テキスト情報表示部

⑬ MODE / CHARA.キー

MULTI JOGの機能を切り換えます。選択できる項目は、そのときの状態によって異なります。MDのタイトル入力やタイトル編集のとき、文字グループを選択します。

⑭ MULTI JOGキー

通常は、放送局の選択に使います。目的に応じてMODE / CHARA.キーで機能を切り換えることができます。その他にCDまたはMDのタイトルサーチや、MDのタイトル編集にも使います。

⑮ ENTERキー

電源オンのとき: 編集処理の実行や、入力したMDのタイトルの確定などに使います。FM文字多重放送受信時に選んだカーソルの位置のメニューを確定します。

電源オフのとき: 時刻合わせや、タイマー設定などに使います。

⑯ SETキー

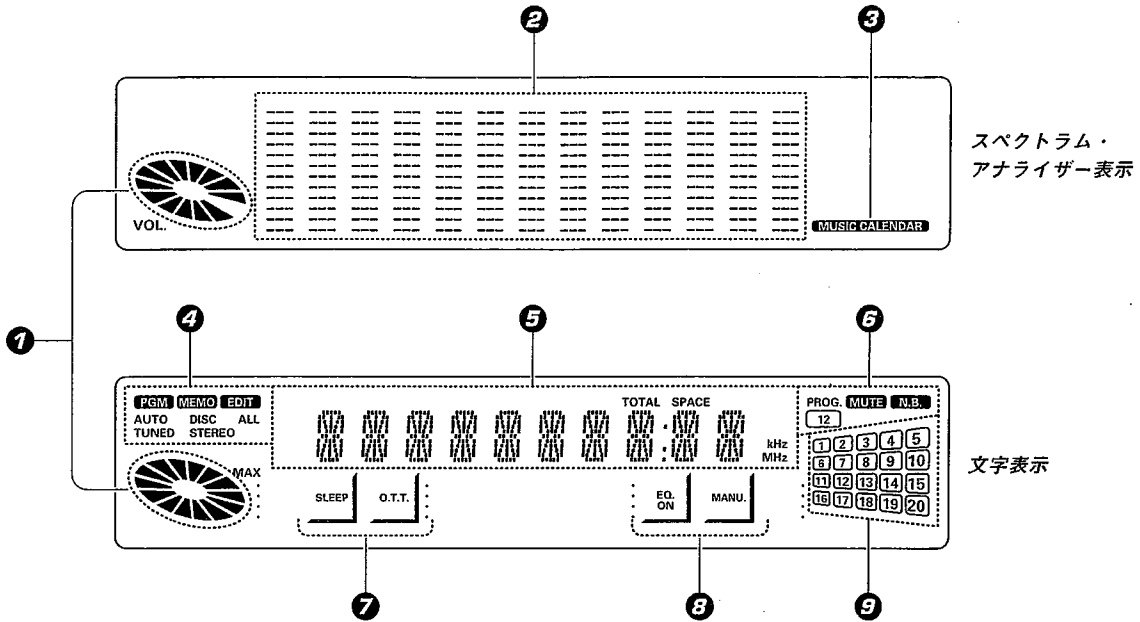
電源オンのとき: チューナーのとき、放送局を記憶させるために使います。MDのタイトル入力や編集をするときに使います。

電源オフのとき: O.T.T.タイマー設定に使います。

⑰ EX. BASSキー／インジケータ

EX. BASS再生のオン／オフに使います。

表示部 (チューナー・イコライザー部)



① ボリューム表示部

現在設定されているボリュームの概略の大きさを示します。

② スペクトラム・アナライザー／イコライザー表示部

再生中の音楽に合わせてパターンが変化するスペクトラム・アナライザー、または現在効果のかかっているイコライザーパターンを示します。

③ ミュージック・カレンダー表示

④ チューナー・応用操作等表示部

チューナー表示のほか、CDの応用操作等の表示を示します。

⑤ 文字情報表示部

入力切換、周波数表示、音量レベル、CDのディスク番号、時間表示等を表示します。

⑥ タイマー予約番号、ミュート、N.B.表示

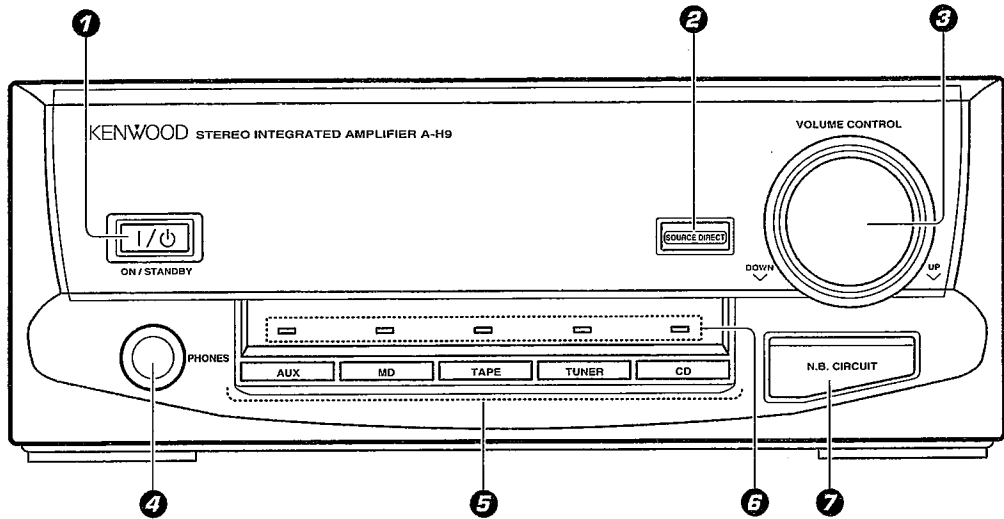
⑦ タイマー関係表示 (SLEEP、O.T.T.表示)

⑧ イコライザー関係表示 (EQ. ON、MANU.表示)

⑨ ミュージック・カレンダー表示部

現在、選ばれているCD (トレイ1~6の内の一つ) に収録されている曲数を示します。再生が終了したトラック番号は消灯します。

アンプ部



① ON/STANDBY (I/⏻) キー

電源のオン/スタンバイを切り換えます。
 スタンバイのとき：キーが赤色に点灯します。
 電源オンのとき：キーが緑色に点灯します。

② SOURCE DIRECT キー

よりピュアな音を楽しみたいときに使います。

③ VOLUME CONTROL つまみ

通常は、音量の調節に使います。インプットレベルの調整に使うこともできます。

④ PHONES 端子

ヘッドホン(別売)を接続します。

⑤ 入力切換キー

入力ソースを選びます。CD、MDを選んだとき、すでにディスクがセットされていれば、自動的に再生が始まります。

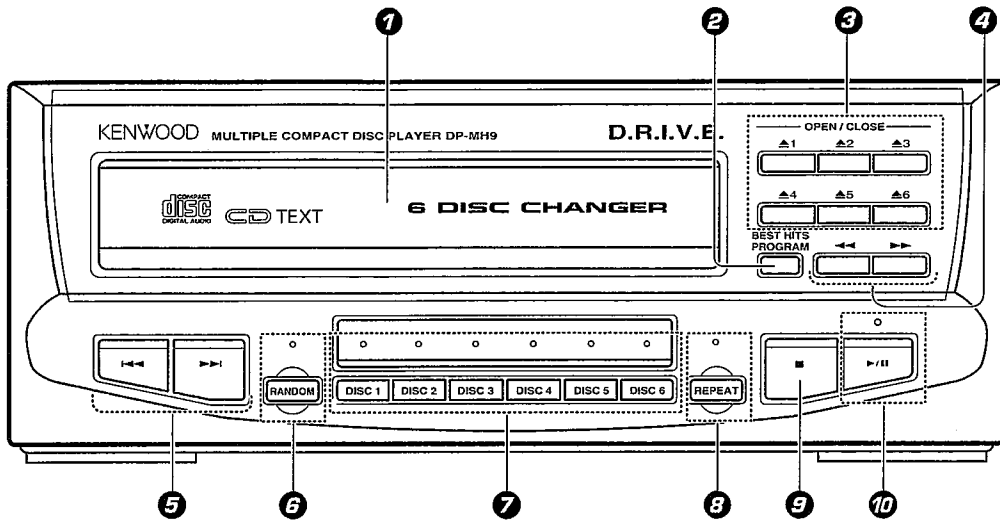
⑥ 入力切換インジケータ

現在選ばれている入力ソースを示します。

⑦ N.B. CIRCUIT キー

小さな音で聴くときに、重低音の量感不足を補います。

CDプレーヤー部



① ディスクトレイ

CDを6枚まで収納できます。

② BEST HITS PROGRAMキー

収納されているすべてのCDの1曲目を、順にプログラムします。

③ OPEN/CLOSE(▲1~▲6)キー

ディスクを出し入れするときに使います。

④ サーチ(◀◀、▶▶)キー

曲の早戻しや、早送りに使います。

⑤ スキップ(◀◀、▶▶)キー

曲の飛び越しや、頭出しに使います。

⑥ RANDOMキー/インジケーター

ランダム再生をしたいときに使います。

⑦ ディスクセクター(DISC 1~DISC 6)キー/インジケーター

再生(または録音)したいディスクを選びます。トレイにディスクが入っているときは、インジケーターが点灯し、ディスクの再生中は点滅します。

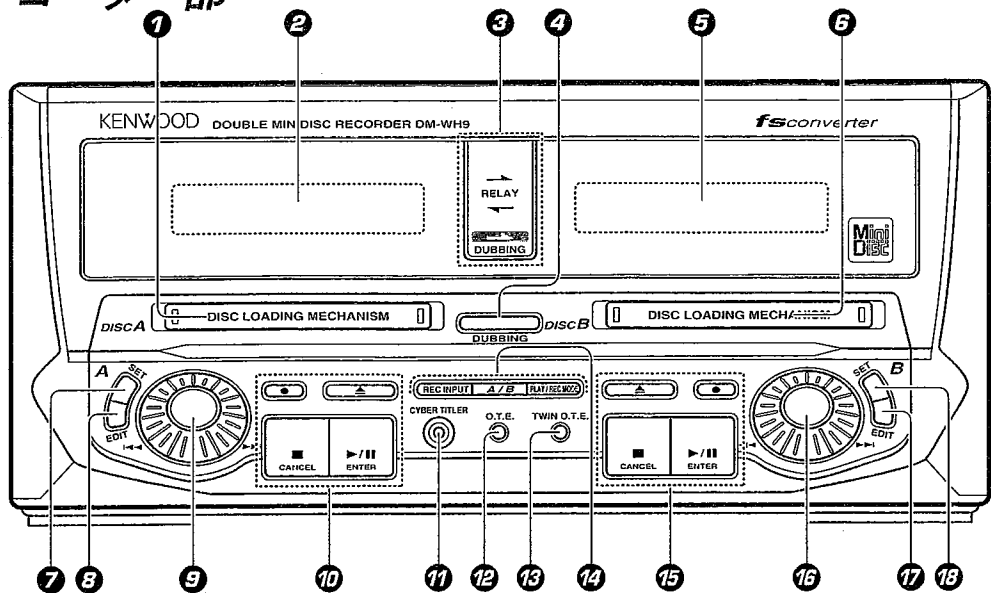
⑧ REPEATキー/インジケーター

繰り返し再生をしたいときに使います。

⑨ 停止(■)キー

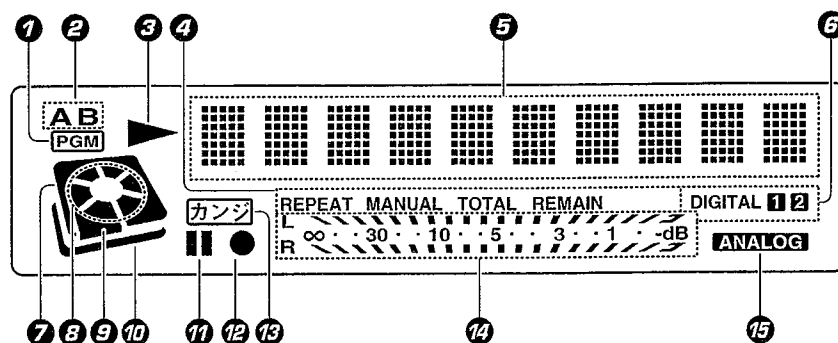
⑩ 再生・一時停止(▶/||)キー/インジケーター

MDレコーダー部



- ① ディスクAミニディスク挿入部
- ② ディスクA表示部(次ページ参照)
- ③ RELAY(リレー)モード、DUBBING(ダビング)表示
(ディスクA、ディスクB共通)
選択されているリレーモード、またはダビングを表示します。
- ④ DUBBINGキー(ディスクA、ディスクB共通)
ディスクAの録音済みMDからディスクBの録音可能なMDにダビングする
ときに使います。
- ⑤ ディスクB表示部(次ページ参照)
- ⑥ ディスクBミニディスク挿入部
- ⑦ SETキー(ディスクA専用)
編集をするときに使います。
- ⑧ EDITキー(ディスクA専用)
曲の分割、結合、曲順の入れ替え、削除をするときに使います。
- ⑨ ジョグダイヤル(◀◀、▶▶) (ディスクA専用)
再生時は、スキップ(曲の飛び越し)キーとして使います。
その他に編集、アナログ録音時の録音レベルの調節にも使用します。
- ⑩ ディスクA操作キー(ディスクA専用)
録音(●)キー
録音をするときに使います。
イジェクト(▲)キー
ディスクを取り出すときに押します。
停止(■)/CANCELキー
再生、録音を停止するときに使います。その他に編集処理の解除などに使
います。
再生・一時停止(▶/||)/ENTERキー
再生、再生一時停止または録音一時停止するときに使います。その他に編
集処理の実行などに使います。
- ⑪ CYBER TITLER出力端子
サイバータイ틀(別売)との接続に使います。
- ⑫ O.T.E.キー(ディスクBのみ)
CDの再生中に押すと、そのとき再生している曲だけをディスクBの
MDへ録音します。停止中に押すと、そのとき選ばれているCDを、1
曲目からディスクBのMDへ録音します。
- ⑬ TWIN O.T.E.キー(ディスクA、ディスクB共通)
CDの再生中に押すと、そのとき再生している曲だけをディスクA、
ディスクB両方のMDへ同時に録音します。停止中に押すと、そのと
き選ばれているCDを、1曲目からディスクA、ディスクB両方のMDへ
同時に録音します。
- ⑭ 共通操作キー(ディスクA、ディスクB共通)
REC INPUTキー
デジタル/アナログのいずれかの録音入力モードを切り換えます。DIGI-
TAL 2端子に接続されている機器の音声信号をモニターする、しないを
切り換えます。
A/Bキー
ディスクA、ディスクB共通の操作キーが、どちらの操作をするかを切
り換えます。サイバータイ틀ーとの読みだし、書き込みの場合も同
様です。入力切り換えがMDのとき、ディスクA、ディスクBどちらの
音声を出力するかを切り換えます。
PLAY / REC MODEキー
リレー再生や、リレー録音をするときに使います。
- ⑮ ディスクB操作キー(ディスクB専用)
録音(●)キー
録音をするときに使います。
イジェクト(▲)キー
ディスクを取り出すときに押します。
停止(■)/CANCELキー
再生、録音を停止するときに使います。その他に編集処理の解除などに使
います。
再生・一時停止(▶/||)/ENTERキー
再生、再生一時停止または録音一時停止するときに使います。その他に編
集処理の実行などに使います。
- ⑯ ジョグダイヤル(◀◀、▶▶) (ディスクB専用)
再生時は、スキップ(曲の飛び越し)キーとして使います。
その他に編集、アナログ録音時の録音レベルの調節にも使用します。
- ⑰ EDITキー(ディスクB専用)
曲の分割、結合、曲順の入れ替え、削除をするときに使います。
- ⑱ SETキー(ディスクB専用)
編集をするときに使います。

表示部 (MDレコーダー部)



⑦ PGM(プログラム)表示

プログラム再生、プログラム録音時に点灯します。

⑧ A / B表示

ディスクAが選ばれている場合は、A側の表示部の“A”が、ディスクBが選ばれている場合は、B側の表示部の“B”が点灯します。

⑨ 再生(▶)表示

ミニディスクが再生中に点灯します。

⑩ 各種情報表示部

REPEAT(リピート)表示

リピート再生時に点灯します。

MANUAL(マニュアル)表示

リモコンのAUTO / MANU.キーでMANUALが選ばれているときに点灯します。

TOTAL(トータル)表示

時間表示がミニディスク全体の合計記録時間であることを示します。

REMAIN(リメイン)表示

時間表示がミニディスク全体の録音可能残り時間であることを示します。

⑪ 文字情報表示部

曲やディスクのタイトル、曲番号、編集の情報、時間などを表示します。

⑫ DIGITAL1、2(デジタル1、2)表示

REC INPUTキーでデジタル入力が選ばれているときに点灯します。

⑬ ミニディスク有無表示

この表示が点灯中は、ミニディスクがMDレコーダー内部に挿入されています。

⑭ 走行表示

再生中、または録音中に回転します。

⑮ 録音可能表示

録音用ミニディスクが“誤消去防止”になっているとき、あるいは再生専用ミニディスクを使っているとき以外の録音可能ミニディスクが挿入されているときのみ、点灯します。

⑯ データ読みだし・書き込み表示

この表示が点滅しているときは、ミニディスクのデータ情報をMDレコーダー内部で処理しています。点滅中は電源コードを抜かないでください。また、点滅中はタイトル入力、タイトル編集、タイトルサーチ、サイバータイター(別売)とのMD LINK機能ができません。

⑰ 一時停止(⏸)表示

ミニディスクが一時停止中に点灯します。

⑱ 録音(●)表示

ミニディスクが録音中に点灯します。

⑳ カンジ(漢字)表示

タイトルなどの情報が漢字で書き込まれているミニディスクが挿入されたときに点灯します。

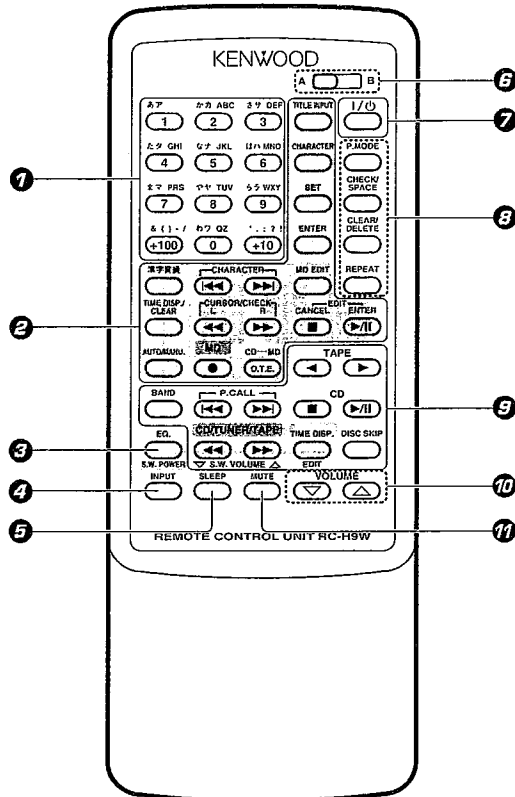
㉑ ピークレベルインジケーター

主にアナログ録音のときの録音レベルの目安として使います。

㉒ ANALOG(アナログ)表示

REC INPUTキーでアナログが選ばれているときに点灯します。

リモコン部



本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。

① 数字キー

CDまたはMDの曲を選ぶときや、MDのタイトル入力、TUNERの数字キーとして使います。(+100キーは、MDレコーダー専用です。)

② MDレコーダー関連キー

TITLE INPUTキー

CHARACTERキー

MDのタイトル入力するとき、文字のグループを選択します。

SETキー

ENTERキー

漢字変換キー

MDのタイトル入力やタイトル編集のとき、漢字変換に使います。

CHARACTER / スキップ (◀◀, ▶▶) キー

MD EDITキー

MDの曲を編集するとき、あるいは曲またはディスク全体を消去するときに使います。

TIME DISP. / CLEARキー

MDの時間表示のタイプを切り換えます。プログラム録音または再生時に選んだ曲の取消しに使います。

CURSOR / CHECK / 早送り、早戻し (L / ◀◀, R / ▶▶) キー

MDのプログラム録音または再生時に選んだ曲の確認に使います。

EDIT CANCEL / 停止 (■) キー

EDIT ENTER / 再生・一時停止 (▶/||) キー

AUTO / MANU. キー

MDのアナログ録音のとき、トラック番号を自動で付ける (AUTO) が、後で手動で付ける (MANU.) を選びます。

録音 (●) キー

CD → MD / O.T.E. キー : 本体のO.T.E.キーと同じ働きをします。

③ イコライザー、スーパーウーファー (別売) 操作キー
EQ. / S.W. POWER キー

: イコライザーの種類とオン/オフを切り換えます。スーパーウーファーの電源をオン/オフします。

④ INPUTキー

: 聴きたい、または録音したい入力ソースを選びます。

⑤ SLEEPキー

: おやすみタイマーを設定するときに使います。

⑥ A / B スイッチ

: 一部のキーは2通りの使い方ができます。MDのディスクAとBのどちらを操作したいかによって切り換えてください。白と茶色の文字で名前が印刷されているキーは、Aのとき白、Bのときは茶色で印刷された働きをします。

⑦ I / (ON / STANDBY) キー

⑧ CD、MD 特殊再生関連キー

P.MODE キー (CD, MD) : 曲順をプログラムするときに使います。

CHECK / SPACE キー (CD, MD)

: プログラムした曲順を確認のために表示します。タイトル入力やタイトル編集のとき、1文字分の空白を挿入します。

CLEAR / DELETE キー (CD, MD)

: プログラムした曲順を取り消します。MDのタイトル入力やタイトル編集のとき、1文字を削除します。

REPEAT キー (CD, MD) : 繰り返し再生するときに使います。

(CD、MD共用のキーは、入力切り換えに応じて、CD、MDのうちの選ばれている側に対して働きます。)

⑨ CD / チューナー / カセットデッキ (別売) 関連キー

再生 (◀, ▶) キー (カセットデッキ (別売))

BAND キー (チューナー)

P.CALL / スキップ (◀◀, ▶▶) キー (チューナー / CD)

: 記憶させた放送局を受信するときに、使います。

停止 (■) キー (CD / カセットデッキ (別売))

: FM文字多重モードをオン/オフします。

再生・一時停止 (▶/||) キー (CD)

選局 / 早送り、早戻し (◀◀, ▶▶) / S.W.VOLUME (▽, △) キー (チューナー / CD、カセットデッキ (別売) / スーパーウーファー (別売))

: 記憶させた放送局を受信するときに、使います。スーパーウーファーの音量を調節します。FM文字多重放送受信時にメニュー画面を戻したり、進めたりするときに使います。

TIME DISP. / EDIT キー

(CD / チューナー / カセットデッキ (別売))

: CDの時間表示モードを切り換えます。CDをテープに編集録音するときに使います。FM文字多重放送受信時に選んだカーソルの位置のメニューを確認します。

DISC SKIP キー (CD) : 聴きたいディスクを選びます。

⑩ VOLUME (▽, △) キー

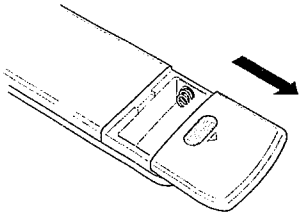
: 音量の調節に使います。

⑪ MUTE キー

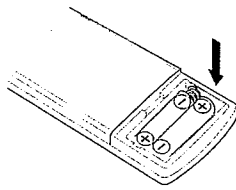
: 一時的に音を消したいときに使います。

電池の入れかた

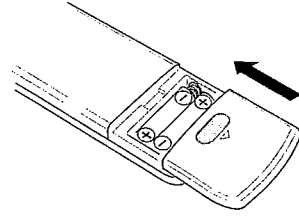
① カバーを開く



② 電池を入れる



③ カバーを閉める

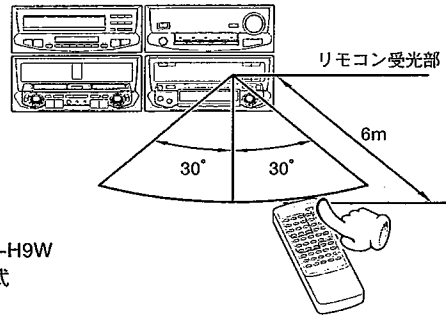


●単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの^{オン} / ^{スタンバイ} (I / ⏻) キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。電源をオフ(スタンバイ)にするときは、再度^{オン} / ^{スタンバイ} (I / ⏻) キーを押します。時刻表示のみ点灯するスタンバイ状態になります。

●リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて押してください。

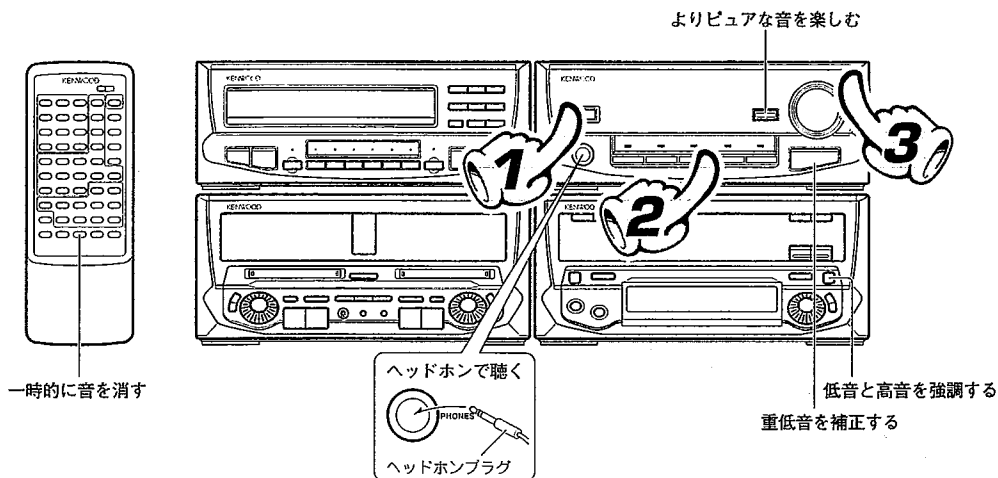


型名：RC-H9W
赤外線方式

操作範囲のめやす



1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。



オン スタンバイ
ON/STANDBY (I/⏻) キーを押す

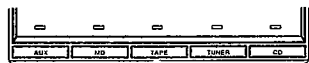


1. 電源をオンにする(オフ(スタンバイ)にする)

電源がオンのときに **オン スタンバイ**
(I/⏻) キーを押すとオフ(スタンバイ)になります。

- アンプ部(A-H9)の **オン スタンバイ** (I/⏻) キーだけで、基本システムの電源オン/オフ(スタンバイ)ができます。
- 電源がオフ(スタンバイ)のときは表示部が暗くなります。(DIMMER機能)

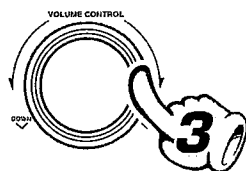
2. 聴きたいものを選ぶ



CD → 24
MD → 28
放送 → 34

- リモコンを使うときは、**インプット** キーを繰り返し押し続けて選んでください。
- CD、MDを選んだとき、すでにディスクが入っている場合は、再生が始まります。
- テープが聴きたい場合は、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をお読みください。

音量を下げる 音量を上げる

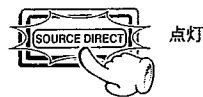


3. 音量を調節する

- 早く回すと、変化量が大きくなります。(AI VOLUME機能)
- 表示部に目安の数字が表示されます。

よりクリアな音を楽しむ (SOURCE DIRECT) (本体のみ)

SOURCE DIRECTをオンにすると、信号経路がシンプルになり、音の純度が向上します。



- バランス・コントロール以外の機能は、音声信号がその回路をバイパスするために使えません。
- もう一度キーを押すと解除されます。

低音と高音を強調する (EX. BASS) (本体のみ)

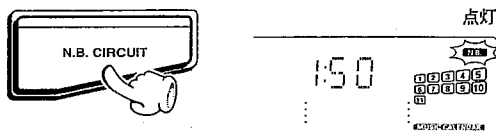
工場出荷時はオンの状態になっています。



- 押すたびにオン/オフを切り換えます。

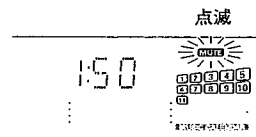
一時的に音を消す(リモコンのみ)

重低音を補正する (N.B.: Natural Bass circuit) (本体のみ)



押すたびに切り換わります。

- ① NB 1.....音量に合わせて低音域を補正(小音量時に有効です)
- ② NB 2.....音量にかかわらず低音域を補正
- ③ NB OFF.....N.B.解除

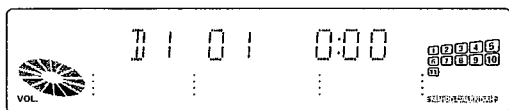


- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

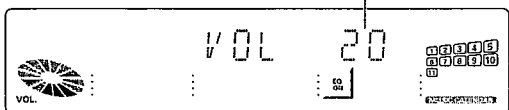
ヘッドホンで聴く

- ① ヘッドホンのプラグをPHONES端子に差し込む
- スピーカーから音が出なくなります。
- ② 音量を調節する
- プラグの抜き差しをするときは、先に音量を絞ってください。

CDを選んだとき



音量の表示

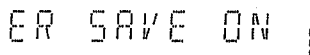


AUTO POWER SAVE機能について

電源がオンで、録音も再生もしていない状態のとき、30分以上放置すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になる機能です。この機能は、次の操作で、使う/使わないを選べます。次の場合には、AUTO POWER SAVE機能をオンにしないでください。

DIGITAL 2モニター機能を使う場合、MDをダビングする場合、MDの編集を行なう場合。 → [41]、→ [42]、→ [65] ~ → [89]

電源オフ(スタンバイ)時に押す



押すたびに切り換わります。

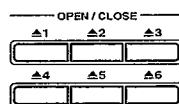
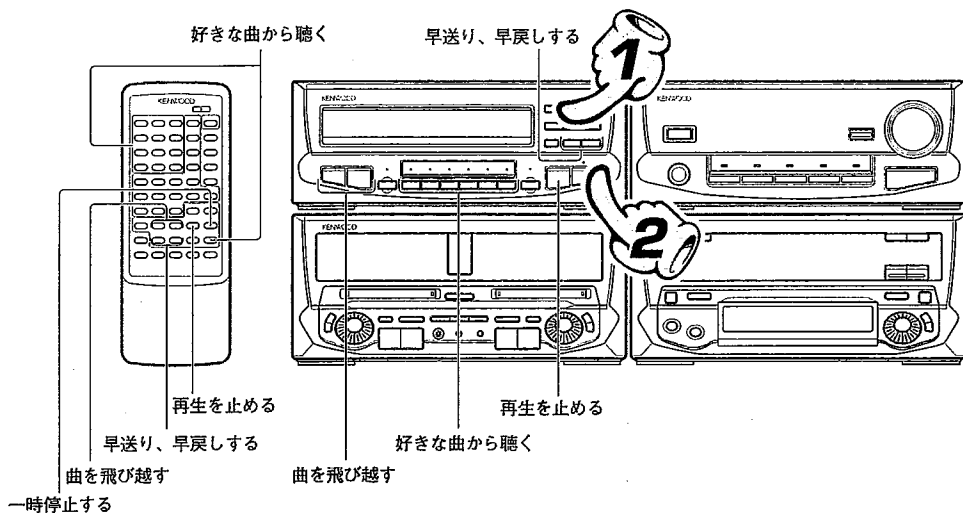
- ① "ON".....オートパワーセーブを使う
- ② "OFF"...オートパワーセーブを使わない

- 入力切換がAUXのときは働きます。TUNERのときは、音量の表示がゼロのときに限り働きます。

スタンバイ・モードについて

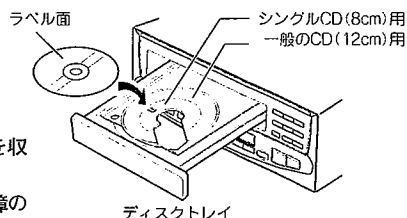
本機では電源プラグがコンセントに接続されているとき、電源オフ(スタンバイ)時に時刻表示が点灯します。メモリー保護のため、微弱な通電を行っているためです。これをスタンバイ状態といいます。時刻表示が点灯しているとき、リモコン操作によっても電源のオンができます。

6枚のディスクを収納できます。また、再生中にも他の5枚のディスクの入れ替えができます。



1. ディスクを入れる

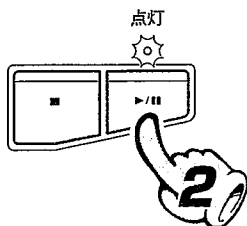
- ① トレイを開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ トレイを閉める



キーを押すとその番号のトレイが開き、もう一度押すと閉まります。トレイが開いているときに別の番号キーを押すと、自動的にトレイが閉まってから、押した番号のトレイが開きます。

①～③を繰り返して、6枚までディスクを収納できます。
ディスクを2枚以上重ねていれると、故障の原因になります。

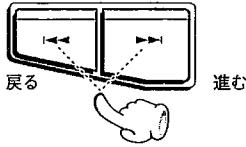
2. 再生をはじめる



ディスク取扱上のご注意

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどの、糊がはみ出したり、剥がした跡のあるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。

好きな曲から聴く

① ディスクを選ぶ

DISC SKIP

本体

② 曲を選ぶ

リモコン

数字キーを押す順序は

23曲目なら ... +10 +10 3

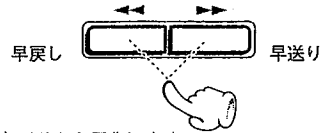
40曲目なら ... +10 +10 +10 +10 0

リモコン

1 2 3
4 5 6
7 8 9
0 +10

ABC DEF
GHI JKL MNO
PQR STU VWX
YZ 0 +10

早送り・早戻しする



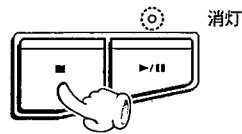
- 手を離れたところから再生します。

一時停止する

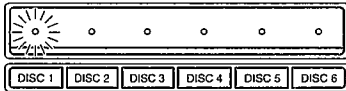


- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

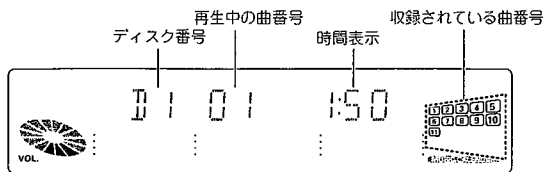
再生を止める



開いたトレイの番号のインジケーターが点滅します。



- 再生面には、触れないようにします。
- 市販のCDシングル(8cm)ディスクアダプターは使用できません。



- 数秒後にトレイ番号1の、1曲目から再生します。
- 好きなディスクから聴くときは、DISC1~DISC6(ディスクセレクトキー)で選んでください。

ディスクの置きかた

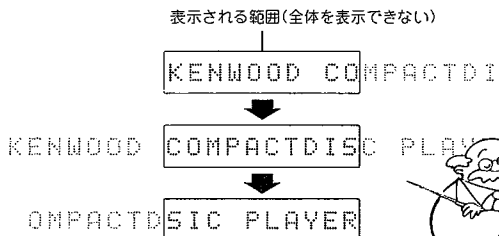
ディスクはトレイの溝に合わせて、正しく置いてください。(ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。)

ディスクインジケーターは、電源をオフ(スタンバイ)にした後、再びオンにするとディスクの有り無しにかかわらず、全てのインジケーターが点灯します。

表示部のスクロールについて

CD-TEXTのディスクの場合、ディスクのタイトルや曲のタイトルなど、情報の量が多すぎると表示部に入りきらないことがあります。これを防ぐため、表示部の文字は右から左に流れて、それまで見えなかった内容が現われます。このような表示の動きを「スクロール」といいます。

スクロールのイメージ

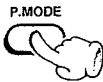
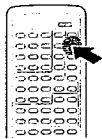


⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

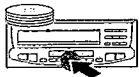
レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。

CDの聴きたい曲をタイトルで探す (CDタイトルサーチ) (再生中のディスクのみ)

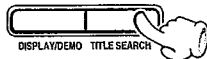
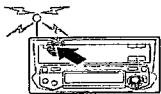
① プレイモードキーを押して、"PGM"表示を消灯させる



② DISC 1~6キーを押して、聴きたいディスクを選ぶ

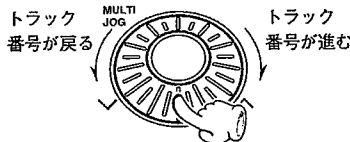
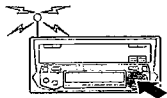


③ TITLE SEARCHキーを押す

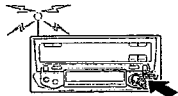


中止するときは、もう一度TITLE SEARCHキーを押します

④ 聴きたい曲名(タイトル)を選ぶ
(1) MULTI JOGで曲名を選ぶ



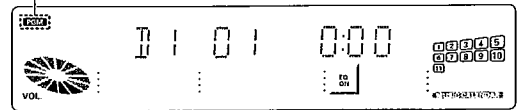
(2) ENTERキーを押して、確定する



選んだ曲の再生が始まります

● "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのP.MODEキーを押して消灯させてください。

消灯させる



- 曲名の欄に"*NO TEXT*"と表示されるディスクはCD-TEXTのディスクではありません。
- 文字情報の表示の言語は現在選択されている言語が優先されます。
"CDの文字情報の言語を切り換える" → 27
- 曲をタイトルで選ぶ場合、表示されるタイトルはタイトル先頭から12文字のみです。

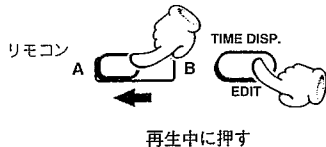
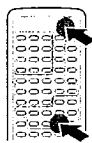
選ばれているトラックタイトル(曲名)

CDタイトルサーチ	
005	レット・イット・ライド
006	グルービン バンブー



CDプレーヤーの時間表示について (再生中のみ)

TIME DISP./EDITキーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。



再生中に押す

- ① 1:23 再生中の曲の経過時間
- ② - 2:37 再生中の曲の残り時間
- ③ 23:45 TOTAL ディスク全体の経過時間
- ④ - 36:15 TOTAL ディスク全体の残り時間

●プログラムモード、エディットモードとランダムモードは、再生中の曲の時間表示のみです。

CDの文字情報を切り換える (再生中のみ)

ディスクがCD-TEXTの場合、タイトル表示(ディスク名、曲名、アーティスト名等)のタイプを切り換えることができます。二つのキーを組み合わせることで、様々な情報を表示できます。

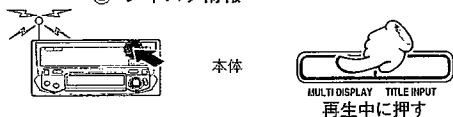


本体

再生中に押す

AUTOキーを押すたびに切り換わります。

- ① トラック(曲)情報
- ② ディスク情報



本体

再生中に押す

MULTI DISPLAYキーを押すたびに切り換わります。

- ① タイトル/アーティスト:
トラック(曲)名またはディスク名/その曲のアーティスト(または演奏者)名またはそのディスクのアーティスト(または演奏者)名
- ② ソングライター/コンポーザー:
その曲の作曲者名、またはそのディスクの作曲者名
- ③ アレンジャー/メッセージ:
その曲、またはそのディスクの編曲者(アレンジャー)名/メッセージ

① トラック(曲)タイトル

CDテキストトラック タイトル/アーティスト ニホンゴ
レット・イット・ライド
バンブーブラザース

② その曲の作曲者名

CDテキストトラック ソングライター/コンポーザー ニホンゴ
ミルトン木村
タッピーニヨ飯沢

③ その曲の編曲者(アレンジャー)名

CDテキストトラック アレンジャー/メッセージ ニホンゴ
フェルナンド水谷
ケンウッドのXM-7MDはCD-TEX

●表示するテキスト情報が無い場合は、"*NO TEXT*"とスクロール表示されます。



CDの文字情報の言語を切り換える (再生中のみ)

ディスクがCD-TEXTの場合、タイトル表示の言語(日本語または英語)を切り換えることができます。

MULTI DISPLAYキーを2秒以上押し続ける



本体

再生中に押す

MULTI DISPLAYキーを2秒以上押すたびに切り換わります。

- ① ニホンゴ: 日本語
- ② エイゴ: 英語

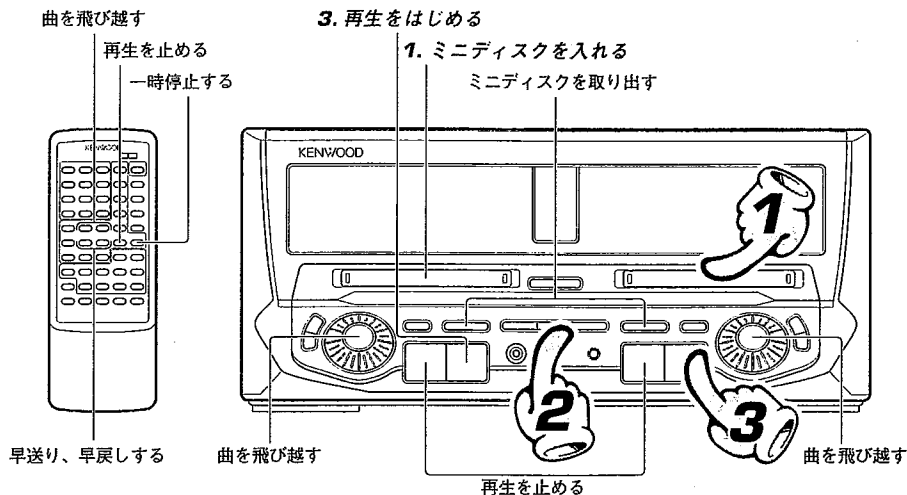
① 日本語

CDテキストトラック タイトル/アーティスト ニホンゴ
レット・イット・ライド
バンブーブラザース

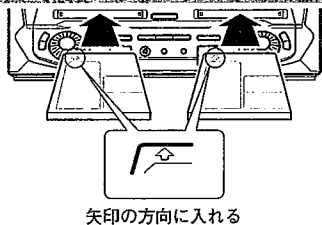
② 英語

CDテキストトラック タイトル/アーティスト エイゴ
LET IT RIDE
BAMBOO BROS.

●表示するテキスト情報が無い場合は、"*NO TEXT*"とスクロール表示されます。



基礎編



1. ミニディスクを入れる

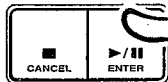
ミニディスクを本機の挿入部に確実に差し込んでください。



2. 再生するディスクを選ぶ

ディスクA、またはディスクBを選びます。

- ミニディスクや曲にタイトルが記録されているときは、タイトルを表示します。
- サイバータイトラー(別売)との読み出し、書き込みも同様に切り換えます。

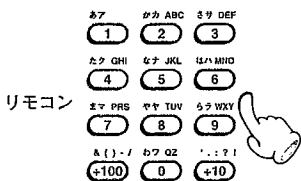


3. 再生をはじめる

リモコンで操作したい場合は、A/Bスイッチで再生したい側のミニディスクを選んでください。

1曲目から聴く場合

- 数秒後に、1曲目から再生します。
- 再生中は、各曲の最初にトラックタイトルを表示します。



曲を選ぶ場合

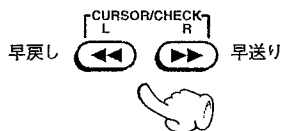
数字キーを押す順序は

23曲目なら
..... +10 +10 3

40曲目なら
..... +10 +10 +10 +10 0

- "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのP.MODEキーを押して消灯させてください。
- "READING"の点滅中にミニディスクにない曲を選ぶと、ミニディスクの最後の曲を再生します。

早送り、早戻しする (リモコンのみ)



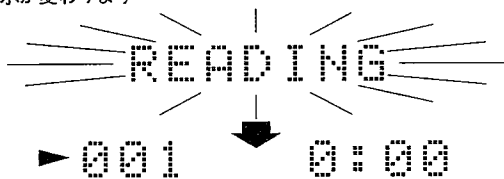
- 操作を止めた所から、再生が始まります。(一時停止中にサーチした場合、サーチ先で一時停止になります)
- 再生中の早送り、早戻しは、音が出ます。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音は出ません。

ミニディスクを取り出す (本体のみ)

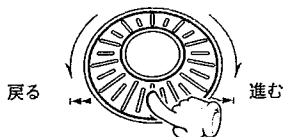


- ミニディスク挿入口に、ミニディスクが出てきます。

表示が変わります

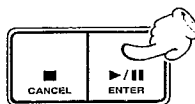


曲を飛び越す



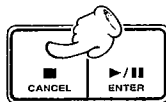
- 回した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に左に少し回すと、その曲の最初に戻ります。(再生開始後1秒以内に回すと、前の曲の最初に戻ります。)

一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

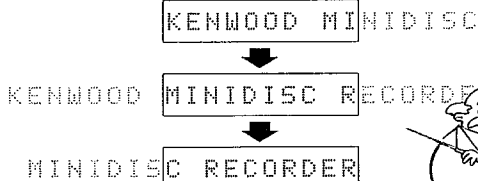


表示部のスクロールについて

ミニディスクや曲のタイトルなど、情報の量が多すぎると表示部に入りきれないことがあります。これを防ぐため、表示部の文字は右から左に流れて、それまで見えなかった内容が現われます。このような表示の動きを「スクロール」といいます。

スクロールのイメージ

表示される範囲(全体を表示できない)



⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目にあたると、視力障害を起すことがあります。

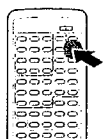
モノラル録音されたミニディスクについて

本機は、モノラルモードで録音されたミニディスクも再生できます。モノラルモードの場合、同じ記録時間の内容がステレオモード時の約半分のデータ量となるため、再生時間(記録時間)はステレオモード時の約2倍(最大148分)になります。

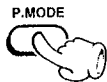


SRS 3Dの効果をかけて録音したMDは、効果をか
げずに再生してください。(アナログ録音のみ)

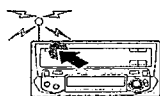
MDの聴きたい曲をタイトルで探す (MDタイトルサーチ)



① プレイモードキーを押して、"PGM"表示を消灯させる



停止中に押す



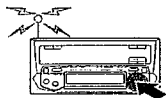
② TITLE SEARCHキーを押す



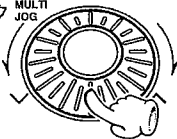
中止するときは、もう一度 TITLE SEARCHキーを押します

③ 聴きたいディスク名(タイトル)を選ぶ

(1) MULTI JOGでディスク名を選ぶ



ディスクが戻る



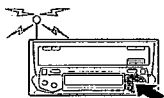
ディスクが進む

(2) ENTERキーを押して、確定する

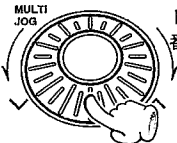


④ 聴きたい曲名(タイトル)を選ぶ

(1) MULTI JOGで曲名を選ぶ



トラック番号が戻る



トラック番号が進む

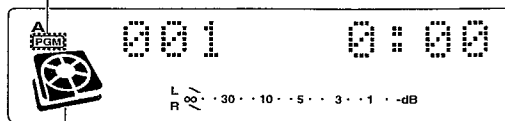
(2) ENTERキーを押して、確定する



選んだ曲の再生が始まります

- 録音用ミニディスクの場合、ミニディスクに収録されている曲のタイトルをあらかじめ入力しておく、聴きたい曲のタイトルで探すことができます。
- "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのP.MODEキーを押して消灯させてください。

消灯させる



この表示が点滅中は、タイトルサーチできません

- ミニディスクのデータ読みだし・書き込み表示の点滅中は、タイトルサーチできません。 "表示部(MDレコーダー部)"→19
- ディスクや曲をタイトルで選ぶ場合、表示されるタイトルはタイトル先頭から12文字のみです。

選ばれているディスクタイトル(ディスク名)

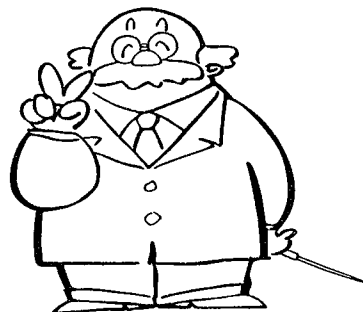
MDタイトルサーチ

ディスクA バンブー ブラザース
ディスクB ミスター・アローラ

選ばれているトラックタイトル(曲名)

MDタイトルサーチ

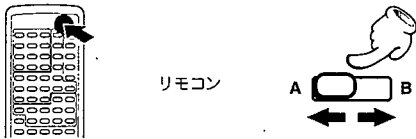
005 レット・イット・ライド
006 グルービン・バンブー



MDレコーダーの時間表示について

MDレコーダー部の時間表示のタイプを切り換えることができます。

① 時間表示したいディスク(AまたはB)を選ぶ



② 時間表示のタイプを選ぶ



TIME DISP./CLEARキーを押すたびに切り換わります。

停止中、再生中

- | | | |
|---|--------|-------------------------|
| ① | 0:00 | 0:00表示 |
| ② | -3:24 | 曲の残り時間 |
| ③ | 63:00 | 全体の合計記録時間(+); "TOTAL"点灯 |
| ④ | -11:00 | 全体の合計記録時間(-); "TOTAL"点灯 |
| ⑤ | 11:00 | 全体の録音可能時間; "REMAIN"点灯 |

録音中

- | | | |
|---|-------|-------------------------|
| ① | 1:23 | 録音中の曲の経過時間 |
| ② | 63:00 | 全体の合計記録時間(+); "TOTAL"点灯 |
| ③ | 11:00 | 全体の録音可能時間; "REMAIN"点灯 |

- 1曲も録音されていない場合、"— — — 0:00"と表示されます。(ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます)
- 再生専用MDでは、録音可能時間("REMAIN"点灯時)は表示できません。

MDのタイトルのタイプを切り換える (再生中のみ)

再生中のMDにタイトルがつけられている場合、タイトルのタイプ(漢字エリアまたはカナエリア)を切り換えることができます。

"本機で入力できる文字について" → 73

MULTI DISPLAYキーを2秒以上押し続ける



MULTI DISPLAYキーを2秒以上押すたびに切り換わります。

- | | | |
|---|---------|-------|
| ① | カンジエリア: | 漢字エリア |
| ② | カナエリア: | カナエリア |

① 漢字エリア

MDテキスト ディスク/トラック カンジエリア
尺八の唄
竹兄弟

② カナエリア

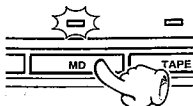
MDテキスト ディスク/トラック カナエリア
SONG FOR BAMBOO FLUTE
BAMBOO BROS.

- 表示するテキスト情報がない場合は、"*NO TITLE*"とスクロール表示されます。

ディスクA、ディスクBを連続して再生する (リレー再生)

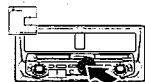
ディスクA、ディスクB両方にミニディスクをセットしておく
と、片方のディスクの再生が終わると、自動的にもう一方のデ
ィスクが再生を始めます。

① 入力切換を"MD"にする

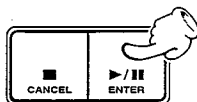
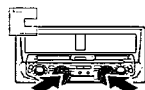


② ディスクA、ディスクBに録音済みのミニディスクを入れる

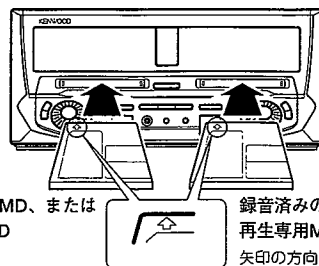
③ PLAY / REC MODEキーで再生モードを選ぶ



④ 再生・一時停止(▶/||)キーを押して、リレー再生をスタートさせる



最初に再生をさせたいディスク側の再生・一時停止(▶/||)キーを押す



録音済みのMD、または再生専用MD

録音済みのMD、または再生専用MD
矢印の方向に入れる

PLAY / REC MODEキーを押すたびに切り換わります。

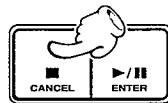
- ① "→"または"←"のどちらかが点灯:
ディスクA再生終了後、ディスクBを再生、またはディスクB再生終了後、ディスクAを再生します。
- ② "→"と"←"両方が点灯:
ディスクAとディスクBを連続して、エンドレス再生します。
- ③ "→"と"←"両方が消灯: リレー再生解除。



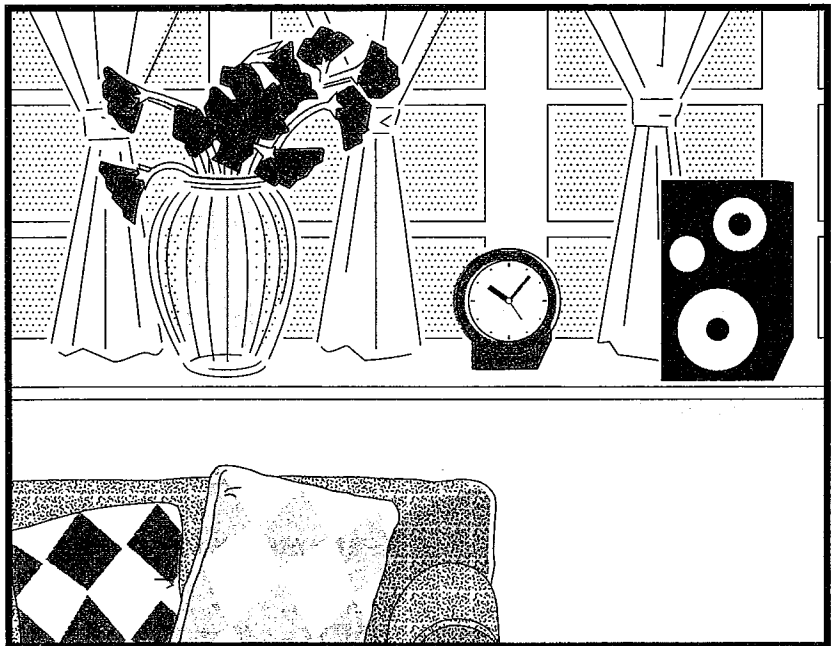
どちらか一方の矢印、または両方が点灯

- リレー再生が終了すると、自動的に停止します。

リレー再生を止めるには

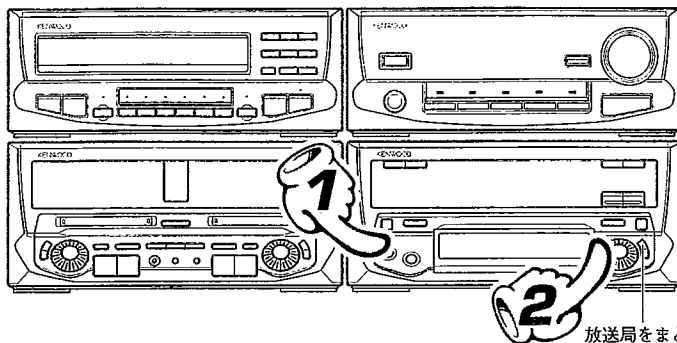
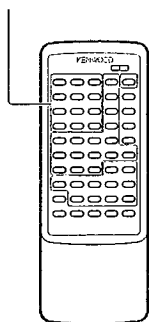


再生中のディスク側の停止(■)キーを押す

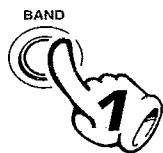


放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。
AMステレオにも対応しています。

放送局を一つずつ記憶させる



放送局をまとめて記憶させる
放送局を一つずつ記憶させる

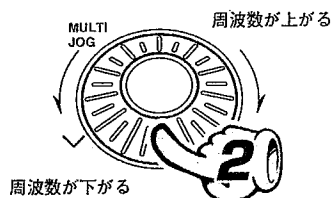


1. 放送バンドを選ぶ

押すたびに切り換わります。

- ① FM
- ② AM

2. 放送局を選ぶ



放送局を記憶させていない場合

オート選局のとき : 少し回すと、次の放送局を自動的に受信します。
マニュアル選局のとき : 受信するまで回し続ける。

放送局を記憶させた場合(プリセットコール)

キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

▶▶を押すと... 1 → 2 → 3 38 → 39 → 40 → 1
◀◀を押すと... 40 → 39 → 38 3 → 2 → 1 → 40.....

放送局を選ぶ



リモコン



放送局をまとめて記憶させる(オートプリセット)

SETキーを押したままにする(約2秒)



放送局を一つずつ記憶させる(プリセット)

① 受信中にSETキーを押す



途中で5秒以上放置すると、プリセットは中止されます。

② 1~40の"プリセットナンバー"を選ぶ

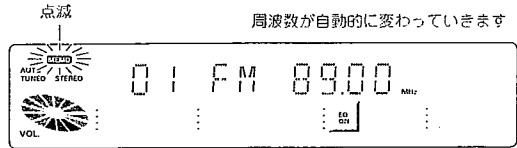
あ ア	か カ	ABC	さ サ	DEF
1	2	3		
た タ	チ チ	GHI	な ナ	JKL
4	5	6	は ハ	MNO
ま マ	み ミ	PRS	や ヤ	TUV
7	8	9	ら ラ	WXY
			わ ワ	QZ
			0	+10

リモコン

数字キーを押す順序は

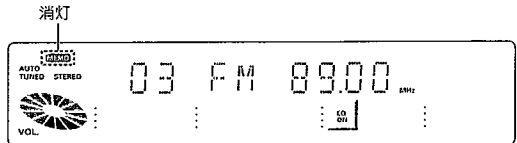
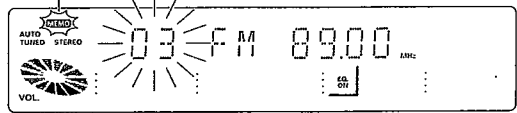
"15"に記憶させるときは: **+10** **5**

"40"に記憶させるときは: **+10** **+10** **+10** **+10** **0**



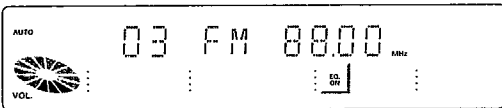
● 現在受信しているバンドから、最大40局まで自動的にプリセットされます。

メモリー "MEMO"点灯(約5秒間)



● プリセットを続けるときは、手順①②を繰り返します。
● 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

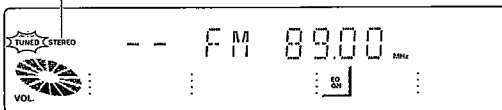
放送バンドの表示



受信すると"TUNED"が点灯

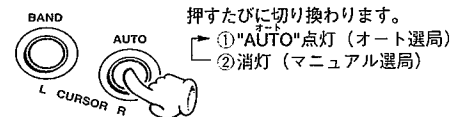
ステレオ受信時に点灯

周波数の表示



● 押したままにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。

選局方法の切り換えについて



電波が弱く、雑音が多いときはマニュアル選局にします。(マニュアル選局のとき、ステレオ放送はモノラル受信となります)

● 通常はAUTO(オート選局)にしておきます。

FM文字多重放送の文字情報を見る (見えるラジオ)

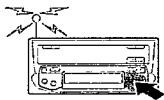
FM文字多重放送は、放送内容をいったん本機内部に蓄えるため、表示に時間がかかります。

また、ニュースなどの一度に表示できないものは、新聞のように何ページにもわたることがあります。その際はページをめくるようにして見るすることができます。

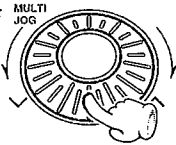
① FM放送を受信する

② 見たい情報を選ぶ

(1) MULTI JOG (◀◀、▶▶) で
メニュー画面から情報を選ぶ

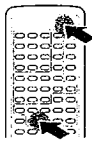


カーソルが
戻る

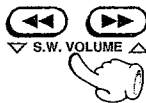


カーソルが
進む

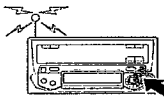
本体



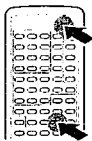
リモコン



(2) ENTER (TIME DISP. / EDIT) キー
を押して、確定する



本体



リモコン

TIME DISP.
EDIT

(1)と(2)を繰り返して、見たい情報を選びます。情報の種類は受信している放送局によって、異なります。



メニュー画面を戻したいときは、MULTI DISPLAY (CDの停止■) キーを押して戻します。

説明文中のカッコ内のキー名称はリモコンキーのものです。

- 放送の受信状態が悪かったり、受信中のFM放送が文字多重放送を行っていない場合は、数十秒後に"データ受信できません"と表示されます。

メニュー画面の表示例 カーソルで選ばれている情報

TFMミエルラジオハ イツデモシンセン! ミテミテ!
<ミラジ ッチ木曜G1グルバーで育成中>
1.バングミ情報 2.ニュース 3.天気

カーソルで選ばれている情報

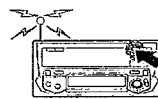
TFMミエラジ sportチャンネルニチュウモク!
1.ニュース 2.スポーツ
3.ビジネストレンド

TFM ミエルラジオ News チャンネル
アローラXM-7MDは、見えるラジオ
機能を搭載した新製品です

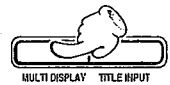
- すべての情報の受信を完了していないときは、途中のページが抜けた状態で表示されます。
- FM文字多重放送受信モードから放送局を選び直す場合は、必ずいったん、MULTI DISPLAYキーを数回押して、FM文字多重放送モードをオフにします。

FM文字多重放送の受信を止めるには

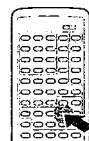
MULTI DISPLAY (CDの停止■) キーを押す



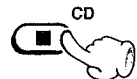
本体



"FM多重モードOFF"と表示されるまで
MULTI DISPLAYキーを数回押す。



リモコン



押すたびに切り換わります

- ① メニュー表示; FM文字多重モードオン
- ② "FM多重モードOFF"

ページを自動でめくるには

手順②で見たい情報を選んだ後は、新しいページが受信完了すると、自動でページはめくられます。

ページを手動でめくるには

MULTI JOG (◀◀、▶▶) で必要なページまで戻す、または進める。

- 手動から自動のページめくりに戻したいときは、ENTERキーを押します。
- 新しいページが受信完了しないと、ページを進めることはできません。

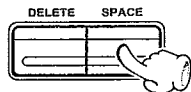
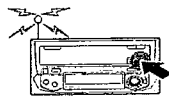
FM文字多重放送の文字情報を記憶する (記憶した文字情報を削除する)

FM文字多重放送の番組情報(現在放送中の曲の曲名、アーティスト名)などを一時的に記憶できる大変便利な機能です。いったん、記憶した文字情報は、後でその曲を録音したミニディスクに曲のタイトルとしてつけることができます。

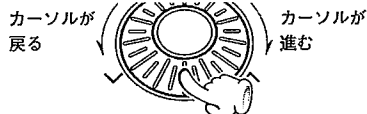
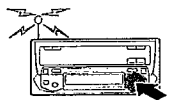
"FM文字多重放送の文字情報をミニディスクに記録する"-⑦④



- ① "FM文字多重放送の文字情報を見る"の①、②を行なって記録したい情報を選ぶ
- ② 記録したい文字情報が表示されたら、SPACEキーを押す

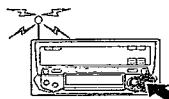


- ③ MULTI JOG(◀◀、▶▶)で1~20までの番号から空いている番号を選ぶ



"*NO DATA*"と表示される番号を選びます

- ④ ENTERキーを押して、確定する



"セーブされました!"と表示されます

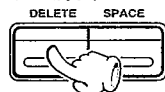
FMタジュウデータ セーブ

- 1 「筑前の竹」 竹兄弟
- 2 *NO DATA*

空いている番号を選びます

記憶したデータを消すには

- ① FM文字多重放送の文字情報の表示中にSPACEキーを押す
- ② MULTI JOG(◀◀、▶▶)で1~20までの番号から消したい番号を選ぶ
"*NO DATA*"以外の番号を選びます
- ③ 消したい番号にカーソルを合わせたら、DELETEキーを押す



- ④ "消去してもいいですか?"と表示されたら、ENTERキーを押して、確定する

手順②、③を繰り返して、データを消します

- ⑤ もう一度SPACEキーを押して、文字情報の表示に戻す

FM文字多重放送について

本機ではFM音声放送が受信できる以外に、音声放送の周波数帯域に追加された文字情報を、通常の音声放送を聴きながら同時に見ることができます。

FM文字多重放送は全国JFN系列の「見えるラジオ」、J-WAVE、FM802などのJFL加盟局、主要8都市のNHK-FMで受信可能です。文字情報は音声放送に合わせた内容の情報(番組情報)や、音声放送内容とは別の情報(ニュース、交通情報、天気予報など)(独立情報)があります。

番組情報:

受信中のFM音声放送に関する内容の情報です。放送中の曲のタイトル、アーティスト名、リクエスト受付電話番号、プレゼントの応募宛先などFM音声放送の番組に合わせた内容です。

独立情報:

FM音声放送の番組内容とは関係なく、独立した内容の情報です。ニュース、天気予報、交通情報などがあります。

表示メッセージについて:

以下の表示メッセージには次のような意味があります。

受信中の放送局がFM文字多重放送局か確認中:

FMタジュウ データジュシンチュウ

☆ しばらくお待ちください

受信中の放送局からFM文字多重用のデータが得られない場合:

FMタジュウ

☆ データ受信できません

FM文字多重放送受信モードがオフになっている場合:

FMタジュウ

☆ FM多重モードOFF

本機では、モノラルモードでの録音はできません。

MDの録音には、CDのデジタル信号がそのまま録音される"デジタル録音"と、放送などのアナログ信号をデジタルに置き換えてから録音する"アナログ録音"があります。



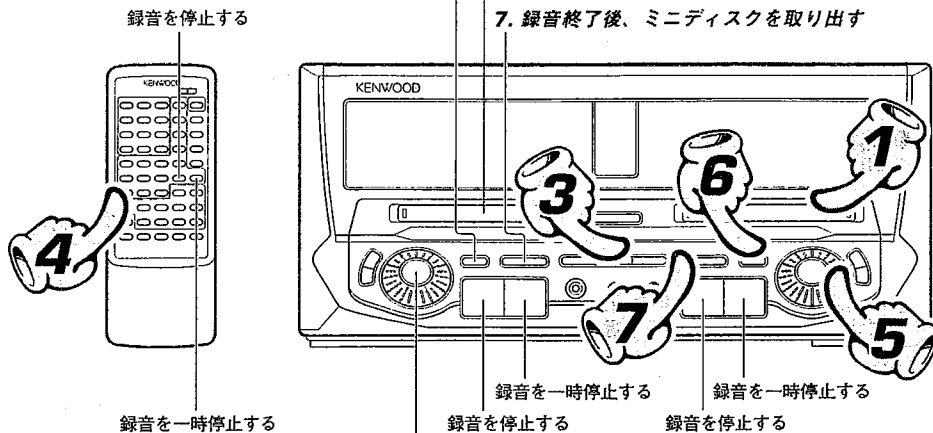
アナログ録音の際、音にSRS 3Dの効果かけると、効果のなかった音で録音できます。

→ [90]

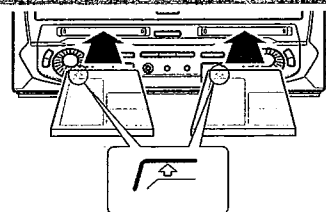
6. 録音をはじめ

1. 録音の準備をする

7. 録音終了後、ミニディスクを取り出す



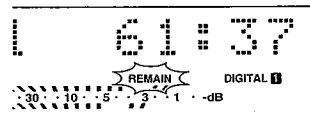
5. 録音レベルの調節をする (アナログ録音のみ)



矢印の方向に入れる

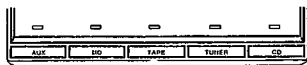
1. 録音の準備をする

- ① ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする → [107]
- ② ディスクA、またはディスクB挿入部にミニディスクを入れる
- ③ 録音可能時間を確かめる → [31]



録音可能な残り時間の表示 (REMAIN表示のとき)

アンプ部 (A-H9)

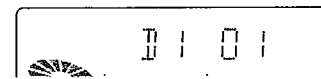


2. 何を録音するか選ぶ

録音したい入力ソース (図はCDの例) の表示にします

- AUX: アナログ録音のみ
 MD: デジタル2のみ → [41]
 TAPE: アナログ録音のみ
 放送: アナログ録音のみ
 CD: デジタル1またはアナログ録音

CDをアナログ録音したいとき
 "REC INPUT"キーの使いかた → [41]



- すでにCDやMDが入っているときは、再生が始まりますので停止(■)キーを押して止めてください。
- カセットデッキ(別売)から録音する場合は、付属の取扱説明書をお読みください。

3. 録音するディスクを選ぶ

ディスクA、またはディスクB挿入部の両方にディスクが入っているときは録音したい方を選びます。

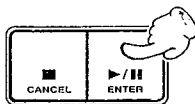
リモコンで操作したい場合は、A/Bスイッチで録音したい側のミニディスクを選んでください。

- サイバータイトラ(別売)との読み出し、書き込みも同様に切り換えます。



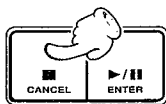
MDの録音中は、CT-H90(サイバータイター；別売)からの記録はできません。

録音を一時停止する



- 再び録音を始めるときは、もう一度押します。このとき、トラック番号は"1"繰り上がります。
- 録音(●)キーを押しても録音を始めることができます。

録音を停止する



ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

"DISC FULL"	: ミニディスクが一杯になっている。 →不要な曲を消す。	→ [84]
"PROTECTED"	: 誤消去防止つまみが開いている。 →閉める。	→ [107]
"PLAY ONLY"	: 再生専用ミニディスクである。 →録音用ミニディスクを入れる。	→ [108]

サンプリング周波数について

通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

- 48 kHz: DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。
- 44.1 kHz: DATの標準モード、CD、MD等。
- 32 kHz: DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。

本機は、サンプリングレートコンバーターを内蔵していますので、48kHz、32kHzのデジタル信号を44.1kHzに変換して録音できます。

AUTO/MANU.



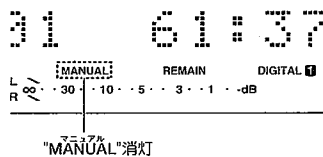
デジタル録音のときは手順6へ

4. 曲番号の付け方を選ぶ

通常はAUTO("MANUAL"表示消灯)にしておきます。

"AUTO/MANU.キーの使いかた"

→ [40]



"MANUAL"消灯

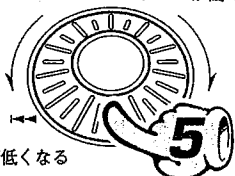
レベルが高くなる

5. 録音レベルの調節をする (アナログ録音のみ)

- 録音するソースを再生する
- 録音(●)キーを押して、録音一時停止にする
- 録音レベルを調節する

- ∞dB~0dB(81ステップ)の範囲で調節できます。
 - レベルメーターの赤い部分が点灯したときは、レベルを下げてください。
 - アナログ録音でダビングする場合は、録音レベルの調節はできません。
- "MDをコピーする" → [42]

レベルが低くなる



6. 録音をはじめ

- 録音(●)キーを押して、録音を始める (デジタル録音の場合は2回押す)
- 録音する音楽ソースを再生する

- 録音中はイジェクト(▲)キーは受け付けません。
 - CDの再生と同時に録音を始めるときは、"CDから録音するときのポイント"をお読みください。
- [40]



7. 録音終了後、ミニディスクを取り出す

録音が終わったら、必ずミニディスクを取り出してください。

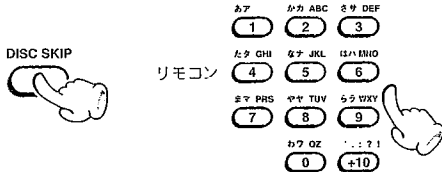
ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。



CDから録音するときのポイント

次の手順で録音を始めると、録音(MD)と再生(CD)が同時にスタートするので、音切れの心配がありません。

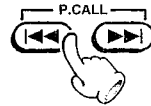
① 録音したいディスクまたは曲を選ぶ



② CDを一時停止にする



③ CDプレーヤーの◀◀キーを1回押す



選んだディスク(曲)の最初で一時停止になります。

④ MDレコーダーを録音一時停止にする



録音(●)キーを1回押すと、録音一時停止状態になります

⑤ CDの再生を始める



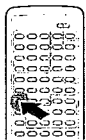
●アナログ録音の場合、曲の冒頭の音が録音できないことがあります。このときは、デジタル録音にしてください。

オート マニュアル AUTO/MANU.キーの使いかた

トラック番号を自動的に付けて録音するか、録音中または録音後手でトラック番号を付けるかを切り換えます。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

オート

AUTO
録音するときに、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。通常の録音時はこのモードにしておきます。1枚のCD全曲を録音する場合、このモードにします。また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、後で削除します。このような音楽の場合は、MANUALで録音してください。



録音を始める前に選ぶ

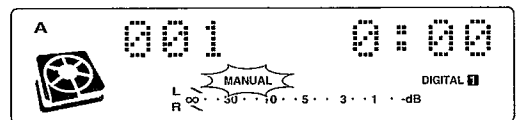


マニュアル

MANUAL
自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中または録音後、トラック番号を付けることができます。ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽などをミニディスクに録音するときなどに便利です。

押すたびに切り換わります。

- ① "MANUAL"消灯 : AUTOモード
- ② "MANUAL"点灯 : MANUALモード



オート マニュアル
AUTO時消灯、MANUAL時点灯

●録音中にEDIT(MD EDIT)キーを押すと、その位置にトラック番号が付けられます。

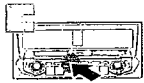


- CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は"曲をまとめて消す(QUICK ERASE)"、"1曲消す(TRACK ERASE)"または"全曲消す(ALL ERASE)"を参照して削除してください。
- AUTOモードで、1曲が極端に短いと、トラック番号が正確に繰り上がらない場合があります。

レック インプット

REC INPUTキーの使いかた (DIGITAL 2モニター機能)

デジタル録音したMDの再生レベルが適当でない(大きすぎる、または小さすぎる)とき、REC INPUTキーを使ってアナログ録音にすると、録音レベルを調節することができるので、最適なレベルで録音し直すことができます。



本体



入力切替がCDの場合

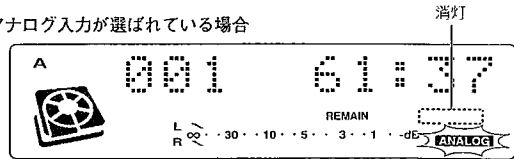
REC INPUTキーを押すたびに切り換わります。

- ① "DIGITAL1": DIGITAL 1端子に接続された機器 (CD)からのデジタル録音
- ② "ANALOG": アナログ録音

●入力切替がAUX、MD(再生中のみ)、TAPE、放送の場合は、"ANALOG"以外選べません。

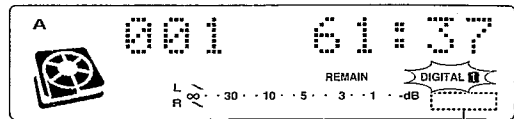


アナログ入力選ばれている場合



DIGITAL 1入力選ばれている場合

"DIGITAL 1"点灯



消灯

DIGITAL 2モニター機能について

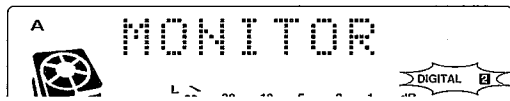
入力切替がMDで停止中の時、DIGITAL 2端子に接続された機器の音をMDレコーダーのD/Aコンバーターを使って聴くことができます。また、このモニター状態のまま、録音をはじめると、DIGITAL 2端子に接続された機器をデジタル録音することができます。"MDに録音する"→[38]



DIGITAL 2モニター機能を使う場合は、AUTO POWER SAVE機能をオフにしてください。→[23]

入力切替がMDで、MDレコーダー停止中の場合
REC INPUTキーを押すたびに切り換わります。

- ① "DIGITAL 2"点灯: DIGITAL 2端子に接続された機器のモニター再生
- ② "DIGITAL 2"消灯: モニター解除



●MDの再生をはじめると、モニター機能は解除になります。

録音の途中でMDの音をモニターするには (MDモニター機能)

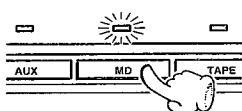
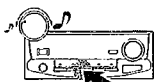
本機では、録音中のMDレコーダーの音をモニターすることができます。

入力切替のMDキーを録音中に押すことで、ソースの音と録音中の音を比較することができます。

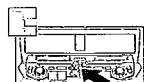
片方のディスクを録音中にもう一方のディスクを聴くには、現在録音中のディスクと違う側のディスクに録音モニターを切り換えてください。

- ① 録音を始める →[38]
- ② 入力切替のMDキーを押す

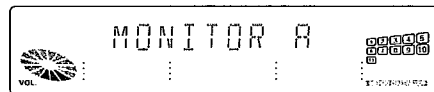
点滅



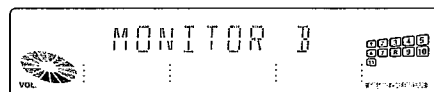
- ③ A/Bキーでモニターしたいディスク側を選ぶ



ディスクAがモニターに選ばれている場合



ディスクBがモニターに選ばれている場合



MDキーを押すたびに切り換わります。

- ① "MONITOR": MDの音をモニター中
- ② 消灯: MDモニター解除

モニターオンの時、A/Bキーを押すたびに切り換わります。

- ① "MONITOR A": ディスクAの音をモニター中
- ② "MONITOR B": ディスクBの音をモニター中

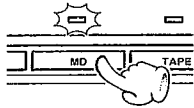
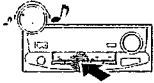
●MDのダビング中には、MDの音をモニターできません。"MDをコピーする" →[42]

MDをコピーする (ダビング)

ディスクAにセットしたMDの内容をディスクBのMDにコピーします。ディスクAが再生専用MDの場合はデジタル録音で、ディスクAが録音用MDの場合はアナログ録音でダビングされます。その際、トラック(曲の)タイトルも同様にコピーされます。

MDのダビング機能を使う場合は、^{オート}AUTO POWER ^{パワー}SAVE機能をオフにしてください。 → [23]

① 入力切換を"MD"にする

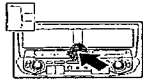


② ディスクBのMDの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする → [107]

③ ディスクAに録音済みの(または再生専用)MD、ディスクBに録音可能なMDを入れる

④ ディスクBの録音可能時間を確かめる → [31]

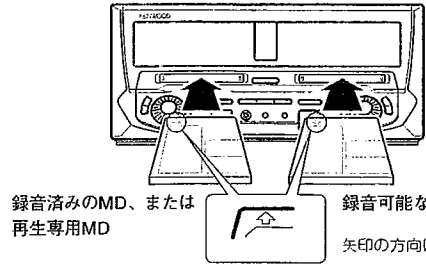
⑤ ^{ダビング}DUBBINGキーを押して、ダビングをスタートさせる



停止中に押す

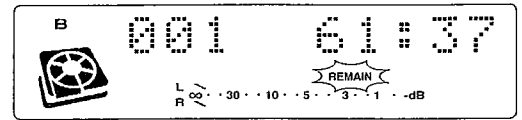


点灯



録音済みのMD、または再生専用MD

録音可能なMD
矢印の方向に入れる

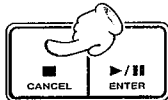


録音可能の残り時間の表示 ("REMAIN"表示点灯時)

- ダビングしたい録音済みMDに、一部でもデジタル録音された曲があると、デジタル録音でダビングできません。その場合はアナログ録音にしてください。 → [109]
- "デジタル録音とSCMSについて" → [41]
- "REC INPUTキーの使いかた"
- ダビングが終了すると、自動的に停止します。
- 極端に短い曲は、トラック番号やタイトルがコピーできない場合があります。

ダビングを止めるには

ディスクA、またはディスクB側の停止(■)キーを押す



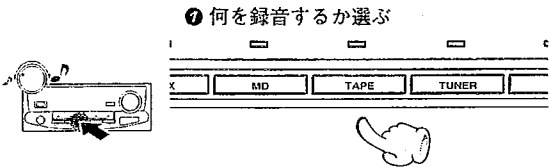
アナログ録音したMDをデジタル録音でダビングするには

^{ダビング}DUBBINGキーを押してから、2秒以内に
^{録音}REC INPUTキーを押す



ディスクA、ディスクBを連続して録音する (リレー録音)

ディスクA、ディスクB両方にMDがセットされていて、片方のディスクの録音が終わると、自動的にもう一方のディスクが録音を始めます。

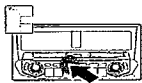


② ディスクA、ディスクBのMDの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする
→ [107]

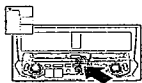
③ ディスクA、ディスクBに録音可能なMDを入れる

④ ディスクA、ディスクBの録音可能時間を確かめる
→ [31]

⑤ ^{レック} REC INPUT キーでデジタル録音、またはアナログ録音を選ぶ (CDの録音時のみ)
→ [41]



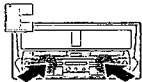
REC INPUT A/B PLAY/REC MODE



⑥ ^{プレイ} PLAY / ^{レック} REC MODE キーで録音モードを選ぶ

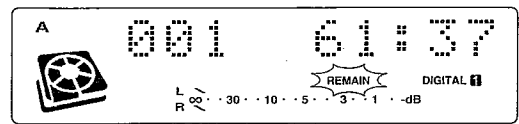
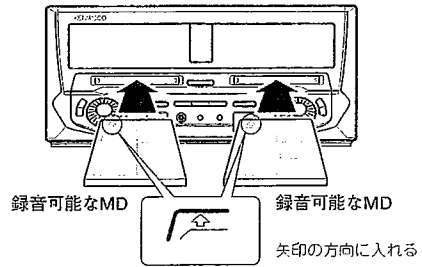
REC INPUT A/B PLAY/REC MODE

⑦ 録音 (●) キー2回を押す



録音が始まります

⑧ 録音する音楽ソースを再生する



録音可能の残り時間の表示 ("REMAIN"表示点灯時)

- リレー録音が終了すると、自動的に停止します。
- 録音中、または録音一時停止中に録音レベルを操作すると、ディスクA、ディスクBを同時に調節することができます。

^{プレイ} PLAY / ^{レック} REC MODE キーを押すたびに切り換わります。

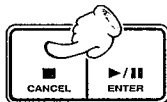
- ① "→"または"←"のどちらかが点灯:
ディスクA録音終了後、ディスクBを録音、またはディスクB録音終了後、ディスクAを録音します。
- ② "→"と"←"両方が消灯: リレー録音解除。

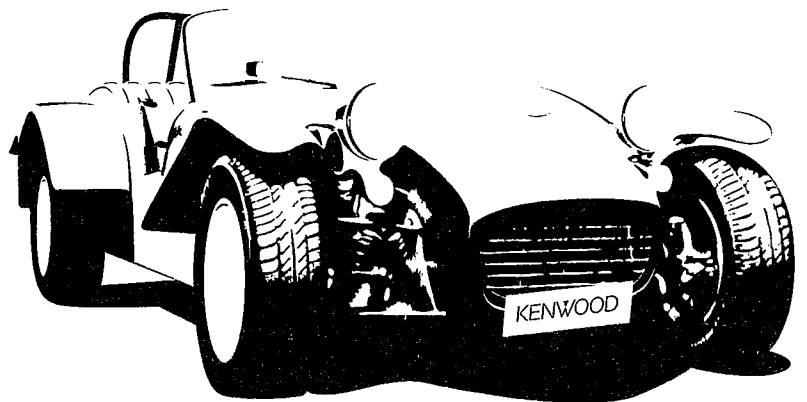


どちらかが点灯

リレー録音を止めるには



録音中のディスク側の停止 (■) キーを押す





曲順を並べ替えて聴く (プログラム再生)

トレイに入れたディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。(最大32曲)

文字表示部はスペクトラム・アナライザー表示のときには見ることが出来ません。2重表示モード、または文字表示モードにしてください。
 

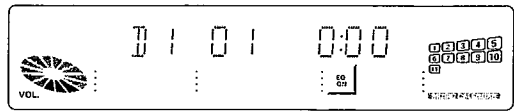
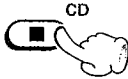
入力切換を"CD"にする

1 停止状態を確認する

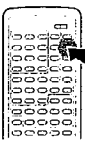


再生中のとき

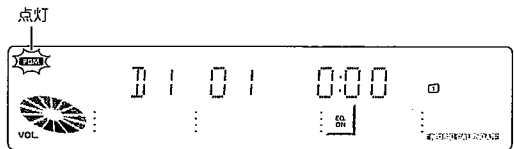
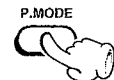
停止(■)キーを押す



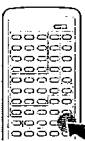
2 "PGM"表示を点灯させる



プレイモードキーを押す

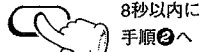


3 聴きたい順に曲を選ぶ



① DISC SKIPキーでディスクを選ぶ

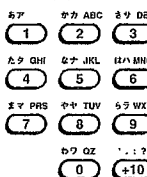
DISC SKIP



8秒以内に
手順②へ



② 数字キーで曲を選ぶ



8秒以内に
手順③へ

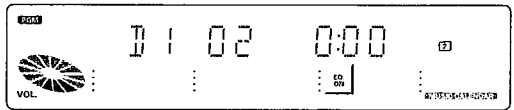
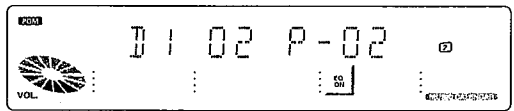


③ P.MODEキーを押して、確定する











2枚以上のCDから曲を選ぶときは、①、②、③を繰り返してください。

- DISC 1～DISC 6キーでも選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 1枚のCDを全曲プログラムするときは、ディスクを選んだ後、曲を選ばずにP.MODEキーを押して確定します。
- 間違えたときは、P.MODEキーを押してプログラムモードを解除し、手順②からやり直してください。

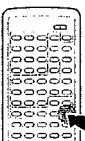


数字キーを押す順序は

23曲目なら ...   
 40曲目なら ...     



4 再生する



再生・一時停止(▶/||)キーを押す

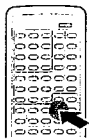


- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に ◀◀ または ▶▶ キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に ◀◀ キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

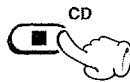
文字表示部はスペクトラム・アナライザー表示のときには見ることが出来ません。2重表示モード、または文字表示モードにしてください。

→ [15], → [93]

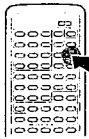
再生を止める



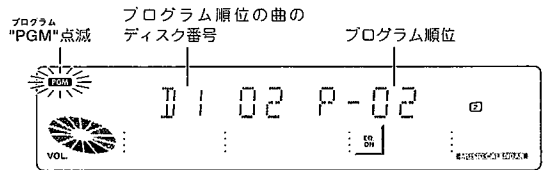
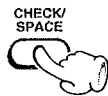
停止(■)キーを押す



曲順を確かめる

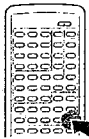


チェック / スペースキーを押す



●押すたびにプログラムされた曲を順に表示していきます。

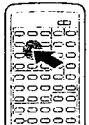
曲を追加する



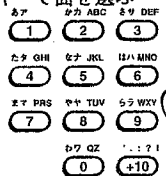
① ディスク スキップキーでディスクを選ぶ



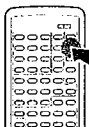
8秒以内に
手順②へ



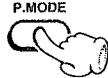
② 数字キーで曲を選ぶ



8秒以内に
手順③へ

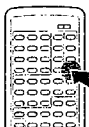


③ P.MODEキーを押して、確定する



●追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消す



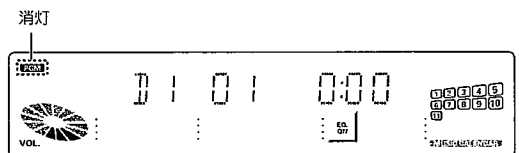
CLEAR / DELETEキーを押して、後ろから順に消していく



P.MODEキーを押して、全部消す



●押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
●そのとき聴いている曲は取り消せません。



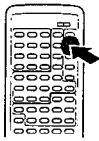
●ディスプレイを開けたときも、プログラムの内容が全部消えます。

繰り返し聴く (リピート再生)

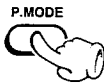
お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

入力切換を"CD"にする

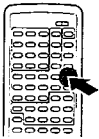
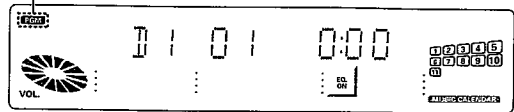
すべてのディスクを繰り返し聴く



- ① ^{プログラム}"PGM"表示の消灯を確かめる
^{プログラム}"PGM"表示が点灯しているときは、
^{プレイモード}P.MODEキーを押して消灯させてください。



消灯を確かめる



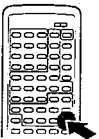
- ② ^{リピート}REPEATキーを押して、^{リピート}REPEAT表示を点灯させる



押すたびに切り換わります。

- ① ^{リピート}REPEAT (点灯)
 ② ^{リピート}リピート解除 (消灯)

点灯



- ③ ^{ディスク}DISC SKIPキーで再生を始めたディスクを選ぶ



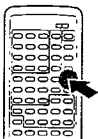
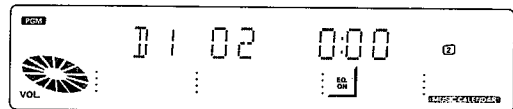
繰り返し再生をやめるには

もう一度^{リピート}REPEATキーを押します。

- ^{リピート}REPEAT表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。

選んだ曲だけを繰り返し聴く

- ① "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順④まで行ない、聴きたい曲をプログラムする → 45



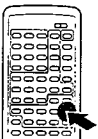
- ② ^{リピート}REPEATキーを押して、^{リピート}REPEAT表示を点灯させる



押すたびに切り換わります。

- ① ^{リピート}REPEAT (点灯)
 ② ^{リピート}リピート解除 (消灯)

点灯



- ③ 再生・一時停止(▶/||)キーを押して、再生する



繰り返し再生をやめるには

もう一度^{リピート}REPEATキーを押します。

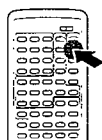
- ^{リピート}REPEAT表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。

予期しない曲順を楽しむ (ランダム再生)

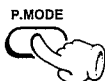
毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、飽きることなく楽しめます。

入力切換を"CD"にする

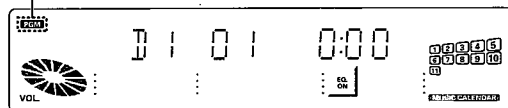
1 プログラム "PGM"表示の消灯を確かめる



"PGM"表示が点灯しているときは、
P.MODEキーを押して消灯させてください。

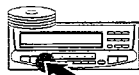


消灯を確かめる



2 ランダム RANDOMモードを選ぶ

RANDOMキーを押す
DISC RANDOMを選ぶときは、先にディスクを
選んでおいてください。



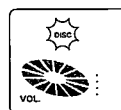
点灯



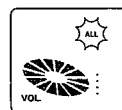
押すたびに切り替わります。

- ① DISC RANDOM (点灯) 1枚のディスクをランダム再生する
- ② ALL RANDOM (点灯) 全てのディスクをランダム再生する
- ③ 通常の再生 (消灯)

1枚のディスクをランダム再生するとき



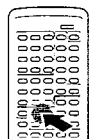
全てのディスクをランダム再生するとき



- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- REPEATキーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

P.CALL (P.CALL) キーを押す



- ◀◀キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

RANDOMキーを押して、RANDOM表示を消灯させる



消灯



- RANDOM表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。



曲順を並べ替えて聴く (プログラム再生)

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。
(最大32曲)

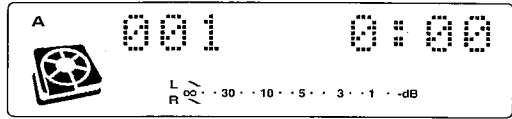
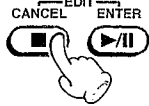
MDの再生中は、CT-H90(サイバータイトラー;別売)からの記録はできません。

入力切換を"MD"にする

1 停止状態を確認する

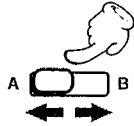
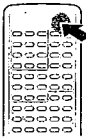
再生中のとき

停止(■)キーを押す



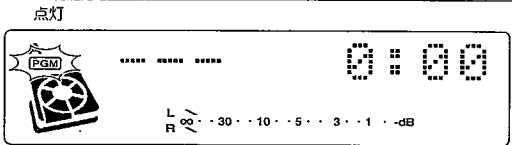
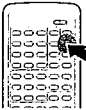
2 聴きたいディスクを選ぶ

ディスクA、またはBを選ぶ



3 "PGM"表示を点灯させる

プレイモード P.MODEキーを押す



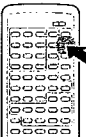
4 聴きたい順に曲番号を選ぶ

① 数字キーで曲を選ぶ

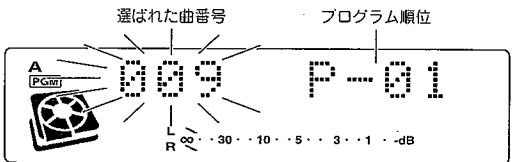


あア	かカ	ABC	さサ	DEF
1	2	3		
たタ	GH	なナ	JKL	はハ
4	5	6		
まマ	PRS	やヤ	TUV	わワ
7	8	9		
+100	0	+10		

② P.MODEキーを押して、確定する



2曲以上を選ぶときは、①と②を繰り返してください。



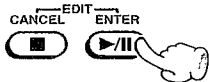
数字キーを押す順序は

23曲目なら:

40曲目なら:

5 再生する

再生・一時停止(▶/||)キーを押す



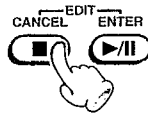
- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に、◀◀ または ▶▶ キーを押すと、押した方向へ飛び越します。

- 32曲まで選べます。それ以上は選べません。
- 間違えたときはCLEAR/DELETEキーを押してから選び直してください。
- 極端に短い曲は、プログラムできません。
- プログラム時間の合計が256分以上になると、時間表示が"---"になります。

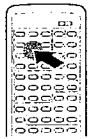
再生を止める



停止(■)キーを押す



曲を追加する (停止中のみ)



① 数字キーで曲を選ぶ

あ ア	か ABC	さ DEF
1	2	3
た GHI	な JKL	は MN O
4	5	6
ま PQR	や TUV	ら WXY
7	8	9
A () /	ワ Z	・ : ; ?
<100	0	+10

② P.MODEキーを押して、確定する



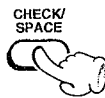
2曲以上を選ぶときは、①と②を繰り返してください。

●追加したい曲番号を選ぶと、プログラムの最後に追加されます。

曲順を確かめる



CHECK / SPACEキーを押す



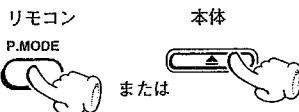
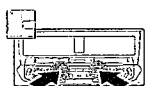
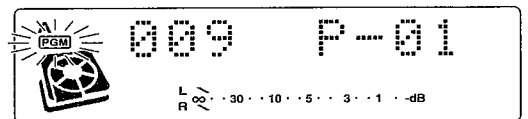
プログラムした曲を取り消す (停止中のみ)



CLEAR / DELETEキーを押して、後から順に消していく

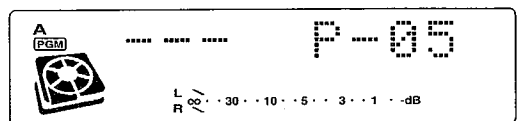


P.MODEキー、またはイジェクト(▲)キーを押して、全部消す

プログラム
"PGM"表示点滅

●押すたびに、プログラムされた曲を順に表示していきます。

取り消された後の表示



●押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

●プログラムの内容が、全部消えます。

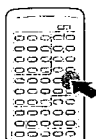
繰り返し聴く (リピート再生)

MDの再生中は、CT-H90(サイバータイトラー;別売)からの記録はできません。

入力切換を"MD"にする、リモコンのA/Bスイッチで操作したいディスク(AまたはB)を選んでください → 49

選んだ曲だけを繰り返すには

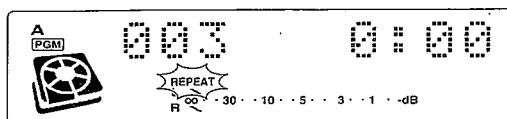
- ① "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順④まで行ない、聴きたい曲をプログラムする → 49



- ② REPEATキーを押して、"REPEAT"表示を点灯させる



- ③ 再生・一時停止(▶/||)キーを押して、再生する



リピート プログラム
"REPEAT"、"PGM"点灯

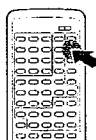
- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。

繰り返し再生をやめるには

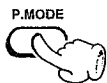
もう一度REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、MDレコーダーのモードに従った再生に戻ります。

ディスク全体を繰り返すには

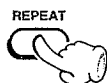


- ① P.MODEキーを押して、"PGM"表示を消灯させる

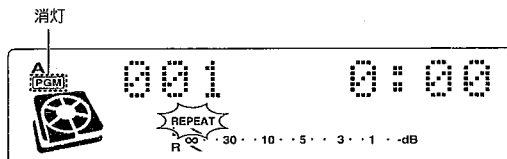
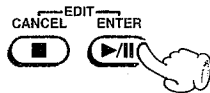


停止状態で押す

- ② REPEATキーを押して、"REPEAT"表示を点灯させる



- ③ 再生・一時停止(▶/||)キーを押して、再生する



プログラム リピート
"PGM"消灯、"REPEAT"点灯

繰り返し再生をやめるには

もう一度REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、MDレコーダーのモードに従った再生に戻ります。

録音のタイプを選ぶ

本章では、カセットデッキ(別売)と組み合わせた場合を考慮して、カセットデッキの録音機能も説明しています。

便利な録音機能が、多数用意されています。用途に応じて選んでください。

2枚以上のCDから、好きな曲を好きな曲順で編集することもできます。そのときは、「プログラム録音」を選んでください。

テープへの録音の場合は、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。

MDからTAPEへの録音中は、CT-H90(サイバータイター；別売)からの記録はできません。

START !!

何から何へ録音しますか？

CD → TAPE

CD → MD

MD → TAPE

複数のCDから選んで録音しますか？

Yes

MDを全曲録音しますか？

No

Yes

一枚のCDを全曲録音しますか？

No

Yes

録音する曲を決めてある

曲順を変えたい

No

Yes

Yes

No

聴いてから決める

テープの長さを気にしますか？
(MDはプログラム録音のみ)

Yes

No

テープの折り返しを気にしますか？
(MDはワンタッチエディットのみ)

Yes

No

ワンタッチエディット一曲

タイム編集録音
(TAPEのみ)プログラム録音
一枚のCDフェード編集録音
(TAPEのみ)

ワンタッチエディット全曲

複数のCDの一曲目だけを録音したいですか？

No

Yes

好きな曲を選んで録音する

プログラム録音
複数枚のCD

BEST HITS

応用編

便利な機能

ダビング機能 : ディスクAにセットしたMDの内容をディスクBのMDにコピーします。 → 42

リレー録音機能 : 片方のディスクの録音が終わると、自動的にもう一方のディスクが録音を始めます。 → 43

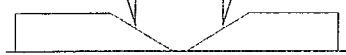
TWIN O.T.E.機能:

CDからMD2枚へ同時に録音する機能です。CD1枚ぶんを全曲、または再生中の曲のみを録音できます。 → 56

フェードイン/フェードアウトとは

だんだん音が
小さくなるよ

音が大きくなってきた



フェードアウト フェードイン

フェードアウト : だんだん音を小さくして曲が終わること

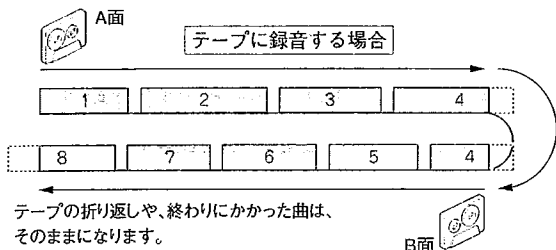
フェードイン : だんだん音を大きくして曲が始まること

1枚のCD、MDをワンタッチで録音する

(ワンタッチエディット全曲録音)

→ [54]

CD1枚、またはMDの全曲を、ワンタッチで録音します。CDからはテープまたはMDへ、MDからはテープに録音できます。(MDへの録音はディスクBのみ)



いい曲があれば、その曲だけ録音する

(ワンタッチエディット1曲録音)

→ [55]

CDやMDを聴いているとき、ワンタッチで、今聴いている曲だけを、始めから録音できます。

CDからはテープまたはMDへ、MDからはテープに録音できます。初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。(MDへの録音はディスクBのみ)

CDから2枚のMDへ同時に録音する

(ツイン・ワンタッチエディット録音)

→ [56]

CD1枚の全曲、またはCDの今聴いている曲だけを、ワンタッチで同時に2枚のMDに録音します。

1曲目だけを集めたMDまたはテープを作る

(BEST HITS機能)

→ [57]

セットされている全てのCDの1曲目を、順にMDまたはテープへ録音する機能です。

ワンタッチエディット

O.T.E.録音中(CD→MD)にもう一枚のMDに録音する

(裏録音)

→ [60]

CDからMDのディスクBへワンタッチで録音している最中に、MDのディスクAに違うソース(AUX、TUNER、TAPE)を録音できます。(アナログ録音のみ)

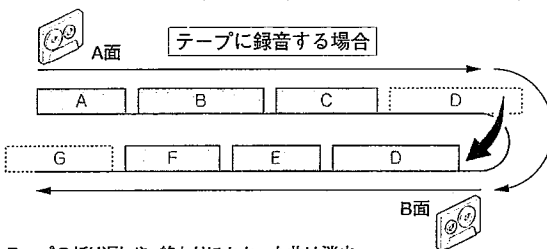
1枚または、複数枚のCDを録音する (CD→MD)

→ [58]

(プログラム録音)

1枚のCDから

プログラムした曲順でCDからMDまたはテープへ録音します。(MDへの録音はディスクBのみ)



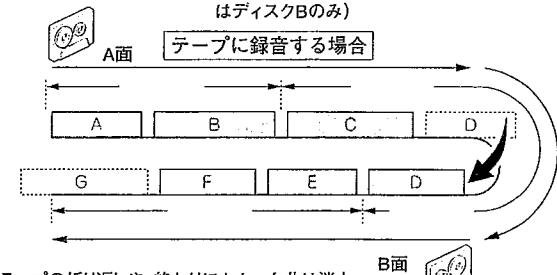
テープの折り返しや、終わりにかかった曲は消去され、裏面はその曲の最初から録音します。(最大32曲まで)

(CD→TAPE)

→ [59]

2枚以上のCDから

複数のCDから、好きな曲だけを選んでCDからMDまたはテープへ録音します。(MDへの録音はディスクBのみ)



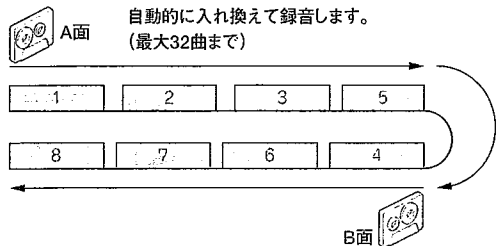
テープの折り返しや、終わりにかかった曲は消去され、裏面はその曲の最初から録音します。(最大32曲まで)

テープの長さに応じて曲順を入れ替える

(CD→TAPEのみ) (タイム編集録音)

→ [62]

テープの折り返しで曲が途切れないように、曲順を自動的に入れ換えて録音します。(最大32曲まで)

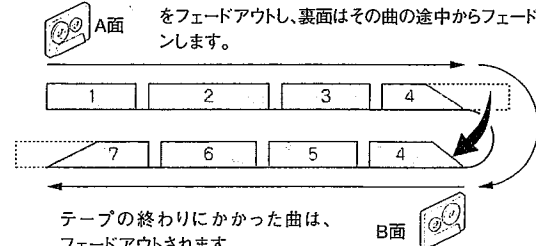


テープの折り返しでフェードアウト/フェードインする

(CD→TAPEのみ) (フェード編集録音)

→ [64]

CDの曲順で録音します。テープの折り返しにかかる曲をフェードアウトし、裏面はその曲の途中からフェードインします。



テープの終わりにかかった曲は、フェードアウトされます。

1枚のCD、MDをワンタッチで録音する (ワンタッチエディット全曲録音)

CD(1枚)またはMDの全曲を、ワンタッチで録音できます。
 CDからはテープまたはMDへ、MDからはテープへ録音します。
 (MDへの録音はディスクBのみ)
 テープへの録音の場合は、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。

1 録音の準備をする

CD→MDのとき (ディスクBのみ)

- ① MDレコーダーのディスクBに、録音可能なディスクを入れる
- ② 入力切換キーで"CD"を選ぶ
- ③ CDプレーヤーにディスクを入れる

テープ MD→TAPEのとき

- ① テープを入れる
- ② テープの動く向き(◀▶)を確かめる
- ③ "☐"(両面録音)を選ぶ
- ④ ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- ⑤ 入力切換キーで"MD"を選ぶ
- ⑥ MDレコーダーにディスクを入れる
- ⑦ MDのディスクを選ぶ(AまたはB)
- ⑧ 録音レベルを調整する

テープ CD→TAPEのとき

- ① テープを入れる
- ② テープの動く向き(◀▶)を確かめる
- ③ "☐"(両面録音)を選ぶ
- ④ ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- ⑤ 入力切換キーで"CD"を選ぶ
- ⑥ CDプレーヤーにディスクを入れる
- ⑦ 録音レベルを調整する

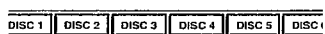
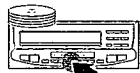
2 録音を始める



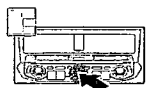
CDプレーヤー、MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

CD→MDのとき

- ① DISC 1~DISC 6キーを押して、目的のディスクを選ぶ



- ② O.T.E.キーを押して、録音を始める



CDの再生が始まる前に、押す

MD→TAPEのとき

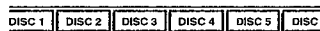
カセットデッキ(別売)のO.T.E. (MD→TAPE)キーを押す



停止中に押す

CD→TAPEのとき

- ① DISC 1~DISC 6キーを押して、目的のディスクを選ぶ



- ② カセットデッキ(別売)のO.T.E. (CD→TAPE)キーを押して、録音を始める



CDの再生が始まる前に、押す

再生が始まってからO.T.E.キーを押すと、その曲だけ録音されます。
 - [55] - [56]

●テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープのぶんだけ曲が録音されません。曲が途切れないように録音したいときは、他の録音方法をご利用ください。

録音を途中でやめるには

CD→MDのとき

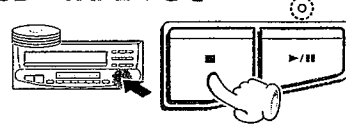


消灯

MD→TAPEのとき



CD→TAPEのとき



消灯

●録音、再生ともに停止します。

いい曲があれば、その曲だけ録音する (ワンタッチエディット1曲録音)

CDやMDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。CDからはテープまたはMDへ、MDからはテープに録音できます。(MDへの録音はディスクBのみ)
テープへの録音の場合は、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。

1 録音の準備をする

CD→MDのとき (ディスクBのみ)

- ① MDレコーダーのディスクBに、録音可能なディスクを入れる
- ② 入力切換キーで"CD"を選ぶ
- ③ CDプレーヤーにディスクを入れる

MD→TAPEのとき

- ① テープを入れる
- ② テープの動く向き(◀▶)を確かめる
- ③ "□" (両面録音)を選ぶ
- ④ ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- ⑤ 入力切換キーで"MD"を選ぶ
- ⑥ MDレコーダーにディスクを入れる
- ⑦ MDのディスクを選ぶ(AまたはB)
- ⑧ 録音レベルを調整する

CD→TAPEのとき

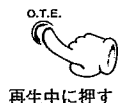
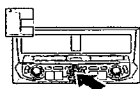
- ① テープを入れる
- ② テープの動く向き(◀▶)を確かめる
- ③ "□" (両面録音)を選ぶ
- ④ ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- ⑤ 入力切換キーで"CD"を選ぶ
- ⑥ CDプレーヤーにディスクを入れる
- ⑦ 録音レベルを調整する

2 CDまたはMDを再生する

3 録音したい曲の再生中に、ワンタッチエディット O.T.E. キーを押す

CD→MDのとき

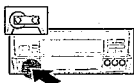
O.T.E.キーを押す



再生中に押す

MD→TAPEのとき

カセットデッキ(別売)のO.T.E. (MD→TAPE)キーを押す



再生中に押す

CD→TAPEのとき

カセットデッキ(別売)のO.T.E. (CD→TAPE)キーを押す



再生中に押す

●再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。

録音が終了すると.....

MDレコーダー : 停止します。
カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

再生側の機器(CDプレーヤーまたはMDレコーダー)は、一時停止になります。

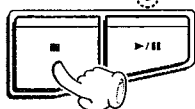
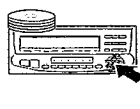
他の曲を録音するには.....手順 ②, ③ を繰り返してください。



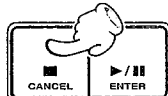
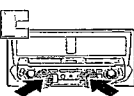
録音を途中でやめるには

CD→MDのとき

消灯

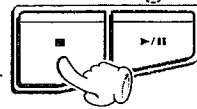
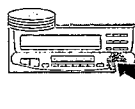


MD→TAPEのとき



CD→TAPEのとき

消灯



●録音、再生ともに停止します。

CDから2枚のMDへ同時に録音する (ツイン・ワンタッチエディット録音)

1枚のCDをワンタッチで録音する

(ワンタッチエディット全曲録音)

CD(1枚)全曲を、ワンタッチでディスクAとディスクB両方のMDに同時に録音できます。

いい曲があれば、その曲だけ録音する

(ワンタッチエディット1曲録音)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からディスクAとディスクB両方のMDに同時に録音できます。

1 録音の準備をする

1枚のCDをワンタッチで録音する

(ワンタッチエディット全曲録音)

- ① MDレコーダーのディスクAとディスクB両方に、録音可能なディスクを入れる
- ② 入力切換キーで"CD"を選ぶ
- ③ CDプレーヤーにディスクを入れる



CDプレーヤー、MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

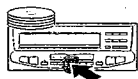
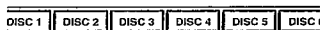
いい曲があれば、その曲だけ録音する

(ワンタッチエディット1曲録音)

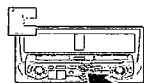
- ① MDレコーダーのディスクAとディスクB両方に、録音可能なディスクを入れる
- ② 入力切換キーで"CD"を選ぶ
- ③ CDプレーヤーにディスクを入れる

2 録音を始める

- ① DISC 1~DISC 6キーを押して、目的のディスクを選ぶ



- ② ツイン O.T.E.キーを押す



CDの再生が始まる前に、押す

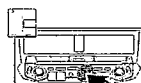
2 CDを再生する

3 録音したい曲の再生中に、ツイン O.T.E.キーを押す

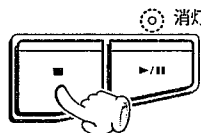
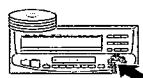
ツイン TWIN O.T.E.キーを押す



再生中に押す



録音を途中でやめるには



●録音、再生ともに停止します。

1曲目だけを集めたMD、テープを作る ベスト ヒッツ (BEST HITS機能)

セットされている全てのCDの1曲目を、トレイ1から順にMD1枚、または同時に2枚へ、または、テープへ録音します。テープへの録音の場合は、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。

1 録音の準備をする

CD→MD1枚のとき(ディスクBのみ)

- MDレコーダーのディスクBに、録音可能なディスクを入れる
- 入力切換キーで"CD"を選ぶ
- CDプレーヤーにディスクを入れる (CDは録音したい順に、トレイ1から入れます)

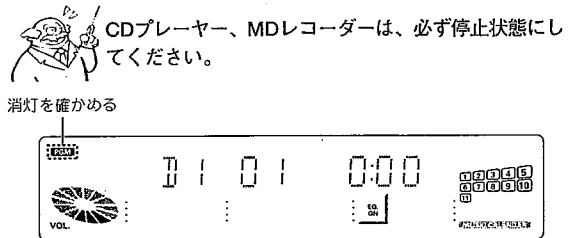
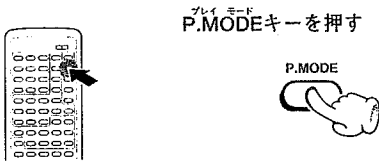
CD→MD2枚のとき

- MDレコーダーのディスクA、ディスクB両方に、録音可能なディスクを入れる
- 入力切換キーで"CD"を選ぶ
- CDプレーヤーにディスクを入れる (CDは録音したい順に、トレイ1から入れます)

テープ テープ CD→TAPEのとき

- テープを入れる
- テープの動く向き(◀▶)を確かめる
- "二" (両面録音)を選ぶ
- ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- 入力切換キーで"CD"を選ぶ
- CDプレーヤーにディスクを入れる (CDは録音したい順に、トレイ1から入れます)
- 録音レベルを調整する

2 プログラム "PGM"表示を消灯させる



3 BEST HITS PROGRAMキーを押す

CD→MD1枚のとき(ディスクBのみ)



CD→MD2枚のとき



CD→TAPEのとき

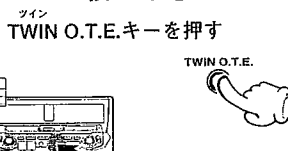


4 録音をスタートする

CD→MD1枚のとき(ディスクBのみ)



CD→MD2枚のとき



●BEST HITS機能で録音中に、いずれかのディスクトレイを開けると、録音は中止されます。

録音途中でやめるには

CDプレーヤーの停止(■)キーを押すと、録音、再生ともに停止します。

応用編

1枚または、複数枚のCDを録音する (CD→MD) (プログラム録音)

6枚のディスクの中から好きな曲を好きな順番でプログラムしたものを1枚のMDに収録することができます。(MDへの録音はディスクBのみ)



音にSRS 3Dの効果をかけると、効果のかかった音で録音できます。(CDからMDへのデジタル録音を除く) → 90

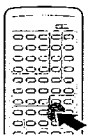
文字表示部はスペクトラム・アナライザー表示のときには見ることが出来ません。2重表示モード、または文字表示モードにしてください。

→ 15, → 93

録音の準備が必要です

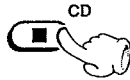
→ 54

1 停止状態を確認する

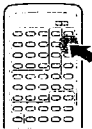


再生中のとき

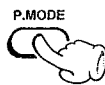
停止(■)キーを押す



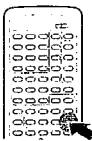
2 "PGM"表示を点灯させる



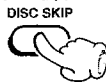
プログラム
P.MODEキーを押す



3 録音する順に曲を選ぶ

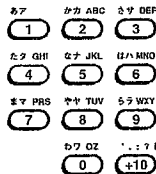


① ディスクスキップキーを押して、ディスクを選ぶ



8秒以内に
手順②へ

② 数字キーで曲を選ぶ



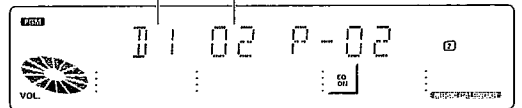
8秒以内に
手順③へ

③ P.MODEキーを押して、確定する



点灯
選んだディスク番号を表示します

選んだ曲番号を表示します



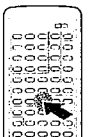
- 使用するMDの録音時間を超えないように選んでください。
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、CLEAR / DELETEキーを押してから、選び直してください。
- ディスクを選んだ後、曲を選ばずにP.MODEキーを押すと、ディスクの全曲がプログラムされますので、O.T.E機能は働きません。手順③からやり直してください。
- REPEATキーは働きません。

2枚以上のCDから編集するときは、①、②、③を繰り返してください。

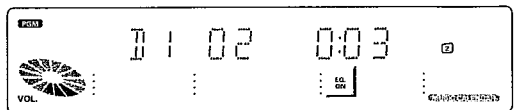
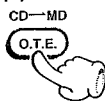
編集した内容を確認する → 63

編集した内容を取り消す → 63

4 録音をスタートする



ワンタッチエディット
O.T.E.キーを押す



- CDがトレイ内で交換中は、MDの録音は一時停止しています。
- MDの収録時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。



録音が終わったら、必ずディスクを取り出してください。

1枚または、複数枚のCDを録音する (CD→TAPE) (プログラム録音)

6枚のディスクの中から好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをテープに収録することができます。
カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。

文字表示部はスペクトラム・アナライザー表示のときには見ることが出来ません。2重表示モード、または文字表示モードにしてください。

→ 15, → 93

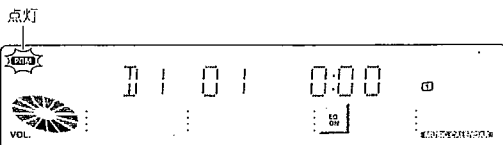
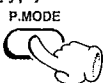
録音の準備が必要です

- 54

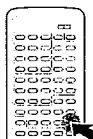
1 プログラム "PGM"表示を点灯させる



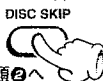
プレイモード P.MODEキーを押す



2 録音する順に曲を選ぶ



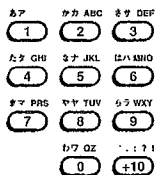
① ディスク スキップ DISC SKIPキーを押して、ディスクを選ぶ



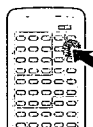
8秒以内に手順②へ



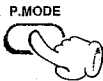
② 数字キーで曲を選ぶ



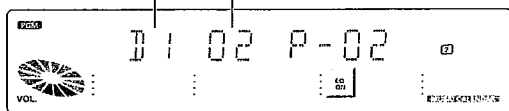
8秒以内に手順③へ



③ P.MODEキーを押して、確定する



選んだディスク番号を表示します
選んだ曲番号を表示します



- 使用するテープの録音時間を超えないように選んでください。
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、**CLEAR / DELETE**キーを押してから、選び直してください。
- ディスクを選んだ後、曲を選ばずに**P.MODE**キーを押すと、ディスクの全曲がプログラムされますので、CCRS機能は働きません。手順⑦からやり直してください。
- REPEAT**キーは働きません。

2枚以上のCDから編集するときには、①、②、③を繰り返してください。

編集した内容を確認する → 63
編集した内容を取り消す → 63

3 編集録音をスタートする

カセットデッキ(別売)のCCRSキーを押す



CCRSとは (カセットデッキ(別売)のみ)

CDをワンタッチでカセットテープに録音する機能です。CCRSキーを押すと、約60秒間で(CDの内容によって差があります)、CDの内容と、使用するテープの特性を調べて、録音レベルが自動的に設定され、録音が始まります。録音が終了すると、自動的に停止します。電源をオフ(スタンバイ)にしたり、CDを停止すると設定は解除されます。

- 約60秒間で(CDの内容によって差があります)録音レベルの調整が行われた後、録音が始まります。
- 2枚以上のCDから編集する場合、ディスクが切り換わるたびに、CCRS設定が行われます。

1. CDプレーヤーの再生中にCCRSキーを押すと、再生は中止され、CCRS設定(編集録音準備)が始まります。
2. クラシックなど、1曲が長くてテープ片面に収まらない場合は、編集録音はできません。
3. デッキが片面録音(=)にセットされている場合、テープ折り返し部の処理は、おもて面だけになります。

ワンタッチエディット

O.T.E.録音中(CD→MD)にもう1枚のMDに録音する (裏録音)

CDからMDのディスクBへワンタッチで録音している最中に、MDのディスクAに違うソース(AUX、TUNER、TAPE)を録音できます。(アナログ録音のみ)

テープからの録音の場合は、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。

文字表示部はスペクトラム・アナライザー表示のときには見ることが出来ません。2重表示モード、または文字表示モードにしてください。

— 15 — 93 —

1 録音の準備をする

AUX→MDのとき(ディスクAのみ)

- ① AUX端子に接続された機器の再生の準備をする(接続された機器付属の取扱説明書をよくお読みください)
- ② MDレコーダーのディスクAに、録音可能なディスクを入れる

チューナー

TUNER→MDのとき(ディスクAのみ)

- ① 放送局バンドを選ぶ
- ② 放送局を選ぶ
- ③ MDレコーダーのディスクAに、録音可能なディスクを入れる

テープ

TAPE→MDのとき(ディスクAのみ)

- ① テープを入れる
- ② テープの動く向き(◀▶)を確かめる
- ③ "⌂"(両面録音)を選ぶ
- ④ ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- ⑤ MDレコーダーのディスクAに、録音可能なディスクを入れる

2 "1枚のCD、MDをワンタッチで録音する(CD→MD)"、

または"いい曲があれば、その曲だけ録音する(CD→MD)"、

または"1曲目だけ集めたMD、テープを作る(CD→MD1枚)"、

または"1枚または、複数枚のCDを録音する(CD→MD)"の手順を行う

— 54 —

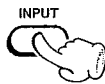
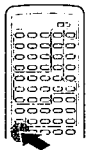
— 55 —

— 57 —

— 58 —

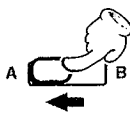
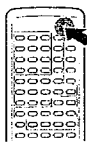
3 何を裏録音するか選ぶ

INPUTキーを押して、選ぶ



AUX、TAPE、放送のいずれかを選ぶ

- カセットデッキ(別売)から録音する場合は、付属の取扱説明書をお読みください。
- REC INPUT、PLAY / REC MODEキーを押しても、操作できません。また、リレ録音モードは解除されます。

4 ディスクAを選ぶ

- サイバタイトラー(別売)との読み出し、書き込みも同様に切り換えます。

5 曲番号の付け方を選ぶ

AUTO / MANUAL キーを押す

AUTO/MANU.

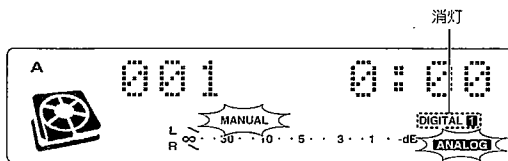


通常はAUTO("MANUAL"表示消灯)にして
おきます。
"AUTO/MANU.キーの使いかた"→[40]

押すたびに切り換わります。



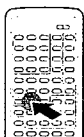
- ① "MANUAL"消灯：AUTOモード
- ② "MANUAL"点灯：MANUALモード



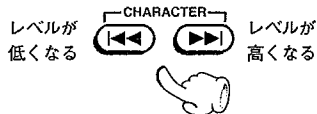
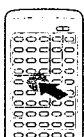
AUTO時消灯、MANUAL時点灯

6 録音レベルの調節をする (アナログ録音のみ)

- ① 録音するソースを再生する
- ② 録音(●)キーを押して、録音一時停止にする



- ③ 録音レベルを調節する



- -∞dB～0dB (81ステップ)の範囲で調節できます。
- レベルメーターの赤い部分が点灯したときは、レベルを下げて下さい。

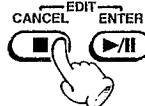
7 録音をはじめ

- ① 録音(●)キーを押して、録音をはじめ
- ② 録音するソースを再生する

●録音中はイジェクト(▲)キーは受け付けません。

裏録音を途中でやめるには

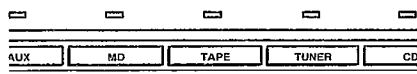
ディスクA側の停止(■)キーを押す



ワンタッチエディット

O.T.E.録音中にCD以外のソースを聴くには

- ① O.T.E.録音をはじめ → [54] ~ [58]
- ② 入力切換で聴きたいソース(CD、MD以外)を選ぶ



選ばれた入力のインジケーターが点灯します

- SOURCE DIRECT中は、CD以外のソースを聴くことはできませんので、SOURCE DIRECTをオフしてからやり直して下さい。

"よりビュアな音を楽しむ"→[23]

テープの長さに応じて曲順を入れ替える (CD→TAPE のみ)

(タイム編集録音)

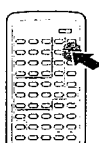
テープの録音時間を指定すると、テープの折り返しや終端で曲が途切れないように、自動的に曲順を入れ換えて録音します。カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。

文字表示部はスペクトラム・アナライザー表示のときには見ることが出来ません。2重表示モード、または文字表示モードにしてください。
→ [15], → [93]

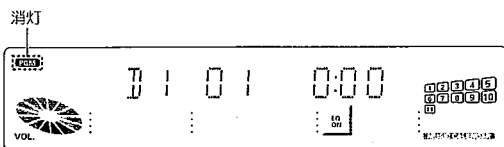
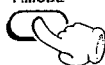
録音の準備が必要です

→ [54]

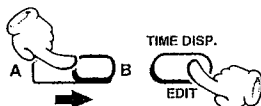
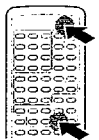
1 プログラム "PGM"表示を消灯させる



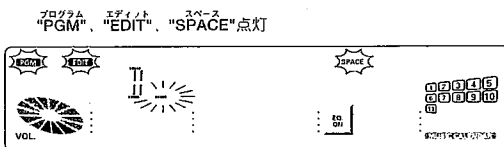
- ① 入力切替キーで"CD"を選ぶ
- ② P.MODEキーを押して、"PGM"表示を消灯させる



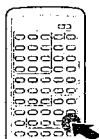
2 エディット "EDIT"表示を点灯させる



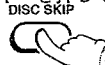
8秒以上放置すると、編集は中止されます。



3 ディスクとテープの設定をする

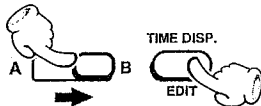


- ① DISC SKIPキーを押して、ディスクを選ぶ



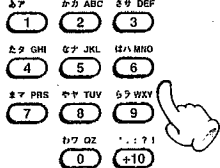
8秒以内に手順②へ

- ② TIME DISP./EDITキーを押す



8秒以内に手順③へ

- ③ 数字キーでテープの録音時間を指定する

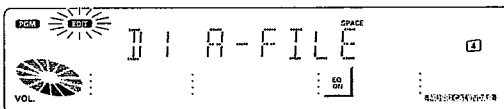


数字キーを押す順序は:

30分テープ (C-30) なら... [+10] [+10] [+10] [0]
46分テープ (C-46) なら... [+10] [+10] [+10] [+10] [6]

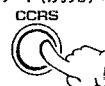
リモコンのA/BスイッチをAに設定してから、TIME DISP./EDITキー(CD)を繰り返し押しすると、46、54、60、90分テープを簡単に選べます。選んだあとは、A/BスイッチをBに戻し、TIME DISP./EDITキーを押してから手順④へ移ります。

- 録音時間は最大99分です。
- 32曲まで編集録音できます。
- A面、B面の自動編集が行われます。編集が終了すると、"EDIT"の表示が点滅から点灯に変わります。



4 編集録音をスタートする

カセットデッキ(別売)のCCRSキーを押す



"EDIT"表示が点滅から点灯に変わってから押す

- 約60秒間で (CDの内容によって差があります) 録音レベルの調整が行われたのち、録音が始まります。
- 録音が終了すると、自動的に停止します。



CDの内容(曲数や曲の長さ)とテープの録音時間など、条件の組み合わせにより、曲順を入れ換えても音の途切れが避けられない場合、その曲は録音されません。

応用編

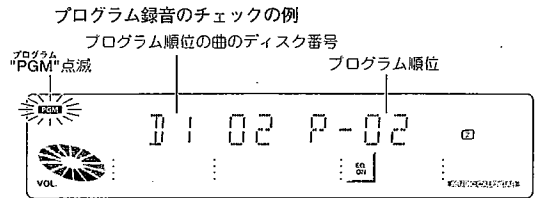
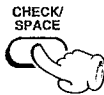
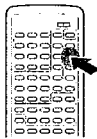
編集した内容を確認める、または取り消す

- "1枚または、複数枚のCDを録音する(CD→MD)" - [58]
 - "1枚または、複数枚のCDを録音する(CD→TAPE)" - [59]
 - "テープの長さに応じて曲順を入れ替える(CD→TAPEのみ)" - [62]
- を行なったとき記憶された曲順を確認したり、1曲ずつ取り消したりすることができます。
- カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。

(プログラム録音、タイム編集録音)

編集した内容を確認める (プログラム録音、タイム編集)

CHECK / SPACEキーを押す

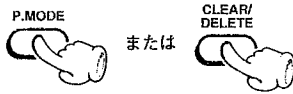
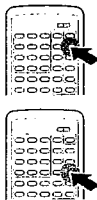


- プログラム録音の場合：押すたびにプログラムされた曲を順に表示していきます。
- タイム編集録音の場合："EDIT"表示が点滅し、編集された曲を順にミュージックカレンダー表示に表示します。

編集した内容を取り消す (プログラム録音、タイム編集)

方法1

P.MODEキー、またはCLEAR / DELETEキーを押す

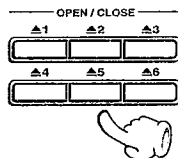
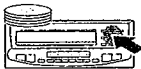


停止中に押す

- プログラム録音のときは、P.MODEキーを押すと、編集内容の全てが消えます。CLEAR / DELETEキーを押すと、最後の曲から順に消えていきます。
- タイム編集のときは、P.MODEキー、CLEAR / DELETEキーのどちらを押しても、編集内容の全てが消えます。

方法2

OPEN / CLOSEキーを押す



- プログラム録音のときは、ディスクトレイを開いた場合も、編集内容の全てが消えます。
- タイム編集のときは、編集したディスクを取り出した場合に限って、編集内容の全てが消えます。

オートスペース機能について

カセットデッキ(別売)を再生するときに便利な機能です。CDのタイム編集録音時に曲間に数秒間の無録音部分が作られます。この状態でカセットデッキに録音すれば、DPSS機能(無録音部分を探す)を使って、テープの頭出しが確実に行なえます。

- 録音時に"SPACE"インジケーターが点灯します。
- 前曲と次曲の演奏が繋がっている場合(クラシックやライブ収録など)、別々の曲番号がついていれば無録音部分が作られます。

テープの折り返しでフェードアウト/フェードインする (CD→TAPEのみ)

テープの折り返しにかかった曲をフェードアウトし、うら面は、その曲の途中からフェードインします。テープ終端にかかった曲は、フェードアウトされます。

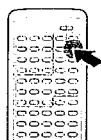
(フェード編集録音)

カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。

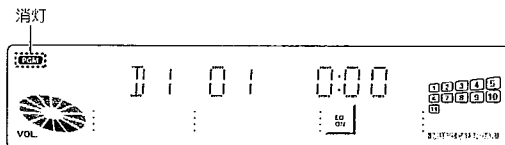
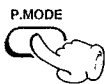
録音の準備が必要です

-54

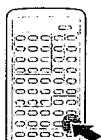
1 プログラム "PGM"表示を消灯させる



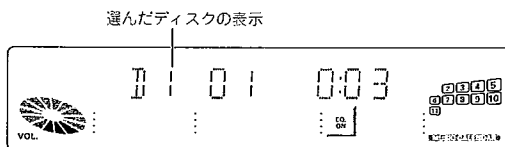
プレイモード
P.MODEキーを押す



2 ディスクを選ぶ



ディスクスキップ
DISC SKIPキーを押して、ディスクを選ぶ



3 編集録音をスタートする



カセットデッキ(別売)のCCRSキーを押す



- 約60秒で (CDの内容によって差があります) 録音レベルの調整が行なわれた後、録音が始まります。
- CDの曲順で録音されます。
- 録音が終了すると、自動的に停止します。

応用編



1. CDプレーヤーの再生中にCCRSキーを押すと、再生は中止され、CCRS設定(編集録音準備)が始まります。
2. クラシックなど、1曲が長くてテープ片面に収まらない場合は、編集録音はできません。
3. デッキが片面録音(二)にセットされている場合、テープ折り返し部の処理は、おもて面だけになります。
4. テープ終端にかかった曲がフェードアウトされる時、前曲との曲間が短いと、前曲の最後も一部消去されることがあります。

編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。再生専用の一般市販ソフトのミニディスクは編集できません。

編集をするときは、ミニディスクの誤消去防止つまみを"録音可能"側にしてください。 --[107]

MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、確認くださいますようお願いいたします。 --[111]

MDの編集を行なう場合は、AUTO POWER SAVE機能をオフにしてください。 --[23]

ミニディスクの編集中は、CT-H90(サイバータイタラー；別売)からの記録はできません。

ミニディスクや曲にタイトルをつける --[66]

JISコード表を使って、タイトルをつける --[66]

タイトルを変更、消去する --[70]

タイトルをエリア別に消去する --[72]

FM文字多重放送の文字情報をミニディスクに記録する --[74]

英数字に加えて漢字、カナなどの入力も可能です。ディスプレイに表示される文字の中から順に選んでいくだけの簡単な操作でタイトルを入力できます。

(一部のMDレコーダーで、録音、編集、タイトル編集をすると、漢字などのタイトルがミニディスクから消えることがあります。本機でタイトル入力したミニディスクは本機を使ってタイトル編集をすることをおすすめします。)

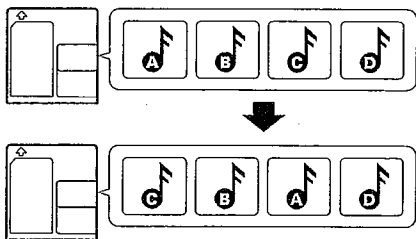
また、FM文字多重放送受信時に記憶した、放送中の曲のタイトル、アーティスト名などの文字情報を後からミニディスクへ記録することもできます。

FM放送録音時に大変便利な機能です。

曲順の入れ替え

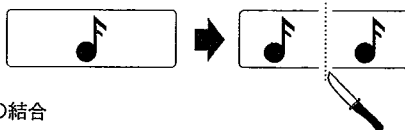
曲順をまとめて入れ替える (QUICK MOVE) --[76]

曲順を1曲ずつ入れ替える (TRACK MOVE) --[78]



曲の分割と結合

曲の分割 曲を分ける (TRACK DIVIDE) --[80]

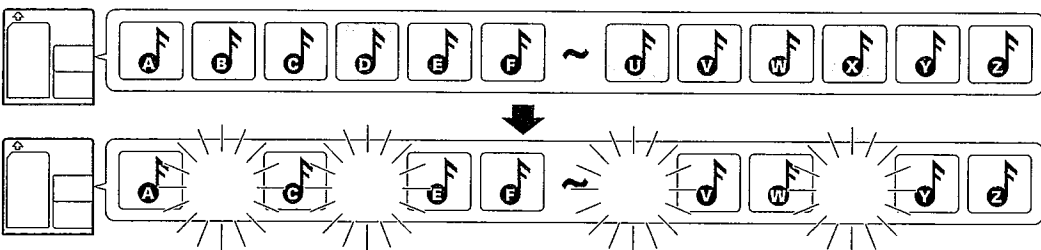


曲の結合 曲をつなぐ (TRACK COMBINE) --[82]

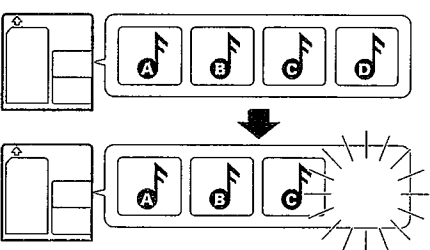


曲の消去

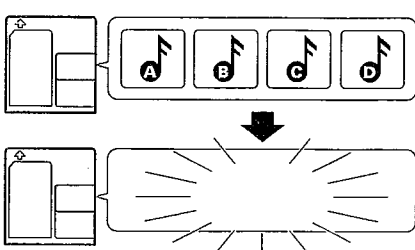
曲をまとめて消す (QUICK ERASE) --[84]



1曲消す (TRACK ERASE) --[86]



全曲消す (ALL ERASE) --[87]



ミニディスクや曲にタイトルをつける

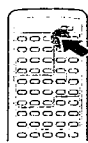
ミニディスクや曲にタイトルをつけておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。本機では英数字に加えてカナ、漢字などの入力も可能です。

説明文中のカッコ内のキー名称は本体キーのものです。

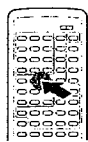
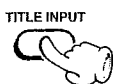
ディスクや曲をタイトルで選ぶ場合、表示されるタイトルはタイトル先頭から12文字のみです。

停止、または再生中に操作してください

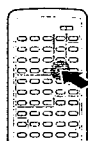
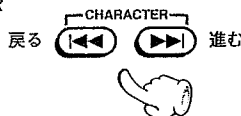
1 タイトル入力状態にする



- ① ^{タイトル} ^{インプット} TITLE INPUTキーを押す



- ② ^{キャラクター} CHARACTER ^{マルチ} ^{ジョグ} \leftarrow \rightarrow (MULTI JOG)キーで"タイトルインプット"を選ぶ



- ③ ^{エンター} ENTERキーを押して、確定する



途中で中止するときは、もう一度^{タイトル} ^{インプット} TITLE INPUTキーを押します。

- ミニディスクのデータ読みだし・書き込み表示の点滅中は、タイトル入力できません。"表示部(MDレコーダー部)"→**[19]**
- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。

"タイトルインプット"を選ぶ

MDタイトルインプット	モードセレクト
タイトルインプット	
エリアイレース	

2 "ユーザー入力"を選ぶ

- ① ^{キャラクター} CHARACTER ^{マルチ} ^{ジョグ} \leftarrow \rightarrow (MULTI JOG)キーで"ユーザー入力"を選ぶ

- ② ^{エンター} ENTERキーを押して、確定する

"ユーザー入力"を選んでいる場合

MDタイトルインプット	モードセレクト
ユーザー入力	
FM多重データ入力	

3 "ディスクA"または"ディスクB"を選ぶ

- ① ^{キャラクター} CHARACTER ^{マルチ} ^{ジョグ} \leftarrow \rightarrow (MULTI JOG)キーで"ディスクA"または"ディスクB"を選ぶ

- ② ^{エンター} ENTERキーを押して、確定する

"ディスクA"を選んでいる場合

MDタイトルインプット	ディスクセレクト
ディスク A	* NO TITLE *
ディスク B	* NO TITLE *

4 "カナエリア"または"漢字エリア"を選ぶ

- ① ^{キャラクター} CHARACTER ^{マルチ} ^{ジョグ} \leftarrow \rightarrow (MULTI JOG)キーで"カナエリア"または"漢字エリア"を選ぶ

- ② ^{エンター} ENTERキーを押して、確定する



ミニディスクや曲にタイトルをつける際、漢字を使ってタイトルをつけたい場合は"漢字エリア"を選びます。それ以外の場合は"カナエリア"を選びます。

MDタイトルインプット	エリアセレクト
カナ エリア	
漢字 エリア	

"漢字エリア"を選んでいる場合

5 ディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)を選ぶ

① CHARACTER (MODE / CHARA.) キーでディスクまたはトラック番号を選ぶ

② ENTER キーを押して、確定する

ディスクタイトル(ミニディスク名)を選んでいる場合

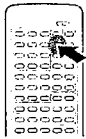
MDタイトルインプット

ディスク *NO TITLE*

001 *NO TITLE*

6 入力する文字のグループを選ぶ

CHARACTER (MODE / CHARA.) キーを押して、入力する文字グループを選ぶ



漢字でタイトルをつけたい場合は"ひらがな"を選びます

CHARACTER (MODE / CHARA.) キーを押すたびに切り換わります。

"漢字エリア"を選んだ場合

- ① ひらがな(漢字)
- ② カタカナ
- ③ アルファベット: 大文字
- ④ アルファベット: 小文字
- ⑤ キゴウ: 各種記号
- ⑥ JISコード: JISコード入力用

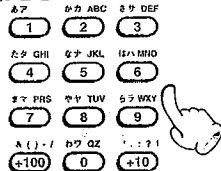
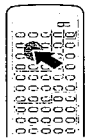
"カナエリア"を選んだ場合

- ① アルファベット: 大文字
- ② アルファベット: 小文字
- ③ キゴウ: 各種記号
- ④ カタカナ



7 タイトルを入力する

① 数字キーで目的の文字を選択カーソルに合わせる

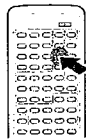


漢字でタイトルをつけたいとき

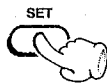
(1) 漢字変換(SRS)キーを押して漢字に変換する



(2) MULTI JOG (CHARACTER (MODE / CHARA.) キー) で目的の漢字を選択カーソルに合わせる



② SET キーを押して、確定する



漢字でタイトルをつける際、入力したい漢字の音読みの最初の音をひらがなで選びます。(例)安静 安;あ 静;せ

数字キーを使って、目的の文字に選択カーソルを合わせる例

"か ABC" キーを押すたびに切り換わります

"ひらがな"を選んだ場合

- ① "か"
- ② "き"
- ③ "く"
- ④ "け"
- ⑤ "こ"

"アルファベット(大文字)"を選んだ場合

- ① "A"
- ② "B"
- ③ "C"

選ばれている文字

MDタイトルインプット

ひらがな

ぼばびふぺぼ あいうえおかきく

選ばれている漢字

MDタイトルインプット

カンジ

庵按暗案闇鞍杏 啞哇阿哀愛挨始

- 目的の文字を選ぶには、本体のMULTI JOGを使っても選ぶことができます。
- 入力カーソルは、CURSOR / CHECK L (◀), R (▶) (CURSOR L, R) キーで移動できます。
- 途中で文字グループをかえたい場合は、CHARACTER (MODE / CHARA.) キーを押します。

応用編

手順①～④を繰り返して、タイトルを入力します。

8 タイトル入力を実行する

① ENTER キーを押して、タイトルを書き込む

② TITLE INPUT キーを押して、終了する



手順④の前に続けて手順②～④と⑧の①を繰り返せば、そのミニディスクのすべてのタイトル(ミニディスク名と曲名)をつけることができます。

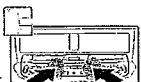
亜細亜の愛

入力されたタイトル

タイトルがスクロールします

9 編集終了後、ミニディスクを取り出す

イジェクト(▲)キーを押す



ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

JISコード表を使って、タイトルをつける

カナ、漢字をタイトル入力する場合、「JISコード表」を使うと4桁のコード番号を入力するだけで目的の文字を呼び出すことができます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

"JISコード表"

- [99]

説明文中のカッコ内のキー名称は本体キーのものです。

ディスクや曲をタイトルで選ぶ場合、表示されるタイトルはタイトル先頭から12文字のみです。

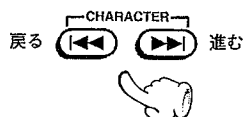
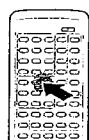
停止、または再生中に操作してください

1 "ミニディスクや曲にタイトルをつける"の、手順 1 ~ 3 を行う

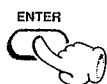
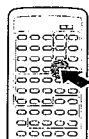
- [66]

2 "漢字エリア"を選ぶ

- ① CHARACTER (MULTI JOG) キーで"漢字エリア"を選ぶ



- ② ENTER キーを押して、確定する



ミニディスクや曲にタイトルをつける際、漢字を使ってタイトルをつけたい場合は"漢字エリア"を選びます。それ以外の場合は"カナエリア"を選びます。

MDタイトルインプット エリアセレクト

カナ エリア
漢字 エリア

"漢字エリア"を選んでいる場合

3 ディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)を選ぶ

- ① CHARACTER (MULTI JOG) キーでディスクまたはトラック番号を選ぶ

- ② ENTER キーを押して、確定する

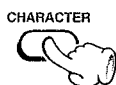
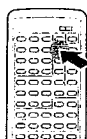
ディスクタイトル(ミニディスク名)を選んでいる場合

MDタイトルインプット

ディスク * NO TITLE *
001 * NO TITLE *

4 "JISコード"を選ぶ

CHARACTER (MODE / CHARA.) キーを押して、"JISコード"を選ぶ



CHARACTER (MODE / CHARA.) キーを押すたびに切り換わりします。

"漢字エリア"を選んだ場合

- ① ひらがな(漢字)
- ② カタカナ
- ③ アルファベット: 大文字
- ④ アルファベット: 小文字
- ⑤ キゴウ: 各種記号
- ⑥ JISコード: JISコード入力用

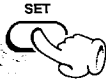
"カナエリア"を選んだ場合

- ① アルファベット: 大文字
- ② アルファベット: 小文字
- ③ キゴウ: 各種記号
- ④ カタカナ



5 JISコード表を使って、タイトルを入力する

- ① JISコード表から目的の文字の4桁のコード番号を見つける
- ② CHARACTER \leftarrow 、 \rightarrow (MULTI JOG) キーで目的のコード番号を選択カーソルに合わせる
- ③ SET キーを押して、数字を確定する



- ④ ②～③を繰り返して、4桁分のコード番号をすべて入力する
- ⑤ ENTER キーを押して、目的の文字を呼び出す
- ⑥ ENTER キーをもう一度押して、目的の文字を確定する

手順①～⑥を繰り返して、タイトルを入力します。



4桁のコード番号を使って、目的の文字を呼び出すことができます。詳しくは「JISコード表」を参照してください。

→ 99

選ばれているコード番号

MDタイトルインプット	JISコード
CDEF0123456789AB	[302*]
亜細亜の	

MDタイトルインプット	JISコード
F0123456789ABCDE	[***]
亜細亜の愛	

- 目的の文字を選ぶには、本体のMULTI JOGを使っても選ぶことができます。
- 入力カーソルは、CURSOR / CHECK L (\leftarrow)、R (\rightarrow) (CURSOR L、R) キーで移動できます。
- 途中で文字グループをかえたい場合は、CHARACTER (MODE / CHARA.) キーを押します。
- "JISコード表"にない番号を選んだときは、手順④で"●"と表示されます。
- 数字の0～9を選ぶ場合は、リモコンの0～9キーで、SET キーを押さずに選ぶことができます。

6 タイトル入力を実行する

- ① ENTER キーを押して、タイトルを書き込む
- ② TITLE INPUT キーを押して、終了する



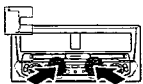
手順②の前に続けて手順④～⑥と⑦の①を繰り返せば、そのミニディスクのすべてのタイトル(ミニディスク名と曲名)をつけることができます。

MDタイトルインプット
ディスク書き込み終了しました!
亜細亜の愛

入力されたタイトル

タイトルがスクロールします

7 編集終了後、ミニディスクを取り出す



イジェクト(▲)キーを押す



ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。



タイトルを変更、消去する

ミニディスクや曲にタイトルをつけてあるとき、入力したタイトルは、以下のような手順で変更や消去ができます。本機では英数字に加えてカナ、漢字などの変更や消去も可能です。

説明文中のカッコ内のキー名称は本体キーのものです。

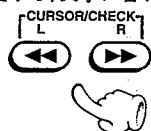
ディスクや曲をタイトルで選ぶ場合、表示されるタイトルはタイトル先頭から12文字のみです。

-166

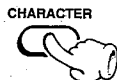
1 "ミニディスクや曲にタイトルをつける"の、手順 1~5 を行う

2 1文字ずつ変更または消去していく

- ① CURSOR / CHECK L (◀◀), R (▶▶) (CURSOR L, R) キーでカーソルを目的の(変更する)文字に合わせる

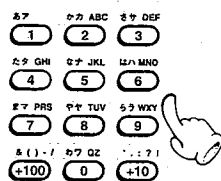


- ② CHARACTER (MODE / CHARA.) キーを押して、文字グループを選ぶ



漢字でタイトルをつけたい場合は"ひらがな"を選びます。

- ③ 数字キーで目的の文字を選択カーソルに合わせる



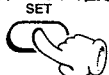
漢字でタイトルをつけたいとき

- (1) 漢字変換 (SRS) キーを押して漢字に変換する



- (2) CHARACTER ◀◀, ▶▶ (MULTI JOG) キーで目的の漢字を選択カーソルに合わせる

- ④ SET キーを押して、確定する



手順 1~2 の繰り返しで、タイトルのすべての文字を変更できます。

MDタイトルインプット

ひらがな

ぼばびぶべぼ あいうえおかきく
亜細亜の愛

選択カーソル
変更する文字のカーソル

CHARACTER (MODE / CHARA.) キーを押すたびに切り換わります。

"漢字エリア"を選んだ場合

- ① ひらがな(漢字)
- ② カタカナ
- ③ アルファベット: 大文字
- ④ アルファベット: 小文字
- ⑤ キゴウ: 各種記号
- ⑥ JISコード: JISコード入力用

"カナエリア"を選んだ場合

- ① アルファベット: 大文字
- ② アルファベット: 小文字
- ③ キゴウ: 各種記号
- ④ カタカナ



漢字でタイトルをつける際、入力したい漢字の音読みの最初の音をひらがなで選びます。(例)安静 安; あ 静; せ

数字キーを使って、目的の文字に選択カーソルを合わせる例
"かか ABC"キーを押すたびに切り換わります

"ひらがな"を選んだ場合

- ① "か"
- ② "き"
- ③ "く"
- ④ "け"
- ⑤ "こ"

"アルファベット(大文字)"を選んだ場合

- ① "A"
- ② "B"
- ③ "C"

- 目的の文字を選ぶには、本体のMULTI JOGを使っても選ぶことができます。
- 変更するタイトルが長く、表示部に入らない場合、CURSOR / CHECK (▶▶) (AUTO / CURSOR R) キーを押すと表示がスクロールし、それまで表示されていなかった部分が現われます。
- CHARACTER ◀◀, ▶▶ (MULTI JOG) キーを回すと表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。

MDタイトルインプット

ひらがな

ぼばびぶべぼ あいうえおかきく
亜細亜の愛

変更後の文字

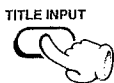
3 タイトルの変更、消去を実行する



- ① ^{ENTER}キーを押して、タイトルを書き込む



- ② ^{TITLE INPUT}キーを押して、終了する



MDタイトルインプット

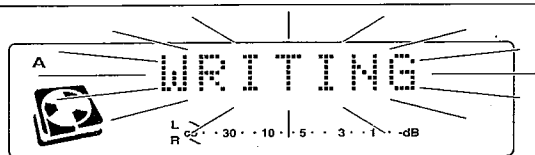
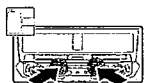
ディスク書き込み終了しました！
亜細亜の愛

変更されたタイトル

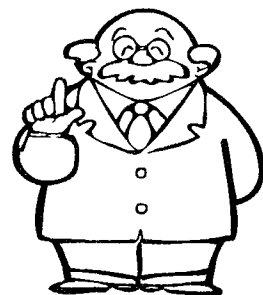
タイトルがスクロールします

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

イジェクト(▲)キーを押す



ミニディスク取り出しの際の^{ライティング}"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。



入力できる文字数について

ミニディスク全体で"カナ"エリアは最大1792文字、"漢字"エリアは最大896文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(文字の種類によっては最大の文字数まで入力できない場合があります。)

スペース(1文字ぶん空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(^{クリア}CLEAR/^{デリート}DELETE(DELETE) キー)をご利用ください。

キー機能について

^{キャラクター}CHARACTER(MODE/CHARA.) キー:

文字選択部に表示される文字のグループが切り換わります。

^{クリア}CLEAR/^{デリート}DELETE(DELETE) キー:

カーソルを合わせた文字が消去(削除)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん前に詰められます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力すると)、簡単にタイトルを消去できます。

^{チェック}CHECK/^{スペース}SPACE(SPACE) キー:

カーソルを合わせた文字の直前にスペース(1文字ぶん空白)が入力(挿入)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん後ろに送られます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力すること)もできます。主にタイトルに文字を追加するとき、追加する場所を先に作っておくために使います。

タイトルをエリア別に消去する (TITLE AREA ERASE)

"漢字"エリア、"カナ"エリアをエリア別に消去することができます。

"本機で入力できる文字について("カナ"エリアと"漢字"エリアの違い)"

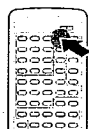
- [73]

説明文中のカッコ内のキー名称は本体キーのものです。

ディスクや曲をタイトルで選ぶ場合、表示されるタイトルはタイトル先頭から12文字のみです。

停止、または再生中に操作してください

1 "エリアイレース"を選ぶ



① ^{タイトル} ^{インプット} TITLE INPUTキーを押す

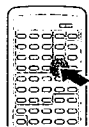
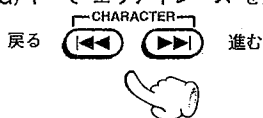


途中で中止するときは、もう一度^{タイトル} ^{インプット} TITLE INPUTキーを押します。

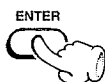
- ミニディスクのデータ読みだし・書き込み表示の点滅中は、エリア消去できません。"表示部(MDレコーダー部)" → [19]
- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。



② ^{キャラクター} CHARACTER ^{マルチ} JOGキーで"エリアイレース"を選ぶ



③ ^{エンター} ENTERキーを押して、確定する



MDタイトルインプット モードセレクト

タイトルインプット
エリアイレース

"エリアイレース"を選ぶ

2 "ディスクA"または"ディスクB"を選ぶ

① ^{キャラクター} CHARACTER ^{マルチ} JOGキーで"ディスクA"または"ディスクB"を選ぶ

② ^{エンター} ENTERキーを押して、確定する

"ディスクA"を選んでいる場合

MDタイトルインプット ディスクセレクト

ディスクA 竹兄弟
ディスクB 梅兄弟

3 "カナエリア"または"漢字エリア"を選ぶ

① ^{キャラクター} CHARACTER ^{マルチ} JOGキーで"カナエリア"または"漢字エリア"を選ぶ

② ^{エンター} ENTERキーを押して、確定する

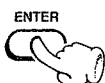
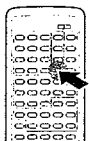
MDタイトルインプット エリアセレクト

カナ エリア
漢字 エリア

"漢字エリア"を選んでいる場合

4 タイトルの消去を確認する

^{エンター} ENTERキーを押す

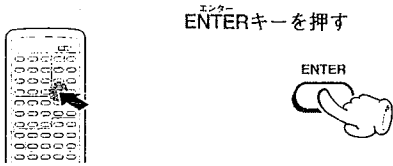


手順④で"漢字エリア"を選んだ場合の例

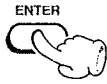
MDタイトルインプット

ディスクAの漢字エリアを
消去してもいいですか？

5 タイトルの消去を実行する



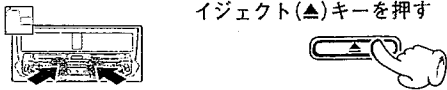
ENTERキーを押す



MDタイトルインプット

消去しました！

6 編集終了後、ミニディスクを取り出す



イジェクト(▲)キーを押す



ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

本機で入力できる文字について("カナ"エリアと"漢字"エリアの違い)

本機で入力できる文字は次のとおりです。

"カナ"エリア；
カタカナ、数字、アルファベット、記号

"漢字"エリア；
ひらがな、漢字、カタカナ、数字、アルファベット、記号

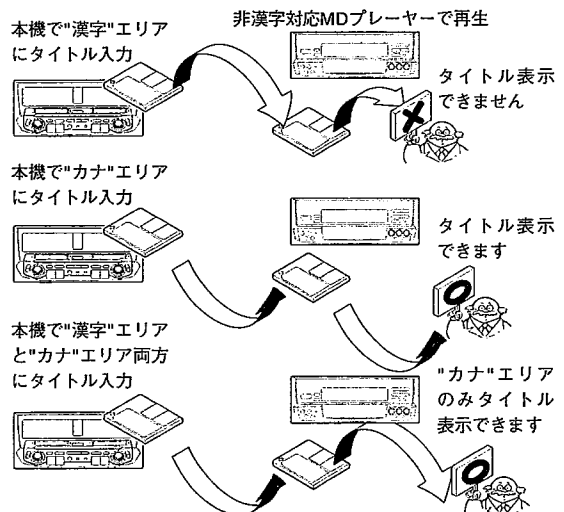
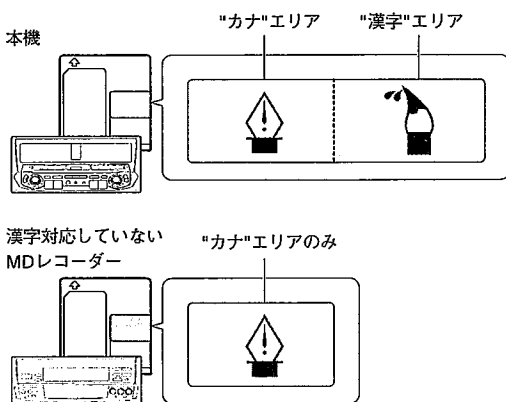
入力した文字を表示するには

"MDのタイトルのタイプを切り換える"

→ 31

従来のMDレコーダーの漢字に対応していなかったものは"カナ"エリアのみしか使えません。

したがって、従来の(漢字対応以外)MDレコーダーでタイトルをつけたミニディスクを本機で再生すると、上記の"カナ"エリアのみ表示します。また、逆に本機で"漢字"エリアのみタイトルをつけたミニディスクを本機以外(漢字対応以外)のMDレコーダー(またはプレーヤー)で再生しても、タイトルを表示しません。この場合は"カナ"エリアにもタイトルをつけてください。本機のみで録音・再生する場合は、"漢字"エリアのみにタイトルをつけても問題はありませぬ。



FM文字多重放送の文字情報をミニディスクに記録する

一時的に記憶したFM文字多重放送の番組情報(放送中の曲の曲名、アーティスト名)などをミニディスクに曲のタイトルとしてつけることができます。FM文字多重放送の文字情報を曲のタイトルとして使いたいときなどに大変便利です。(漢字エリアのみ)
"FM文字多重放送の文字情報を記憶する" → [37]

説明文中のカッコ内のキー名称は本体キーのものです。

ディスクや曲をタイトルで選ぶ場合、表示されるタイトルはタイトル先頭から12文字のみです。

停止、または再生中に操作してください

1 "FM文字多重放送の文字情報を記憶する"の手順を行う

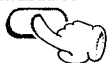
→ [37]

2 タイトル入力状態にする



① ^{タイトル} ^{入力} ^{キー}を押す

TITLE INPUT



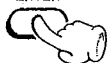
② ^{キャラクター} ^{キー} [←] [→] (^{マルチ} ^{JOG}) ^{キー}で"タイトルインプット"を選ぶ

戻る [←] CHARACTER [→] 進む



③ ^{エンター} ^{キー}を押して、確定する

ENTER



途中で中止するときは、もう一度^{タイトル} ^{入力} ^{キー}を押します。

- ミニディスクのデータ読みだし・書き込み表示の点滅中は、タイトル入力できません。"表示部(MDレコーダー部)" → [19]
- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。

"タイトルインプット"を選ぶ

MDタイトルインプット モードセレクト

タイトルインプット
エリアイレース

3 "FM多重データ入力"を選ぶ

① ^{キャラクター} ^{キー} [←] [→] (^{マルチ} ^{JOG}) ^{キー}で"FM多重データ入力"を選ぶ

② ^{エンター} ^{キー}を押して、確定する

MDタイトルインプット モードセレクト

ユーザー入力
FM多重データ入力

"FM多重データ入力"を選んでいる場合

4 "ディスクA"または"ディスクB"を選ぶ

① ^{キャラクター} ^{キー} [←] [→] (^{マルチ} ^{JOG}) ^{キー}で"ディスクA"または"ディスクB"を選ぶ

② ^{エンター} ^{キー}を押して、確定する

"ディスクA"を選んでいる場合

MDタイトルインプット ディスクセレクト

ディスクA *NO TITLE*
ディスクB *NO TITLE*

5 ディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)を選ぶ

① ^{キャラクター} ^{キー} [←] [→] (^{マルチ} ^{JOG}) ^{キー}でディスクまたはトラック番号を選ぶ

② ^{エンター} ^{キー}を押して、確定する

ディスクタイトル(ミニディスク名)を選んでいる場合

MDタイトルインプット

ディスク *NO TITLE*
001 *NO TITLE*

6 記憶させた中から文字情報を選ぶ

- ① CHARACTER \leftarrow 、 \rightarrow (MULTI JOG) キーで1~20の中から文字情報を選ぶ
- ② ENTERキーを押して、確定する

MDタイトルインプット FMタジュウデータ

1 「筑前の竹」 竹兄弟
 2 「梅!梅!」 梅兄弟

2の文字情報を選んでいる場合

7 "タイトルを変更、消去する"の手順 2 を参考に編集する

-10

8 タイトル入力を実行する

- ① ENTERキーを押して、タイトルを書き込む
- ② TITLE INPUTキーを押して、終了する



手順②の前に続けて手順⑤~⑦と⑧の①を繰り返せば、そのミニディスクのすべてのタイトル(ミニディスク名と曲名)をつけることができます。

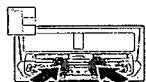
MDタイトルインプット

ディスク書き込み終了しました!
 「梅!梅!」 梅兄弟

入力されたタイトル

タイトルがスクロールします

9 編集終了後、ミニディスクを取り出す



イジェクト(▲)キーを押す



ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。



曲順をまとめて入れ替える (QUICK MOVE)

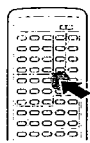
並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ替えます。

1回の処理で入れ替えられるのは、32曲までです。

説明文中のカッコ内のキー名称は本体キーのものです。

停止中に操作してください、リモコンのA/Bスイッチで操作したいディスク(AまたはB)を選んでください。

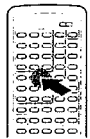
1 クイック ムーブ Q.MOVEを選ぶ



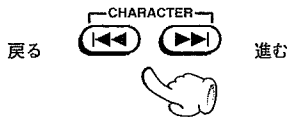
- ① EDIT (MD EDIT) キーを押す



途中で中止するときは、もう一度EDIT CANCEL(停止) (■) キーを押します。

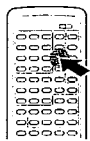


- ② CHARACTER (ジョグダイヤル) キーで"Q.MOVE"を選ぶ

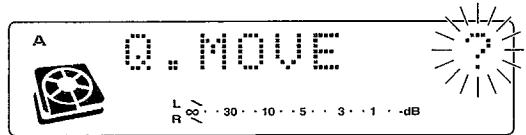
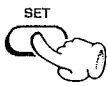


押すたびに切り換わります。

- ① Q.MOVE? (曲順をまとめて入れ替える)
② Q.ERASE? (曲をまとめて消す)



- ③ SET キーを押して、確定する



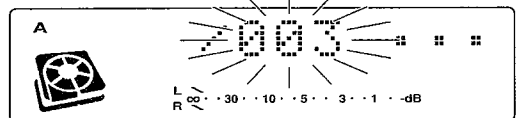
●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

2 移動したい曲を好きな順に選ぶ

- ① CHARACTER (ジョグダイヤル) キーで入れ替えたい曲(トラック番号)を選ぶ

- ② SET キーを押して、確定する

手順①～②の繰り返しで、入れ替えたい順に曲を選ぶ。



●選んだ曲順の確認や、選んだ曲の取消しには、CURSOR / CHECK (←, →) キーとTIME DISP. / CLEARキーを使います。詳しくは、「選んだ曲の確認、または取消しをするには」を参照してください。

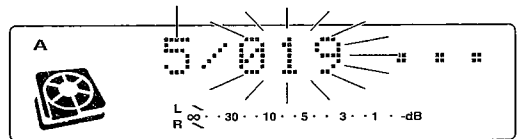
3 移動したい曲を確定する



- EDIT ENTER (再生・一時停止) (▶/||) キーを押して、確定する



選ばれている曲(トラック)数

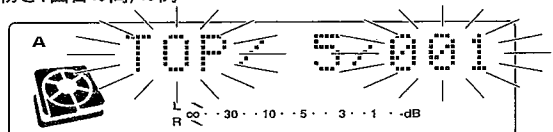


4 選んだ曲の移動先を選ぶ

- ① CHARACTER (ジョグダイヤル) キーでどの曲(トラック番号)の間に移動するかを選ぶ

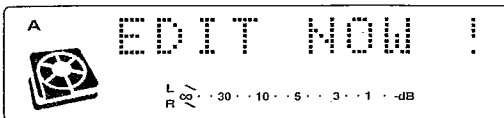
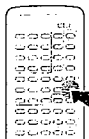
- ② SET キーを押して、確定する

選んだ曲をミニディスクの冒頭に移動する場合(ミニディスクの最初と1曲目の間)の例



4 曲順の入れ替えを実行する

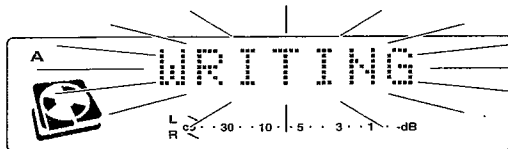
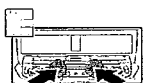
"MOVE?"と表示したら、EDIT ENTER (再生・一時停止) (▶/||) キーを押す。



- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 並べ替えの途中でEDIT CANCEL(停止) (■) キーを押した場合、選ばなかった曲は、移動範囲の最後に、そのままの曲順で移動します。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクトキー(▲)や、ON / STANDBY(I/O)キーを押すと、並べ替えが途中で中断されることがあります。

5 編集終了後、ミニディスクを取り出す

イジェクト(▲)キーを押す



ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

曲順をまとめて入れ替えるイメージ



18 6 3 19 4 移動したい曲を好きな順に選ぶ

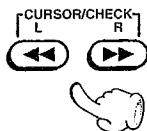
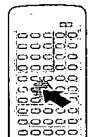
TOP 18 6 3 19 4 1 2 5 7 22 選んだ曲の移動先を選ぶ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 22 曲順の入れ替えを実行する (トラック番号が調整される)

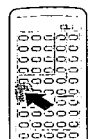


選んだ曲の確認、または取消しをするには

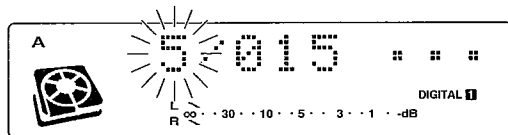
- ① CURSOR / CHECK (◀, ▶) キーを押して、確認する



- ② TIME DISP. / CLEAR キーを押して、後ろから順に取消す



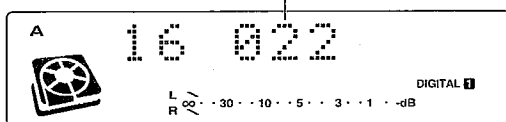
5番目にトラック番号15の曲が予約されている場合



- 押すたびに、トラック番号の若い順に選ばれている曲が表示されます。

16番目に選ばれているトラック番号22の曲を取消す場合

スクロールします



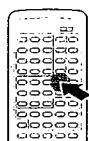
曲順を1曲ずつ入れ替える (TRACK MOVE)

再生中の曲を、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。
前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。
繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。

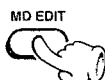
説明文中のカッコ内のキー名称は本体キーのものです。

再生中、または再生一時停止中に操作してください、リモコンのA/Bスイッチで操作したいディスク(AまたはB)を選んでください。

1 MOVEを選ぶ



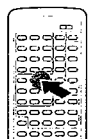
① MD EDIT (EDIT) キーを押す



再生一時停止になります



途中で中止するときは、もう一度EDIT CANCEL (停止) (■) キーを押します。

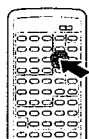


② CHARACTER (ジョグダイアル) キーで"MOVE"を選ぶ

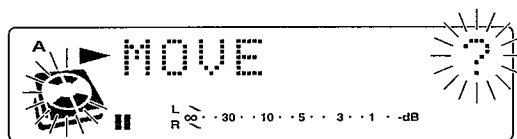
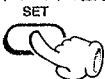


押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE? (曲を分ける)
- ② COMBINE? (曲をつなぐ)
- ③ ERASE? (曲を消す)
- ④ MOVE? (曲順を入れ替える)



③ SET キーを押して、確定する

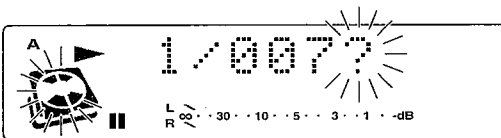


●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

2 移動する曲を確定する

SET キーを押して、確定する

手順①で7曲目の再生中(または再生一時停止中)にMD EDIT (EDIT) を押した場合の例

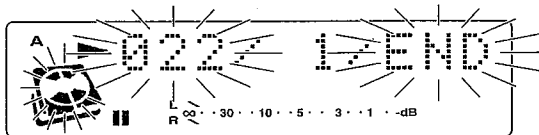


3 移動先を選ぶ

① CHARACTER (ジョグダイアル) キーでどの曲(トラック番号)の間に移動するかを選ぶ

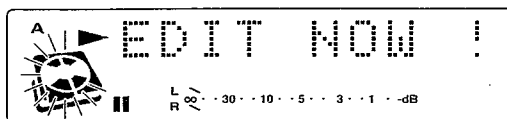
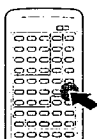
② SET キーを押して、確定する

選んだ曲をミニディスクの末尾に移動する場合(ミニディスクの最後と22曲目の間)の例



4 曲順の入れ替えを実行する

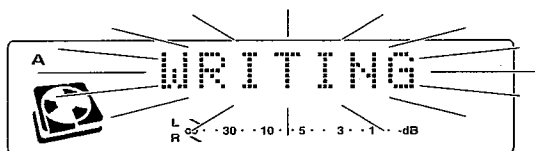
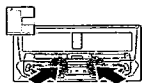
"MOVE ok?"と表示したら、EDIT ENTER(再生・一時停止)キーを押す



- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクトキー(▲)や、ON / STANDBY (I / O)キーを押すと、並べ替えが途中で中断されることがあります。

5 編集終了後、ミニディスクを取り出す

イジェクト(▲)キーを押す



ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

曲順を1曲ずつ入れ替えるイメージ



曲を分ける (TRACK DIVIDE)

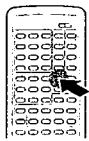
曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。

説明文中のカッコ内のキー名称は本体キーのもです。

再生中、または再生一時停止中に操作してください、リモコンのA/Bスイッチで操作したいディスク(AまたはB)を選んでください。

1 分割したい曲を再生する

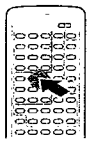
2 希望の所でMD EDIT (EDIT) キーを押す



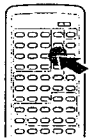
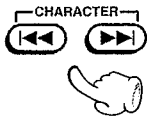
- ① MD EDIT (EDIT) キーを押す



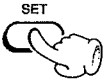
再生一時停止になります



- ② CHARACTER (ジョグダイヤル) キーで "DIVIDE" を選ぶ



- ③ SET キーを押して、確定する



- ④ もう一度 SET キーを押して、分割する曲を確定する

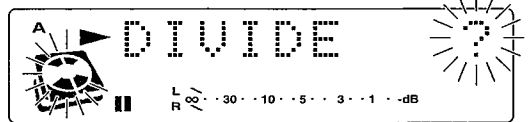


途中で中止するときには、もう一度 EDIT CANCEL (停止) キーを押します。

押すたびに切り換わります。

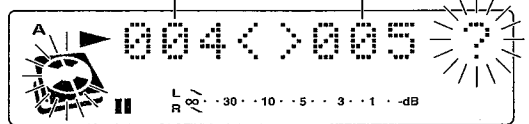
- ① DIVIDE? (曲を分ける)
- ② COMBINE? (曲をつなぐ)
- ③ ERASE? (曲を消す)
- ④ MOVE? (曲順を入れ替える)

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



再生一時停止中の曲のトラック番号

分割によってできる曲のトラック番号



分割の微調整をしないときは、手順②の後に EDIT ENTER (再生・一時停止) (ジョグダイヤル) キーを押してから手順③へ進みます。("DIVIDE ok?")と表示されます。)

3 分割したいところを微調整する (プレビュー機能)

- ① SET キーを押して、プレビュー再生する

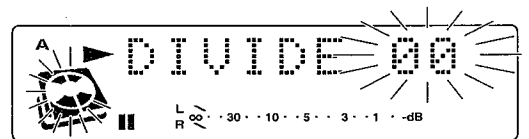
一時停止しているところから後の約3秒間を繰り返し再生します。

- ② CHARACTER (ジョグダイヤル) キーで分割したいところを微調整する

▶▶ キー： ステップ数が上がる
◀◀ キー： ステップ数が下がる

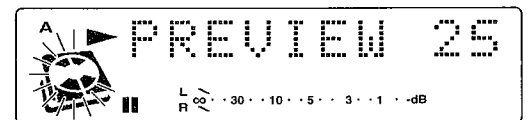
調整された場所を冒頭として、手順①で再生されていた部分の最後までを繰り返し再生します。

- ③ SET キーを押して、確定する

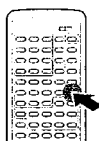


●音を聴きながら、微調整することができます。

●調整できる範囲は、手順②で MD EDIT (EDIT) キーを押して一時停止したところから、後に32ステップです。(1ステップは約6/100秒)



4 曲の分割を実行する



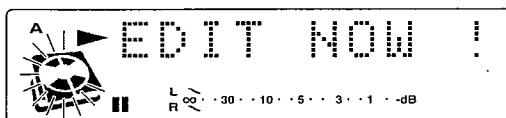
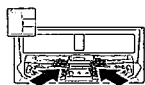
"^{ディスプレイ}DIVIDE ok?"と表示したら、^{ディスプレイ}EDIT ENTER (再生・一時停止) (▶/||) キーを押す



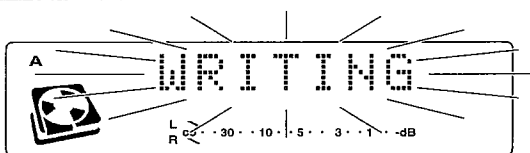
1~2を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

5 編集終了後、ミニディスクを取り出す

イジェクト(▲)キーを押す



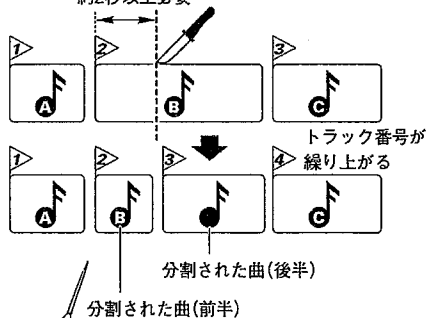
- 曲が2つに分けられます。
- 分けられた後半の曲から再生が始まります。
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクトキー(▲)や、^{オン}ON / ^{スタンバイ}STANDBY (I / O) キーを押すと、分割が途中で中断されることがあります。



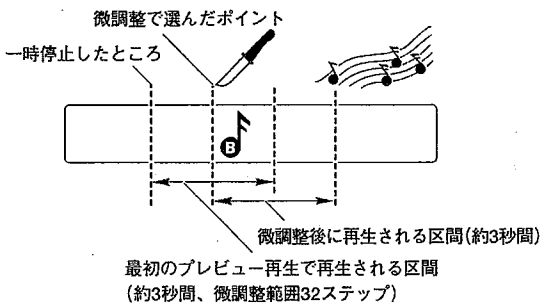
ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

曲を分割するイメージ

約2秒以上必要



プレビュー再生のイメージ



応用編

曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

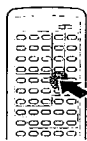
トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。コンバイン実行後は、トラック番号が自動的に減少する場合があります。

説明文中のカッコ内のキー名称は本体キーのものです。

再生中、または再生一時停止中に操作してください、リモコンのA/Bスイッチで操作したいディスク(AまたはB)を選んでください

1 つないだときに前半となる曲の再生中に、"COMBINE"を選ぶ

- ① MD EDIT (EDIT) キーを押す

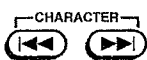


MD EDIT



再生一時停止になります

- ② CHARACTER (ジョグダイアル) キーで"COMBINE"を選ぶ



- ③ SET キーを押して、確定する



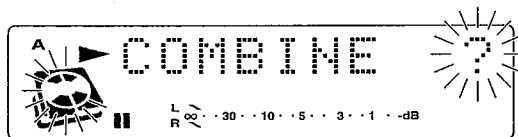
SET



途中で中止するときは、もう一度EDIT CANCEL (停止) キーを押します。

押すたびに切り換わります。(再生中、再生一時停止中)

- ① DIVIDE? (曲を分ける)
- ② COMBINE? (曲をつなぐ)
- ③ ERASE? (曲を消す)
- ④ MOVE? (曲順を入れ替える)



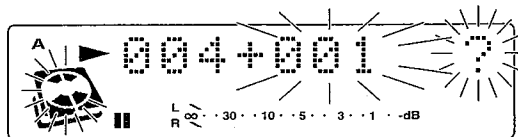
- 再生中に曲をつなぐ場合、目的の2曲のうち、前半となる曲の再生中にMD EDIT (EDIT) キーを押してください。
- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

2 つないだときに後半となる曲を選ぶ

- ① CHARACTER (ジョグダイアル) キーで曲(トラック番号)を選ぶ

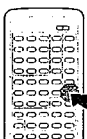
- ② SET キーを押して、確定する

4曲目と1曲目をつなぐ場合の例

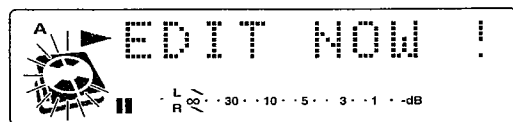


3 曲と曲の結合を実行する

"ok?"と表示したら、EDIT ENTER (再生・一時停止) キーを押す



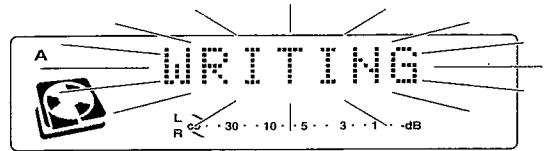
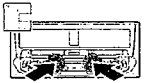
EDIT ENTER



- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクトキー(▲)や、ON / STANDBY (I / O) キーを押すと、結合が途中で中断されることがあります。

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

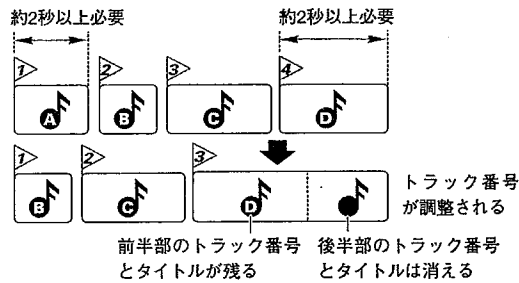
イジェクト(▲)キーを押す



ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐイメージ

4曲目と1曲目をつなぐ場合



曲をまとめて消す (QUICK ERASE)

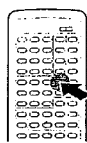
曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲を消去することができます。消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

1回の処理で消せるのは、32曲までです。

説明文中のカッコ内のキー名称は本体キーのものです。

停止中に操作してください、リモコンのA/Bスイッチで操作したいディスク(AまたはB)を選んでください

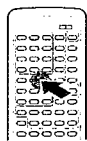
1 クイック イレース Q.ERASEを選ぶ



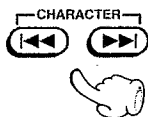
① MD EDIT (EDIT) キーを押す



途中で中止するときは、もう一度EDIT CANCEL (停止) (■) キーを押します。

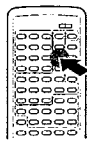


② CHARACTER (ジョグダイアル) キーで"Q.ERASE"を選ぶ

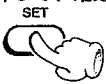


押すたびに切り換わります。

- ① Q.MOVE? (曲順を入れ替える)
- ② Q.ERASE? (曲をまとめて消す)

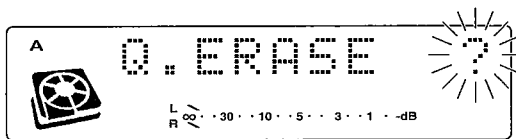


③ SET キーを押して、確定する



"-ALL"と表示されます

途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



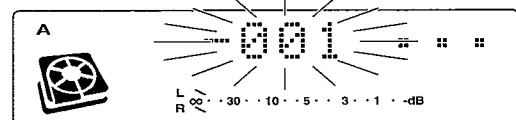
2 消したい曲を選ぶ



① CHARACTER (ジョグダイアル) キーで曲(トラック番号)を選ぶ

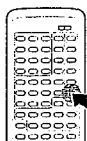
② SET キーを押して、確定する

手順①と②を繰り返して、消したい曲を選びます。

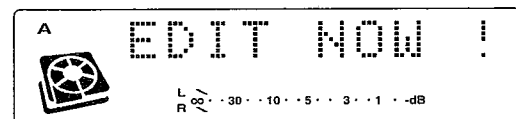


- 選んだ曲順の確認や、選んだ曲の取消しには、CURSOR / CHECK (◀▶) キーと TIME DISP. / CLEAR キーを使います。詳しくは、「選んだ曲の確認、または取消しをするには」を参照してください。 → 77
- 全曲消したい場合、「-ALL」表示を選ぶ場合は、「全曲消す」を参照してください。 → 87

3 消去を実行する



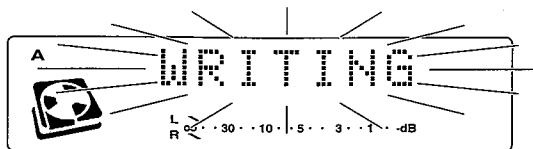
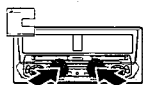
"ERASE?"と表示したら、EDIT ENTER (再生・一時停止) (▶/||) キーを押す



- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 消去の途中でEDIT CANCEL (停止) (■) キーを押した場合、選ばなかった曲は、消す範囲の最後に、そのままの曲順で移動します。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクトキー(▲)や、ON / STANDBY (I/O) キーを押すと、消去が途中で中断されることがあります。

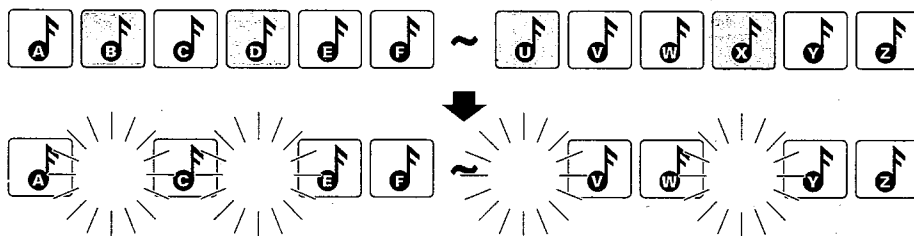
4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

イジェクト(▲)キーを押す



ミニディスク取り出しの際の^{ライティング}"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

曲をまとめて消すイメージ



1曲消す (TRACK ERASE)

選んだ1曲のみを消去することができます。消した直後の曲のトラック番号が調節されます。
消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

説明文中のカッコ内のキー名称は本体キーのものです。

再生中、または再生一時停止中に操作してください、リモコンのA/Bスイッチで操作したいディスク(AまたはB)を選んでください

1 準備をする

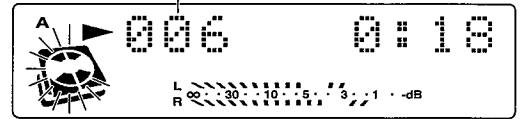


CHARACTER ◀◀、▶▶ (ジョグダイアル) キーで消したい曲を再生する

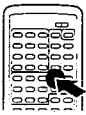
戻る (◀◀) 進む (▶▶)



消したい曲を再生する



2 ERASEを選ぶ



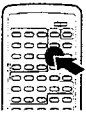
① MD EDIT (EDIT) キーを押す

再生一時停止になります



② CHARACTER ◀◀、▶▶ (ジョグダイアル) キーで"ERASE"を選ぶ

CHARACTER (◀◀) (▶▶)



③ SET キーを押して、確定する

SET

再生一時停止中の曲のトラック番号が表示されます

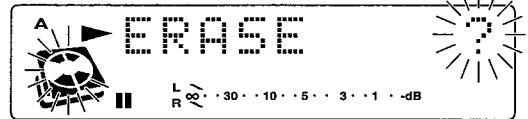
④ もう一度SETキーを押して、消す曲を確定する



途中で中止するときは、もう一度EDIT CANCEL (停止) (■) キーを押します。

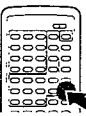
押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE? (曲を分ける)
- ② COMBINE? (曲をつなぐ)
- ③ ERASE? (曲を消す)
- ④ MOVE? (曲順を入れ替える)



●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

3 消去を実行する

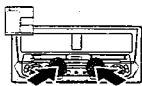


"ERASE ok?"と表示したら、EDIT ENTER (再生・一時停止) (▶/■) キーを押す

CANCEL (■) EDIT ENTER (▶/■)

- 曲が消去されます。(トラックタイトル含む)
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクトキー(▲)や、ON / STANDBY (I/O) キーを押すと、消去が途中で中断されることがあります。

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す



イジェクト(▲)キーを押す



ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

1曲消す (TRACK ERASE) のイメージ 消したい曲



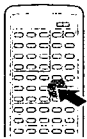
全曲消す (ALL ERASE)

停止中に全曲消去することができます。ミニディスク全体を消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

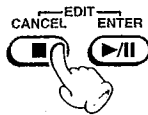
説明文中のカッコ内のキー名称は本体キーのものです。

停止中に操作してください、リモコンのA/Bスイッチで操作したいディスク(AまたはB)を選んでください。

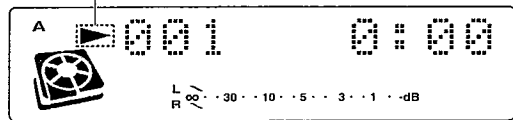
1 準備をする



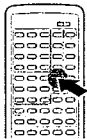
EDIT CANCEL (停止) (■) キーを押して、停止状態にします



消灯を確認する



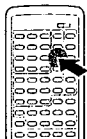
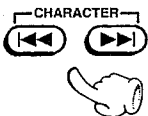
2 ALL ERASEを選ぶ



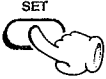
① MD EDIT (EDIT) キーを押す



② CHARACTER (ジョグダイアル) キーで "Q.ERASE" を選ぶ



③ SET キーを押して、確定する



"-ALL?" と表示されます

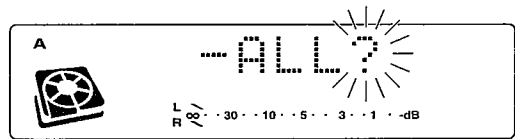
④ もう一度 SET キーを押して、"ALL" を確定する



途中で中止するときは、もう一度 EDIT CANCEL (停止) (■) キーを押します。

押すたびに切り換わります。

- ① Q.MOVE? (曲順を入れ替える)
- ② Q.ERASE? (曲をまとめて消す)



●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

3 消去を実行する

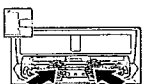


"ALL ERASE?" と表示したら、EDIT CANCEL (再生・一時停止) (▶/■) キーを押す



- ミニディスクの全曲が消去されます。(ディスクタイトル含む)
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクトキー (▲) や、ON / STANDBY (I/O) キーを押すと、消去が途中で中断されることがあります。

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す



イジェクト (▲) キーを押す



ミニディスク取り出しの際の "WRITING" 表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

曲の一部を消す

- ① 曲を分ける (TRACK DIVIDE) 機能を使って、消したい部分だけを1つの曲にする。
- ② 1曲消す (TRACK ERASE) 機能を使って、消去する。

この手順を使って、目的の部分だけを消去することができます。

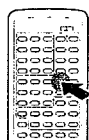
説明文中のカッコ内のキー名称は本体キーのものです。

再生中、または再生一時停止中に操作してください、リモコンのA/Bスイッチで操作したいディスク(AまたはB)を選んでください

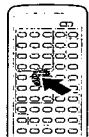
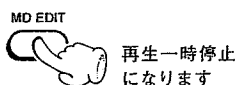
1 一部分を消したい曲を再生する

●再生一時停止中にも編集できます。

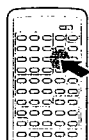
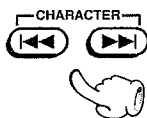
2 消したい部分の最後を決める



- ① MD EDIT (EDIT) キーを押す



- ② CHARACTER (ジョグダイアル) キーで "DIVIDE" を選ぶ



- ③ SET キーを押して、確定する



再生中の場合、再生一時停止になります。

- ④ もう一度 SET キーを押して、分割する曲を確定する

- ⑤ SET キーを押して、プレビュー再生する

一時停止しているところから後の約3秒間を繰り返し再生します。

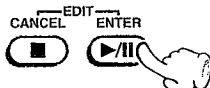
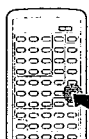
- ⑥ CHARACTER (ジョグダイアル) キーで分割したいところを微調整する

▶▶ キー： ステップ数が上がる
◀◀ キー： ステップ数が下がる

調整された場所を冒頭として、手順①で再生されていた部分の最後までを繰り返し再生します。

- ⑦ SET キーを押して、確定する

- ⑧ EDIT ENTER (再生・一時停止) (▶/||) キーを押して、曲の分割を実行する



途中で中止するときは、もう一度 EDIT CANCEL (停止) (■) キーを押します。

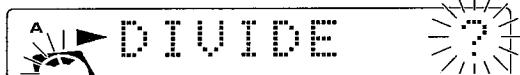
押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE? (曲を分ける)
- ② COMBINE? (曲をつなぐ)
- ③ ERASE? (曲を消す)
- ④ MOVE? (曲順を入れ替える)



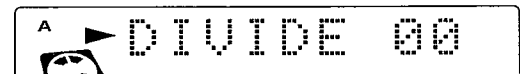
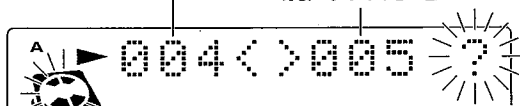
分割の微調整をしないときは、手順⑤の後に EDIT ENTER (再生・一時停止) (▶/||) キーを押してから手順⑥へ進みます。 ("DIVIDE ok?" と表示されます。)

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

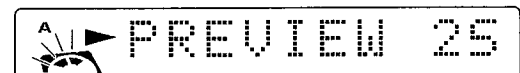


再生一時停止中の曲のトラック番号

分割によってできる曲のトラック番号



- 音を聴きながら、微調整することができます。
- 調整できる範囲は、手順⑥で MD EDIT (EDIT) キーを押して一時停止したところから、後に32ステップです。(1ステップは約6/100秒)



- 曲が2つに分けられます。
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクトキー (▲) や、ON / STANDBY (I / O) キーを押すと、分割が途中で中断されることがあります。

3 同様に、消したい部分の最初を決める

4 ERASEを選ぶ

- ① MD EDIT (EDIT) キーを押す
- ② CHARACTER (ジョグダイアル) キーで"ERASE"を選ぶ
- ③ SET キーを押して、確定する

押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE? (曲を分ける)
- ② COMBINE? (曲をつなぐ)
- ③ ERASE? (曲を消す)
- ④ MOVE? (曲順を入れ替える)

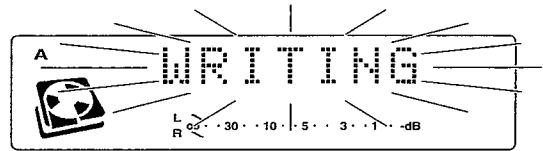
5 消去を実行する

"ERASE ok?"と表示したら、EDIT ENTER (再生・一時停止) (▶/||) キーを押す

- 曲が消去されます。(トラックタイトル含む)
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクトキー(▲)や、ON / STANDBY (I/O) キーを押すと、消去が途中で中断されることがあります。

6 編集終了後、ミニディスクを取り出す

イジェクト(▲)キーを押す

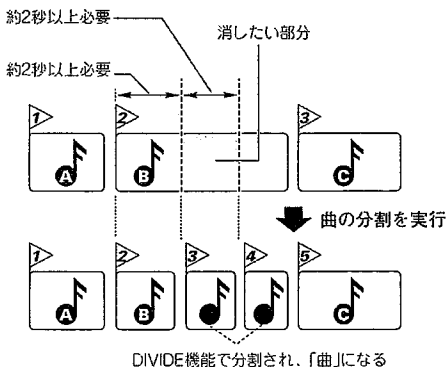


ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

応用編

曲を分ける (TRACK DIVIDE) イメージ

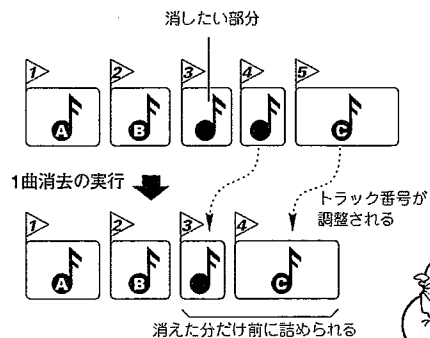
- 80



- 曲の前半や後半だけを消去する場合は、1か所だけTRACK DIVIDEを行なってください。

1曲消す (TRACK ERASE) イメージ

- 86



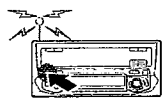
本機では、イコライザーと音場再生を選ぶことができます。イコライザーは聴く音楽ジャンルによってお好みで選んでください。また、音場モードは、お好みの雰囲気でお楽しみください。

音の効果を楽しむ

SRS 3D (Sound Retrieval System) を体験する

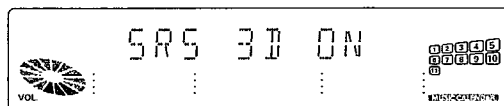
サウンド リトリバーブル システム
Sound Retrieval Systemとは、音声信号に対して、人間の聴覚メカニズムに基づいた最適な処理を加えることで、3次元的な音響空間を造り出す、画期的なシステムです。従来、2チャンネルステレオ(一般のステレオ)では再現が難しいとされている、リアルな奥行き感や、音像の定位をもたらします。どのようなソース(CD、MD、放送...)でも十分な効果を得ることができます。SRS 3Dをかけた状態で録音することもできます。

- ① SRSキーを押して、SRS 3Dをオンにする



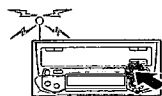
点灯

キーを押す度にオン/オフが切り換わります



- ② 効果の強さ(レベル)を調節する

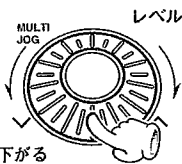
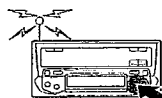
- (1) モード キョウクキー
MODE / CHARA.キーを押して、
"LEVEL"を表示させる



MODE/CHARA.

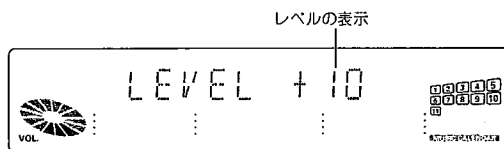
5秒以内に手順②へ

- (2) マルチ ジョグ
MULTI JOGを使って、効果の強さを
調節する



レベルが上がる

レベルが下がる



レベルの表示

- -10~+10の範囲で調節できます。
- 再生中の曲調などに合わせて、お好みの設定でお楽しみください。
- MDのダビング録音以外の録音中に、SRS 3Dのオン/オフ切り換えと効果の強さ(レベル)の調節はできません。



音にSRS 3Dをかけると、効果のかかった音で録音できます。
(MDのダビング以外のアナログ録音のみ、TAPE端子に接続された機器での録音を除く)

お好みの音質で音楽を聴く (イコライザー機能)

5通りのイコライザーパターンに加えて、あなたの作ったイコライザーパターンを1種類記憶させておき、呼び出して使うことができます。

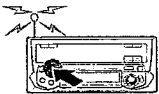
イコライザー(周波数バンド)の調整について

イコライザーが^{メモリアル}"MANUAL" (ユーザーメモリー)のときに限り、各周波数バンドの設定項目が表示されます。

イコライザーパターンを選ぶ

聴いている音楽のジャンルにあわせて、お好みでイコライザーのパターンを選ぶことができます。

- ① ききたい曲を再生する
- ② EQ.EFFECTキーを押して、聴いているジャンルを選ぶ



押すたびに切り換わります。

- ① ROCK (ロック)
- ② POP (ポピュラー)
- ③ DISCO (ディスコ)
- ④ JAZZ (ジャズ)
- ⑤ CLASSIC (クラシック)
- ⑥ MANUAL イコライザーパターンを作って記憶させることができます。
- ⑦ EQ. OFF (EQ. ON消灯...イコライザー解除)

点灯



イコライザーパターンを作って記憶させる

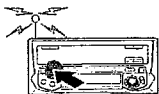
お好みのイコライザーパターンを作ることができます。



音にSRS 3Dをかけると、効果のかかった音で録音できます。
(アナログ録音のみ、TAPE端子に接続された機器での録音、再生を除く)

→ 38

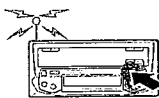
- ① EQ.EFFECTキーを押して、^{メモリアル}"MANUAL" を表示させる



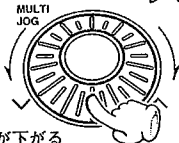
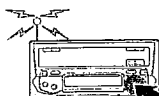
5秒以内に手順②へ

- ② イコライザーパターンを調整する

- (1) ^{モード}MODE / ^{キャラクター}CHARA.キーを押して、周波数バンドを選ぶ



- (2) ^{マルチ}MULTI JOGを使って、レベルを調整する

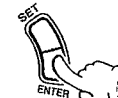
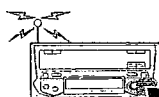


レベルが上がる

レベルが下がる

- (3) 手順(1)、(2)を繰り返して、それぞれの項目を調整する

- ③ ^{エンター}ENTERキーを押して、記憶させる

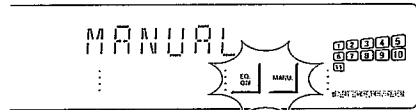


押すたびに切り換わります。

- ① ROCK
- ② POP
- ③ DISCO
- ④ JAZZ
- ⑤ CLASSIC
- ⑥ MANUAL
- ⑦ EQ. OFF

MANUAL

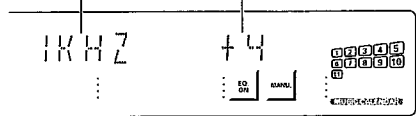
点灯



押すたびに切り換わります。

- ① 68 Hz
- ② 130 Hz
- ③ 400 Hz
- ④ 1 kHz
- ⑤ 2 kHz
- ⑥ 6.3 kHz
- ⑦ 16 kHz

設定項目 設定レベル



- +4~-4の範囲で調節できます。
- 設定中に入力を切り換えた場合は、手順①よりやり直してください。

バランスとインプットレベルの調整

バランス 左右の音量バランスを調整します。

インプットレベル .. AUX入力端子に接続された外部機器 (ビデオデッキ等)、TラフAPE PLAY端子に接続された外部機器 (テープデッキ等) からの音量を調整します。外部機器からの音量が大きすぎる場合など、必要に応じて調整してください。

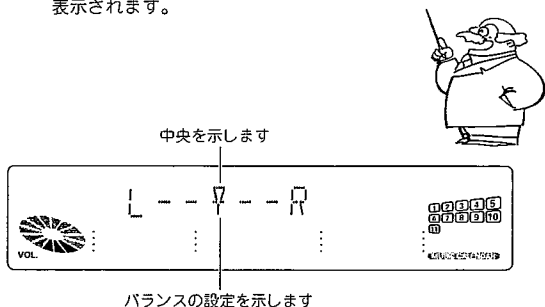
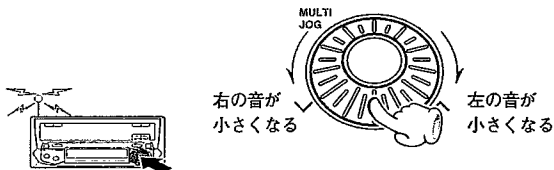
バランスの調整

- ① モード / キャラクター キーを押して、バランス調整を選ぶ



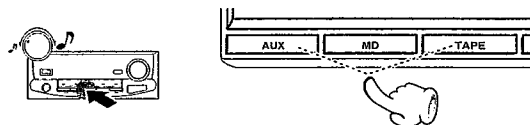
● "LEVEL" (SRS 3D効果の強さ) はSRS 3Dがオンのときに限り表示されます。

- ② マルチ ジョグ MULTI JOGを使って、調整する



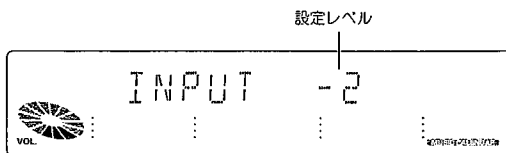
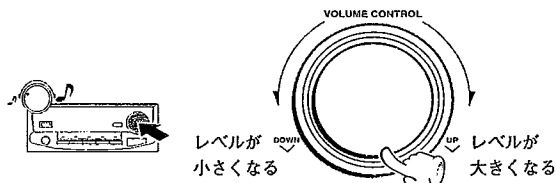
インプットレベルの調整

- ① 入力切換キー (本体キーのみ) で、TラフAPEの調整またはAUXの調整を選ぶ



どちらかを続けて2回押し
5秒以内に手順②へ

- ② ボリューム コントロール VOLUME CONTROLつまみで、調整する



● -5~0の範囲で調整ができます。

インプットレベルを調整すると、AUX入力端子、およびTラフAPE PLAY端子に接続された外部機器からの録音レベルも変化します。
"MDに録音する" → [38]

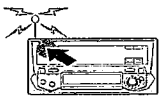
多彩な表示を切り換える (デモンストレーション機能)

本機には、音楽を再生しながら様々な音質効果を確認できるデモンストレーション機能、音楽に合わせた光りの動きを表現するスペクトラムアナライザーなど、多彩な表示機能を搭載しています。

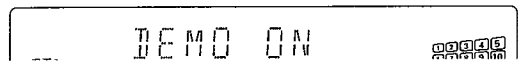
デモンストレーション表示

イコライザー、SRS 3D、EX. BASS、N.B. CIRCUITなど音質調整機能の効果を順にデモンストレーションします。

ディスプレイ / デモ
DISPLAY / DEMOキーを押して、
"DEMO ON"を表示させる



2秒以上押し続ける

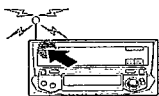


- デモンストレーションをやめるときはもう一度同じキーを押します。"DEMO OFF"表示が流れてデモンストレーションは解除されます。
- デモンストレーションがオンの状態で電源をオフ(スタンバイ)にしても、デモンストレーションは引き続き行なわれます。やめたいときはもう一度DEMOキーを押して止めてください。

表示部を切り換える

本機の表示部は2種類の表示内容が立体的に重なって見えるしくみになっています。お好みに合わせて、1種類ずつの表示にすることもできます。

2重表示を切り換える



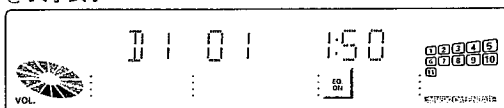
ディスプレイ / デモ
DISPLAY / DEMOキーを押すたびに切り換わります。

- ① 2重表示
- ② 文字表示
- ③ スペクトラムアナライザー表示

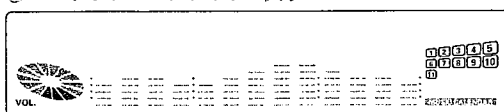
① 2重表示



② 文字表示

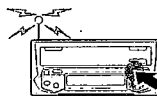


③ スペクトラムアナライザー表示



スペクトラムアナライザー表示を切り換える

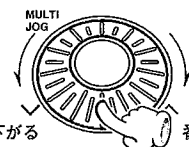
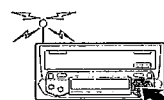
- ① モード / キヤラクタ
MODE / CHARA.キーを押して、"DISPLAY"を選ぶ



5秒以内に手順②へ

- "LEVEL" (SRS 3D効果の強さ)はSRS 3Dがオンのときに限り表示されます。

- ② マルチ ジョグ
MULTI JOGを使って、お好みのスペクトラム・アナライザー表示を選ぶ



番号が下がる

番号が上がる

- 7種類の表示のしかたから選ぶことができます。
(DISPLAY1～DISPLAY7)

ACコードをコンセントに接続すると、時計表示が点滅します。
説明に従って正確な時刻を合わせてください。

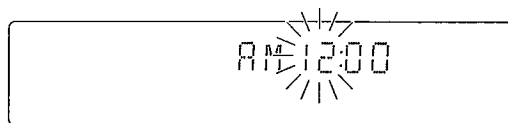
電源がオフ(スタンバイ)になっていることを確認してください。

1 時刻合わせモードにする

電源オフ(スタンバイ)時にAUTOキーを押す



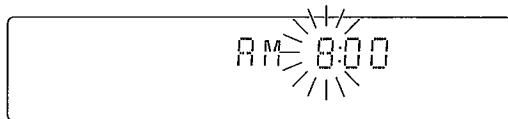
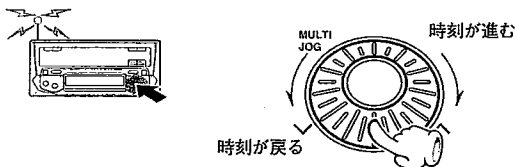
8時45分に合わせる例



●時間表示が点滅を始めます。

2 時間を合わせる

マルチジョグ
① MULTI JOGを使って、時間をあわせる



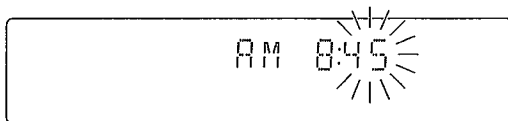
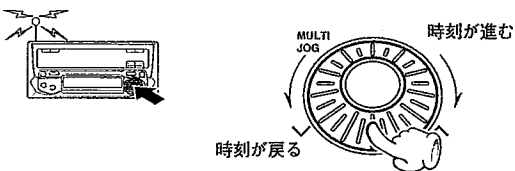
エンター
② ENTERキーを押して、確定する



●時刻は12時間表示で表示されます。
●ENTERキーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅を始めます。

3 分を合わせる

マルチジョグ
① MULTI JOGを使って、分をあわせる



エンター
② ENTERキーを押して、確定する



●間違えて押したときは、最初からやり直してください。
●時報と同時にENTERキーを押すと正確な時刻表示ができます。
●停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、時刻表示が点滅します。その場合は、もう一度時刻合わせをしてください。

オペレート イージー トゥー ユーズ タイマー (O.T.T.)

指定の時刻に、選んだ入力ソースの再生が始まり、1時間経つと電源がオフ(スタンバイ)になります。設定直後の1回だけ働きます。

おやすみタイマー (SLEEP)

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

タイマー再生、タイマー録音 (PROG.1, PROG.2)

設定した時間帯に、選んだソースを再生(または放送を録音)します。

AI タイマー再生 (PROG.1, PROG.2)

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、あらかじめ工場で設定された音量まで上がります。



MDは、ミニディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。

MDでタイマーを設定する前に、メモリーバックアップ機能を有効にするため、10分以上電源をオン状態にしておいてください。

-112

オペレート イージー トゥー ユーズ タイマー (Operate easy To use Timer : O.T.T.)

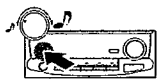
オペレート イージー トゥー ユーズ タイマー

時刻をセットするだけのカンタンな操作で、タイマー再生ができます。電源をオフ(スタンバイ)にする前に、最後に選ばれていたソースが再生されます。タイマー再生開始から1時間で、電源が自動的にオフ(スタンバイ)になります。

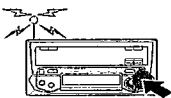


O.T.T.タイマーによる動作が終了するまでは、プログラムタイマーは働きません。

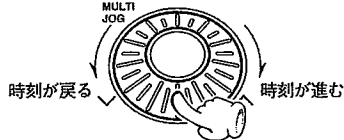
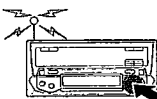
- ① 聴きたいソースを選び、音量を設定する
- ② ON / STANDBY (I/⏻) キーを押して、電源をオフ(スタンバイ)にする



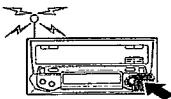
- ③ SET キーを押す



- ④ MULTI JOG を使って、オン時刻をセットする



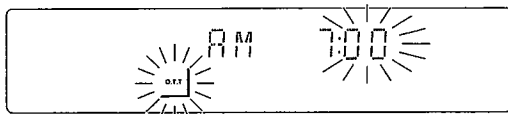
- ⑤ ENTER キーを押して、決定する



- CDを再生するときは、トレイNo.1にセットしないと、タイマー再生されません。
- SET キーを押すと、入力ソースおよび、オン時刻の表示になります。

押すたびに切り換わります。

- ① "O.T.T." 点灯 ... タイマーを使う
- ② "O.T.T." 消灯 ... タイマーを使わない



オン時刻の表示

- オン時刻は、5分単位で設定できます。
- 他のタイマーと組み合わせた場合、最後に動作した入力ソースが再生されます。

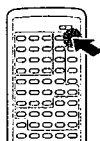
解除するには

SET キーを2回押す。

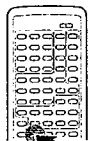
おやすみタイマー (SLEEP)

何分後に電源を切るかを設定します

- ① I/⏻ (ON / STANDBY) キーを押して、電源をオンにする

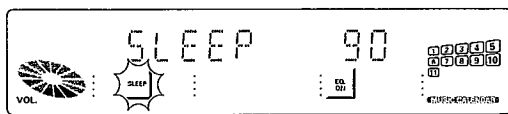


- ② SLEEP キーを押して、時間を設定する



- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフ(スタンバイ)になります。
- 1回押すごとに10分ずつ減っていきます。最大約90分まで設定できます。

90 → 80 → 70 30 → 20 → 10 → 解除 → 90 → 80



点灯

セットする時間

解除するには

電源をオフ(スタンバイ)にする、またはSLEEP キーを解除になるまで押す。

プログラムタイマー予約

2系統(PROG.1, PROG.2)の24時間タイマー(毎日働きます)です。

PROG.1, PROG.2には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

テープのタイマー操作については、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。

- タイマー予約は、PROG.1とPROG.2の2種類を、同時に予約できません。
- PROG.1とPROG.2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。



MDは、ミニディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。

MDでタイマーを設定する前に、メモリーバックアップ機能を有効にするため、10分以上電源をオン状態にしておいてください。

→112

"接続のしかた"を参照して、関連機器との接続を済ませてください。

→10

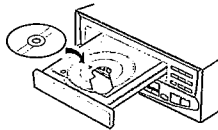
1 聴く(録音する)ための準備をする

放送局を聴く

放送局をプリセットしておく
→34

CDを聴く

ディスクを入れる(プログラム再生はできません。)



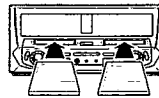
トレイNo.1にセットしないとタイマー再生されません。

外部入力ソースを聴く

AUX端子、またはTAPE端子に接続した機器のタイマー設定をする

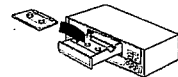
MDを聴く

ディスクを入れる



テープを聴く

テープをセットする。
カセットデッキ(別売)



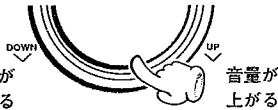
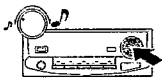
録音する

録音の準備をする。
カセットデッキ(別売)

MD →38

2 音量を調節する

VOLUME CONTROLつまみで音量を調節する



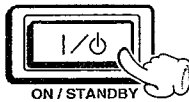
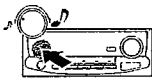
音量が下がる

音量が上がる

- 放送を録音するときは、タイマーで電源がオンになると、最小の音量に自動セットされます。

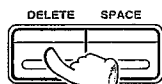
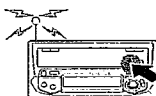
3 電源をオフ(スタンバイ状態)にする

ON / STANDBY(1/⏻)キーを押して、電源をオフ(スタンバイ状態)にする



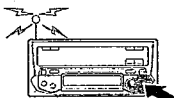
4 プログラム番号を選ぶ

① DELETEキーを押す



8秒以内に手順②へ

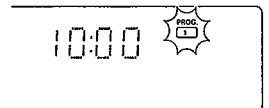
② ENTERキーを押して、確定する



プログラム内容の表示中に押す

押すたびに切り換わります。

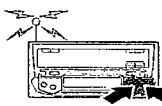
- ① PROG. 1 ... プログラム1
- ② PROG. 2 ... プログラム2
- ③ 通常状態



- 選んだプログラム番号が点灯します。
- すでに予約されているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。

5 オン時刻を設定する

- ① MULTI JOGを使って、時刻を設定する



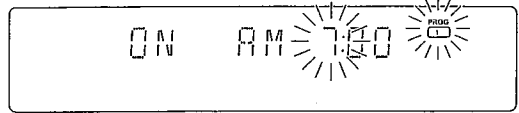
時刻が戻る



時刻が進む

- ② ENTERキーを押して、確定する

- ①、②の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。



- 間違えたときは手順②からやり直してください。

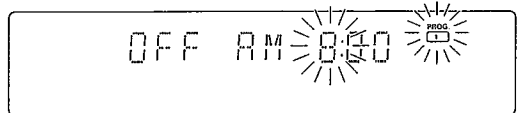
6 オフ(スタンバイ)時刻を設定する

- ① MULTI JOGを使って、時刻を設定する

△.....時刻が進む
▽.....時刻が戻る

- ② ENTERキーを押して、確定する

- ①、②の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。



- 間違えたときは手順②からやり直してください。

7 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

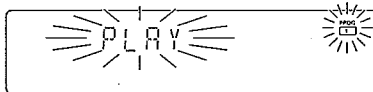
- ① モードを選ぶ

- (1) MULTI JOGを使って、"PLAY"または"AI"を選ぶ



- ① **PLAY**.....タイマー再生
② REC
③ **AI**.....だんだん音が大きくなるタイマー再生

- (2) ENTERキーを押して、決定する



- ② 入力ソースを選ぶ

- (1) MULTI JOGを使って、何を聴くか選ぶ



- ① **TUNER**.....放送
② CD.....CD
③ MDA.....MDのディスクA
④ MDB.....MDのディスクB
⑤ TAPE.....テープ
⑥ AUX.....外部入力

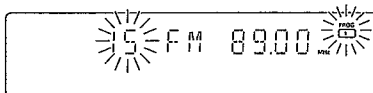
- (2) ENTERキーを押して、決定する



- ③ 放送局を選ぶ(TUNER時のみ)

- (1) MULTI JOGを使って、プリセットチャンネルを選ぶ

- (2) ENTERキーを押して、決定する



- 放送局は必ずプリセットしておいてください。

- 34

放送のタイマー録音をするとき

- ① モードを選ぶ

- (1) MULTI JOGを使って、"REC"を選ぶ

- ① **PLAY**
② **REC**
③ AI

- (2) ENTERキーを押して、決定する

- ② 放送局を選ぶ

- (1) MULTI JOGを使って、プリセットチャンネルを選ぶ

- (2) ENTERキーを押して、決定する

- ③ 録音する機器を選ぶ

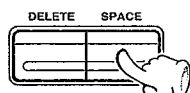
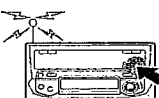
- (1) MULTI JOGを使って、録音する機器を選ぶ

- ① MDA.....MDのディスクA
② MDB.....MDのディスクB
③ MDA+B.....MDのディスクAとディスクBのリレー録音
④ TAPE.....テープ(別売カセットデッキのみ)

- (2) ENTERキーを押して、決定する

8 働かせたいプログラム番号をセットする

SPACEキーを押す



押すたびに切り換わります。

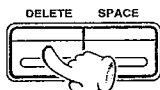
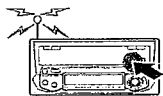
- ① **PROG.1**.....プログラム1のみ実行
② **PROG.2**.....プログラム2のみ実行
③ **PROG.1, 2**.....プログラム1と2の両方を実行
④ タイマーオフ

- 選んだプログラム番号が点灯します。
●プログラム番号をセットしないとタイマーは動きません。

電源がオフ(スタンバイ)になっていることを確認してください。

予約の内容を確認する

^{DELETE}キーを押して、確認したいプログラム番号を選ぶ



予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。

押すたびに切り換わります。

- ① PROG.1 プログラム 1 を表示
- ② PROG.2 プログラム 2 を表示
- ③ 通常状態

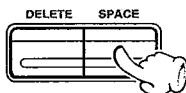
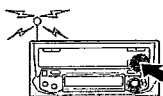
●予約内容を約3秒ずつ表示していきます。そのあと、元に戻ります。

予約内容を変更したいときは

"プログラムタイマー予約"を始めからやり直してください。

タイマーを働かせたくないとき

^{SPACE}キーを押して、プログラム表示をすべて消灯させる



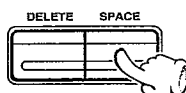
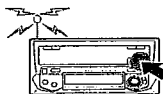
押すたびに切り換わります。

- ① PROG.1 プログラム 1 が働きます
- ② PROG.2 プログラム 2 が働きます
- ③ PROG.1, 2 プログラム 1,2 ともに働きます
- ④ 消灯 プログラムは働きません

●予約内容は記憶しています。

再び同じ内容のタイマーをセットする

^{SPACE}キーを押して、セットしたいプログラム表示を点灯させる



押すたびに切り換わります。

- ① PROG.1 プログラム 1 が働きます
- ② PROG.2 プログラム 2 が働きます
- ③ PROG.1, 2 プログラム 1,2 ともに働きます
- ④ 消灯 プログラムは働きません

●ディスク、MDの準備、音量の調節をしておきます。

JISコード表の検索のしかた



	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
あ	3020	亜	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	西	穩	惡	握	渥	
	3030	旭	葦	芦	絆	絆	絆	絆	宛	姐	蛇	鉤	綫	綫	綫	或	
	3040	粟	拾	安	按	按	按	按	宛	姐	蛇	鉤	綫	綫	綫	或	

JISコード表を使って、目的となる文字のコードを捜します。

(例)愛

- 表から"愛"の文字を捜す。
- コード番号"3020"の行の6番目の文字であるので、コード番号"3026"をメモなどに控える。
- "JISコード表を使って、タイトルをつける"を参照して、文字を入力する。

JIS第1水準

	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
記号	2120	、	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
英・数字	2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
ひらがな	2420	あ	い	う	え	お	か	き	く								
カタカナ	2520	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク								
ギリシャ文字	2620	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	
ロシア文字	2720	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	
あ	3020	亜	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	西	穩	惡	握	渥	
い	3040	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	為	以	伊	位	依	偉	胃	
う	3120	右	宇	烏	羽	迂	雨	瓜	卯	鵝	窺	丑					

	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
え	3140	荏	餌	齧	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎	
お	3170	押	旺	構	歐	歐	翁	汚	騶	凹	奧	往	応				
か	3230	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽
き	3460	基	奇	嬌	寄	岐	希	幾	忌	機	机	企	伎	危	喜	器	
く	3660	駒	具	慮	噲	九	俱	偶	區	狗	玖	苦	駭	駭	駭	駭	
け	3730	契	形	徑	慶	慧	袞	袞	係	傾	刑	啓	圭	珪	珪	珪	

知識編

JIS第2水準

JIS 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F

JIS 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F

本機とサイバタイトラー(別売)とのMD LINK機能を使う場合の注意

本機(ミニディスク)に記録した文字をサイバタイトラー(別売)を使って修正したり、ラベルにしたりする場合、一部使用できない文字があります。...

知識編

	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
土	5420 5430 5440 5450 5460	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳	坳 坳 坳 坳 坳
士	5460			壯	壺	壺	壺	壺	壺	壽								
又	5460									又								
又	5460									又	夔							
夕	5460															夕	夕	夕
大	5460 5470	天	本	夸	夾	奇	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕
女	5520 5530 5540 5550	奸	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘
子	5550			子	孕	孕	孕	孕	孕	孕	孕	孕	孕	孕	孕	孕	孕	孕
山	5550 5560 5570	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它
寸	5570	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅
小	5570					尔	尔	尔	尔	尔	尔	尔	尔	尔	尔	尔	尔	尔
尤	5570							尤	尤	尤	尤	尤	尤	尤	尤	尤	尤	尤
尸	5570 5620	屍	屍	屍	屍	屍	屍	屍	屍	屍	屍	屍	屍	屍	屍	屍	屍	屍
巾	5620					巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾
山	5620 5630 5640 5650	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷
工	5660	巫																
己	5660	己	己	己	己	己	己	己	己	己	己	己	己	己	己	己	己	己
巾	5660 5670	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾	巾
干	5670			干	干	干	干	干	干	干	干	干	干	干	干	干	干	干
么	5670					么	么	么	么	么	么	么	么	么	么	么	么	么
广	5670 5720	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣
乚	5720																乚	乚
升	5730	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升
弋	5730					弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋
弓	5730									弓	弓	弓	弓	弓	弓	弓	弓	弓
彡	5740					彡	彡	彡	彡	彡	彡	彡	彡	彡	彡	彡	彡	彡
彳	5740 5750	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳
心	5750 5760 5770 5820 5830 5840 5850 5860 5870	忪	忪	忪	忪	忪	忪	忪	忪	忪	忪	忪	忪	忪	忪	忪	忪	忪

	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
戈	5870 5920												戈	戈	戈	戈	戈	
戶	5920									戶								
手	5920 5930 5940 5950 5960 5970 5A20 5A30	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
攴	5A30 5A40	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	
斗	5A40 5A50	斗															斗	
斤	5A50	斤																
方	5A50																	
无	5A50																无	
日	5A50 5A60 5A70 5B20	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	
日	5B20																日	
月	5B20 5B30	月															月	
木	5B30 5B40 5B50 5B60 5B70 5C20 5C30 5C40 5C50 5C60 5C70 5D20 5D30	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木
欠	5D30 5D40	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	
止	5D40	止																
歹	5D40 5D50	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	
殳	5D50	殳																
母	5D50																母	
毛	5D50 5D60	毛															毛	
氏	5D60	氏																
气	5D60																气	
水	5D60 5D70 5E20 5E30 5E40 5E50 5E60 5E70 5F20 5F30	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	

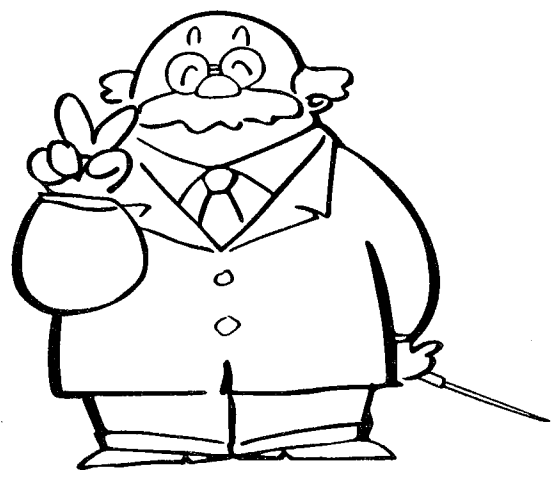
知識編

	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
水	5F40 5F50	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆
火	5F50 5F60 5F70 6020	焔	焔	焔	焔	焔	焔	焔	焔	焔	焔	焔	焔	焔	焔	焔	焔
爪	6020									爭	爬	爰	爲				
爻	6020													爻	俎		
片	6020 6030	牋	牋													片	牋
牛	6030		牴	牴	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂				
犬	6030 6040 6050	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎
王	6050 6060 6070	玻	玻	玻	玻	玻	玻	玻	玻	玻	玻	玻	玻	玻	玻	玻	玻
瓜	6120	瓠	瓠														
瓦	6120 6130	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃
甘	6130		嘗														
生	6130			甦													
用	6130				甬												
田	6130 6140	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧
病	6140 6150 6160 6170 6220	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲
兆	6220		兆	發													
白	6220				皀	兒	皀										
皮	6220 6230																皀
血	6230				孟	蓋	盒	蓋									
目	6230 6240 6250 6260	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇
矛	6260		矜														
矢	6260		矢	矮													
石	6260 6270 6320	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵
示	6320 6330	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕
禺	6330																禺
禾	6330 6340 6350	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬
穴	6350 6360	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠
立	6360 6370	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝
	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
竹	6370 6420 6430 6440 6450 6460	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵
米	6460 6470	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝
糸	6470 6520 6530 6540 6550 6560 6570	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
缶	6570 6620	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
罔	6620 6630	罔	罔	罔	罔	罔	罔	罔	罔	罔	罔	罔	罔	罔	罔	罔	罔
羊	6630 6640	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴
羽	6640		翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮
老	6640																耆
耒	6650		耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒
耳	6650 6660	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾
聿	6660																聿
肉	6660 6670 6720 6730 6740	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛
臣	6740																臧
至	6740																臺
臼	6740 6750																
舌	6750		舌	舌													
舟	6750 6760	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩
艮	6760																
色	6760																
艸	6760 6770 6820 6830 6840 6850 6860 6870 6920 6930 6940	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
虎	6940																虎
虫	6940 6950 6960 6970 6A20 6A30	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩
	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

知識編

	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
黒	7350 7360	徹	屬	黠						黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠
拊	7360		拊	拊	拊												
鼈	7360					鼈	鼈										
鼓	7360									鼓							
鼠	7360										鼠						
鼻	7360													鼻			
齊	7360														齊		
齒	7360 7370	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒				齒
龍	7370													龍			
龜	7370														龜		
禽	7370															禽	
	7420	堯	禎	達	瑤	凜	熙										
	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F



知識編

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。

参考

露付きにご注意

水蒸気が、冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを「露付き」といいます。この現象がおきますと、正常に動作しないが、または、まったく動作しないことがあります。これは故障ではありませんが、露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。

本機の電源を入れた状態で、そのまま放置してください。長くても数時間で露が乾いてきます。

次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。

- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から、湿度が高く気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温との差が大きく、露付きの状態になりやすい条件のとき。

スピーカーの設置とテレビについて

- 1.このシステムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁型(EIAJ規格)ですが、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。
- 2.近くに磁石など磁気が発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置にご注意ください。
- 3.テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがオフのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

サウンド・リトリバル・システムはSRS・ラプス・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。SOUND RETRIEVAL SYSTEMおよび(●)はSRS・ラプス・インコーポレーテッドの商標です。

この製品の購入はサウンド・リトリバル・システムによる録音物を販売する権利を譲渡するものではありません。

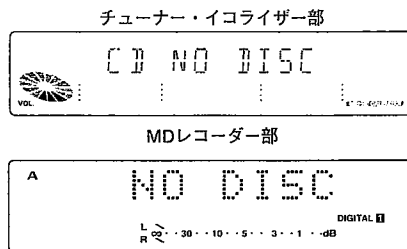
輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. **▲**(EJECT)キーを押して、CD、MDをすべて取り出します。

ディスク1～6間でのすべてのトレイをオープンして、ディスクが入っていないことを確認してください。

2. ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

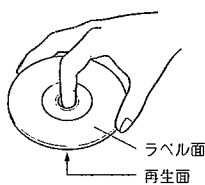


3. 数秒間待って、電源をオフ(スタンバイ)にします。

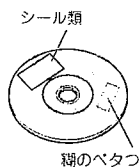
メモリーバックアップ	
電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容	時計表示
電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容	アンプ部 電源の状態(オンまたはスタンバイ) 入力切換 ボリュームの値 バランスの設定 イコライザーのユーザーメモリー チューナー・イコライザー部 受信バンド 周波数 プリセット放送局 プログラムの設定内容 SRS3Dレベル
電源オフ(スタンバイ)または、電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容	MDレコーダー部 ディスプレイ・モード 録音レベル

ディスクの取り扱い方

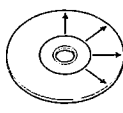
ディスク取扱上のご注意



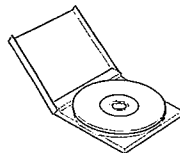
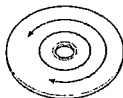
取り扱い
再生面にふれないように持ってください。



- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどの、糊がみ出したり、剥がした後のものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

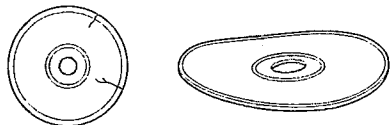


お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。



保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

ディスク使用上のご注意



⚠ 注意 異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

本機で使用できるディスクについて

CD(12cm, 8cm)、CDV(オーディオパートのみ)
●CD-G(CDグラフィックス)ディスクは、本機では音声のみの再生になります。

CDアクセサリーについて

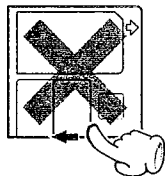
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)、およびレンズクリーナーは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

ミニディスクの取扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

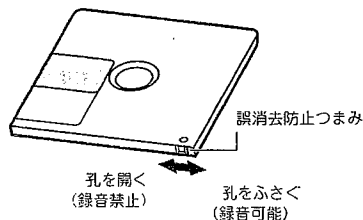
お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについてホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

ミニディスク裏面



ミニディスク MDシステムとは

ミニディスクシステムの特長をまとめると、次のようになります。

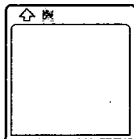
- ① CD(コンパクトディスク)と同様に、自由なところから再生できる。(ランダムアクセスが可能)
- ② カートリッジに入った直径64mmのミニディスクを使用する。
- ③ 2種類のミニディスクに対応する。
- ④ 高能率符号化技術を使って最大74分の録音、再生ができる。
- ⑤ 半導体メモリーを使った耐震技術。

2種類のミニディスク

ミニディスクには、再生専用のものと、録音→再生のもの、2種類があります。

再生専用ミニディスク

再生のみが可能なミニディスクで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプを使用しています。再生専用ミニディスクはコンパクトディスク(CD)と同じ光ディスクです。ピット(小さなくぼみ)の有り無しで記録されています。光学非接触ピックアップで信号を読み取ります。



高能率符号化技術 "ATRAC"

ミニディスクは、従来のコンパクトディスクの約半分のサイズですが、同じ時間記録することができます。それは新しく開発された*高能率符号化技術によって可能となりました。

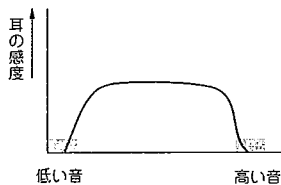
*高能率符号化技術:

アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング
ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

ATRACとは、聴感上問題のない音の成分をカットして、音楽データを従来の約1/5にしています。このことにより、最大74分の録音、再生が可能になりました。

耳の感度に達しない音

低い音や高い音は、ある程度の音量がないと聞き取れない。



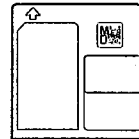
大きな音の近くの小さな音

大きな音と同時に小さな音があっても、人間の耳には聞こえない。(マスキング効果)



録音用ミニディスク

録音可能なミニディスクで、光磁気ディスクを使用、磁界変調方式で録音が可能になりました。光磁気ディスクの下面からレーザー光を照射し、ディスクの上面から磁界を印加して記録しています。

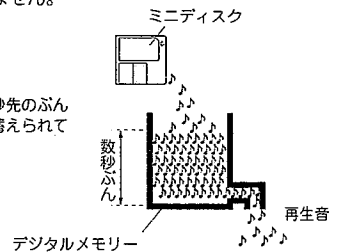


音とび防止メモリー

本機では、震動で音が飛ばないように信号を一度メモリーに蓄えています。したがって、震動等で光学ピックアップからのデータが途切れても、メモリーには数秒間のデータがあるので音楽が途切れたりすることはありません。

通常再生時

再生中、音は数秒先のぶんまでメモリーに蓄えられています。



震動があったとき

震動や衝撃を受けてミニディスクからの読みだしが途切れても、メモリーからの再生音は途切れません。



あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティタワー11F

電話 (03) 5353-0336 (代表)
FAX. (03) 5353-0337

エスシーエムエス

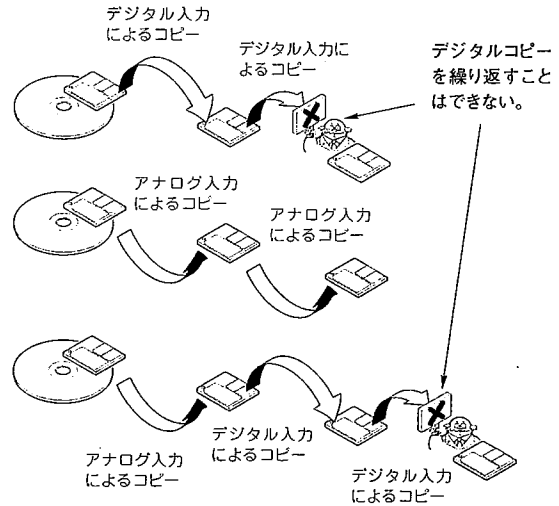
デジタル録音とSCMSについて

ミニディスクでは全てのソースに対してデジタル録音することはできません。次の場合は、デジタル録音ができませんので注意してください。

コピー禁止コードが付いているとき。(シリアルコピーマネージメントシステム...SCMS)... "SCMS ON"と表示して録音一時停止になります。

SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品

FM文字多重放送についてのご注意

- 本機は日本国内専用です。海外では放送方式が日本と異なりますので、本機で文字放送を受信することはできません。
- 本機はVICS(交通情報サービス)、緊急情報放送には対応していません。放送中のメニューに表示される場合でも、受信することはできません。
- FM文字多重放送の放送内容については、当社では一切の責任は負いかねますので、ご了承ください。
- 情報の内容については、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

ステレオ音のエチケット



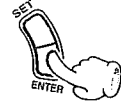
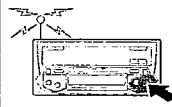
楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心が次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を開めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

マイコンをリセットするには

電源がオンのとき接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因によりマイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグを抜き、チューナー・イコライザー部の^{ENTER}ENTERキーを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込み直す。



アンプ部・スピーカー部

症状	原因	処置	参照
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●音量を最小にしている。 ●MUTEがオンになっている。 ●ヘッドホンプラグが差込まれている。 ●システムの接続コードがはずれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 ●適当な音量にする。 ●MUTEをオフにする。 ●ヘッドホンプラグを抜く。 ●システムの接続コードを確認する。 	→ 10 → 22 → 10
"PROTECT" ^{プロテクト} の表示がスクロールし音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがショートしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一時電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度電源スイッチを入れる。 	
ヘッドホンから音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> ●差し込みが不完全。 	<ul style="list-style-type: none"> ●正しく差し込む。 	→ 22
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●バランスの設定が片寄っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 ●左右のバランスを調節する。 	→ 10 → 92
突然、電源が切れた。	<ul style="list-style-type: none"> ●AUTO POWER SAVE^{オートパワーセーブ}機能が働いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●AUTO POWER SAVE機能を解除する。 	→ 23

チューナー・イコライザー部

症状	原因	処置	参照
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> ●停電があった。 ●電源プラグを一度抜いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻をもう一度合わせる。 ●現在時刻をもう一度合わせる。 	→ 94
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻を合わせていない。停電があった。 ●タイマーのオン時刻とオフ(スタンバイ)時刻を設定していない。 ●タイマーの実行指定をしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。 ●タイマーのオン時刻とオフ(スタンバイ)時刻を設定する。 ●SPACE^{スペース}キーで実行指定する。 	→ 94 → 97 → 97
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続する。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。 	→ 10 → 34
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。 	
プリセットしたあと、P.CALL ^{プリセットコール} キーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。 	→ 35
突然、デモンストレーションが始まった。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグを抜いた、あるいは停電があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●故障ではありません。DISPLAY/^{ディスプレイ}DEMO^{デモンストレーション}キーを押して解除してください。 	→ 93
エラー表示が出る("ERROR*(数字)")	<ul style="list-style-type: none"> ●何らかのトラブルを示します。トラブルの内容によって、数字の部分が異なります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●お近くのケンウッドサービスステーションまでご相談ください。 	

MDレコーダー部 (MD規格上の症状)

症状	原因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ●256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。) <p>このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。</p>
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分)と一致しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING"が表示される時間が異常に長い。	<ul style="list-style-type: none"> ●新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。
モノラル録音されたミニディスクのとき、時間表示が不正確になる。	<ul style="list-style-type: none"> ●モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。
タイトルが最大文字数まで入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため最大文字数まで入りきらない場合があります。

MDレコーダー部(その他の症状)

症状	原因	処置	参照
再生キーを押しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●コードの接続が間違っている。 ●ミニディスクが入っていない。 ●未録音ミニディスクが入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"に従い正しく接続する。 ●ミニディスクを入れる。 ●録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> → 10 → 28 → 108
録音ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ●録音レベルが低い。(AUX、TAPE使用時) ●再生専用ミニディスクが入っている。 ●録音可能なエリアがない。 ●入力切換えがMDになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 ●録音できません。 ●インプットレベルを調節する。 ●録音用ミニディスクを入れる。 ●ミニディスクを入れ換える。 ●入力切換えを録音したいソースにする。 	<ul style="list-style-type: none"> → 107 → 109 → 92 → 107 → 28 → 38
音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルの設定をしていない。(AUX、TAPE使用時) ●ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●インプットレベルを調節する。 ●再度録音をする。 	<ul style="list-style-type: none"> → 92 → 38
録音された音量が途中で変わっている	<ul style="list-style-type: none"> ●アナログ録音中にジョグダイヤルを動かした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●録音中は、つまみを動かささないください。 	<ul style="list-style-type: none"> → 38
電源オン後、表示が一瞬消える	<ul style="list-style-type: none"> ●電源をオフ(スタンバイ)にして、すぐにオンにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●故障ではありません。 	
入力した漢字が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●"カナ"エリアモードになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"漢字"エリアモードにする 	<ul style="list-style-type: none"> → 31

MDレコーダー部(メッセージ表示の一覧)

ディスプレイ表示	意味	処置	参照
ディスク NO DISC	●ミニディスクが入っていない。	●ミニディスクを入れる。	→ 28
オン SCMS ON	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●アナログ録音に切り換える。	→ 41 → 109
ディスク フル DISC FULL	●録音可能なエリアがない。 ●256曲目を録音しようとしている。	●録音用ミニディスクを入れ換える。	
タイトル フル TITLE FULL	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。	→ 71
ブランク ディスク BLANK DISC	●何も録音されていないミニディスクです。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。	
ノー トラックス NO TRACKS	●曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。	●そのまま録音して問題ありません。	
リーディング READING	●TOC*1 情報を読んでいます。	●故障ではありません。	
ライティング WRITING	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	●故障ではありません。	
ディスク エラー DISC ERROR	●UTOC*2 の内容が異常である。	●"ALL ERASE"を行う。それができないときは、ミニディスクを取り換えてください。	→ 87
キャンセリ エディット CAN'T EDIT	●長さが短すぎる曲など、制限を超えて編集しようとしている。	●制限範囲内で編集する。	
? の点滅	●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	●ENTERキーを押すと、編集が実行されます。	
プロテクト PROTECTED	●ミニディスクが"誤消去防止"にされている。	●"誤消去防止"を解除する。	→ 107
プレイ オンリー PLAY ONLY	●再生専用のミニディスクである。	●録音用ミニディスクを入れる。	→ 108
アンロック UNLOCK	●光ファイバーケーブルがはずれている、または接続が不完全である。	●光ファイバーケーブルを正しく接続する。	→ 11

知識編

- *1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC (Table of Contents) という情報が記録されています。
TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
- *2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。
このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

MDレコーダー部のメモリーバックアップについて

電源オフ(スタンバイ)あるいは、電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は、約1日間です。長時間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。
録音、編集後には、録音、編集の情報を記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

CDプレーヤー部

症状	原因	処置	参照
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが裏返しに入っている。 ●ディスクがずれている。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●光学レンズに露がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ラベル面を上にして、正しく入れる。 ●ディスクを正しく入れ直す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 ●"露付きにご注意"を参照し、露を蒸発させる。 	<ul style="list-style-type: none"> → 24 → 107 → 106
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが入っていない。 ●再生状態になっていない。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを入れる。 ●再生(▶/II)キーを押す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 	<ul style="list-style-type: none"> → 24 → 107
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●本機に震動が加わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 ●震動のない場所に設置する。 	→ 107
OPEN/CLOSEキーを押しても、またトレイが開いてしまう。	●8cmディスク(CDシングル)をトレイの溝からずれたまま、トレイを閉めようとしている。	●ディスクをトレイの溝の位置に正しく置き、OPEN/CLOSEキーを押してからディスクインジケータの点灯を確認し、DISC1～DISC6(ディスクセクター)キーを押すと再生します。	

リモコン部

症状	原因	処置	参照
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電池切れ。 ●操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ●再生しようとする機器に、CD、MDが入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい電池に入れ換える。 ●操作範囲内で操作する。 ●再生しようとする機器にCD、MDを入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> → 21 → 21 → 24 → 28

チューナー・イコライザー部 (C-H9) / アンプ部 (A-H9)

[アンプ部]

実用最大出力	80W+80W (EIAJ 6Ω)
全高調波歪率	0.09% (1 kHz、30W、6Ω)
SN比 (EIAJ)	
AUX、TAPE	90 dB
	(SOURCE DIRECT オン時)
入力感度 / インピーダンス	
AUX、TAPE	200mV / 47kΩ
	(SOURCE DIRECT オン時)
出力レベル / インピーダンス	
TAPE	200mV / 1kΩ
オムニプリアウト	1.7V / 600kΩ
スーパーウーファープリアウト	1.7V / 600kΩ
	(SOURCE DIRECT オン時)

[FMチューナー部]

受信周波数範囲 76MHz ~ 90MHz

[FM文字多重部]

文字多重方式 DARC 方式 (DATA Radio Channel)
 レベル1 フル対応
 表示文字数 15.5文字 × 2.5行

[AMチューナー部]

受信周波数範囲 531kHz ~ 1,602kHz

[その他 (C-H9)]

最大外形寸法 幅 270mm
 高さ 124mm
 奥行 343mm
 質量 (重量) 2.5kg (正味)

[電源部・その他 (A-H9)]

電源電圧・電源周波数 AC100V, 50Hz/60Hz
 定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) 140W
 最大外形寸法 幅 270mm
 高さ 104mm
 奥行 343mm
 質量 (重量) 4.9kg (正味)



これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
 ● 極端に寒い (水が凍るような) 場所では十分な性能が発揮できないことがあります。



本機の明朝体は平成明朝体を、ゴシック体は平成角ゴシック体をそれぞれ使用しています。この平成明朝体および平成角ゴシック体は、(財)日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し、使用しているものです。フォントとして無断使用することは禁止されています。

CDプレーヤー部 (DP-MH9)

D/Aコンバージョン	1ビット
オーバーサンプリング	8fs (352.8kHz)
周波数特性 (EIAJ)	8Hz~20kHz、±1dB
SN比 (EIAJ)	100dB以上
ダイナミックレンジ (EIAJ)	95dB以上
総合歪率	0.005%以下
チャンネルセパレーション (1kHz)	90dB以上
ワウ・フラッター (EIAJ)	測定限界以下
デジタル出力	
OPTICAL	-21dBm~-15dBm (発光長660nm)
最大外形寸法	幅 270mm 高さ 104mm 奥行 326mm
質量 (重量)	3.4kg (正味)

MDレコーダー部 (DM-WH9)

読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式	A.T.R.A.C. (Adaptive Transform Acoustic Coding)
D/Aコンバージョン	1ビット
オーバーサンプリング	128fs (5644.8kHz)
A/Dコンバーター	ΔΣ方式
サンプリング周波数	44.1 kHz
周波数特性 (EIAJ)	20 Hz~20 kHz、±1 dB (再生時)
SN比 (EIAJ)	92dB以上 (再生時)
ダイナミックレンジ (EIAJ)	90dB以上 (再生時)
総合歪率 (EIAJ)	0.01 %以下 (再生時)
チャンネルセパレーション (1 kHz)	86dB以上 (再生時)
ワウ・フラッター (EIAJ)	測定限界以下
デジタル入力	
OPTICAL 1,2	-21dBm~-15dBm (発光長660nm)
最大外形寸法	幅 270mm 高さ 124mm 奥行 332mm
質量 (重量)	3.1kg (正味)

スピーカー部 (LS-H9)

エンクロージャー	バスレフ型
スピーカー構成	
メインスピーカー	
ウーファー	160mm コーン型
ツイーター	80mm コーン型
スーパーツイーター	25mm ドーム型
インピーダンス	6Ω
周波数帯域	45Hz~20,000Hz
最大入力	80W
最大外形寸法	幅 220mm 高さ 410mm 奥行 326mm
質量 (重量)	6.9kg (正味)



これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

●極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

保証について

保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項(お買い上げ日、販売店名など)が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

シリアル番号について

システム商品の各機器に製造シリアル番号がつけられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが...」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をオフにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご連絡ください。

(別紙“全国サービス網”をご参照ください。)

持込修理と出張修理

「持込修理」「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。



- 修理のために、セットを販売店やケンウッドのサービスステーション、営業所までお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーは除きます)
- セットを修理に持ち込まれる際は、輸送中にキズが付くのを防ぐため、必ず包装してください。(お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です。)

保証期間内の場合は...

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。



- 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎている場合は...

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理します。



- ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
- この期間は、通商産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ(有料修理の場合、これらの費用が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(SERIAL No.)
- お買い上げ年月日
- お買い上げの販売店名
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- お客様の連絡先(お名前、住所、電話番号)

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室(東京) 電話(03)3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台 3-17-9(ケンウッド青葉台ビル)
(大阪) 電話(06)357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町 1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。